2027年度

名城大学大学院

入学試験要項

MEIJO UNIVERSITY

名城大学大学院組織

修士（博士前期）課程

- 法学研究科
  - 法律学専攻
- 経営学研究科
  - 経営学専攻
- 経済学研究科
  - 経済学専攻
- 人間学研究科
  - 人間学専攻
- 都市情報学研究科
  - 都市情報学専攻
- 情報工学研究科
  - 情報工学専攻
- 理工学研究科
  - 数学専攻
  - 電気電子工学専攻
  - 材料機能工学専攻
  - 応用化学専攻
  - 機械工学専攻
  - 交通機械工学専攻
  - メカトロニクス工学専攻
  - 社会基盤デザイン工学専攻
  - 環境創造工学専攻
  - 建築学専攻
- 農学研究科
  - 農学専攻
- 総合学術研究科
  - 総合学術専攻

博士（博士後期）課程

- 法学研究科
  - 法律学専攻
- 経営学研究科
  - 経営学専攻
- 経済学研究科
  - 経済学専攻
- 都市情報学研究科
  - 都市情報学専攻
- 理工学研究科
  - 数学専攻
  - 電気･情報･材料･物質工学専攻
  - 機械工学専攻
  - 社会環境デザイン工学専攻
- 農学研究科
  - 農学専攻
- 総合学術研究科
  - 総合学術専攻

博士課程

- 薬学研究科
  - 薬学専攻〔４年制〕

目　　次

名城大学大学院の３つのポリシー…… 1
募　集　人　員 …… 1
令和９年度（2027年度）大学院入学試験
令和８年度（2026年度）大学院秋季入学試験　日程一覧…… 2
共　通　事　項 …… 7
　受験時の注意…… 8
　障がい等のある志願者の方へ…… 8
　出願の流れ…… 9
　マイページの説明…… 10
　学費…… 11
　「長期履修学生制度」について《社会人対象》…… 13
　奨学生制度…… 16
法　学　研　究　科 …… 18
　修士課程…… 19
　博士後期課程…… 22
経　営　学　研　究　科 …… 25
　修士課程…… 26
　博士後期課程…… 30
経　済　学　研　究　科 …… 33
　修士課程…… 34
　博士後期課程…… 38
人　間　学　研　究　科 …… 41
　修士課程…… 42
都市情報学研究科 …… 46
　修士課程…… 47
　博士後期課程…… 51
情　報　工　学　研　究　科 …… 54
　修士課程…… 55
理　工　学　研　究　科 …… 60
　修士（博士前期）課程…… 62
　博士（博士後期）課程…… 68
農　学　研　究　科 …… 72
　修士課程…… 73
　博士後期課程…… 77
薬　学　研　究　科 …… 80
　博士課程【４年制】…… 81
総　合　学　術　研　究　科 …… 85
　博士前期課程…… 86
　博士後期課程…… 90

名城大学大学院の3つのポリシー

名城大学大学院及び各研究科において3つのポリシー（学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）、教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー：CP）、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー：AP））を策定しています。

詳細は右の二次元バーコードからご確認ください。

募　集　人　員

研究科	専攻	課程	募集人員
法学研究科	法律学専攻	修士課程	6名
		博士後期課程	2名
経営学研究科	経営学専攻	修士課程	10名
		博士後期課程	3名
経済学研究科	経済学専攻	修士課程	3名
		博士後期課程	2名
人間学研究科	人間学専攻	修士課程	5名
都市情報学研究科	都市情報学専攻	修士課程	6名
		博士後期課程	3名
情報工学研究科	情報工学専攻	修士課程	45名
理工学研究科	数学専攻	修士（博士前期）課程	8名
	電気電子工学専攻		25名
	材料機能工学専攻		35名
	応用化学専攻		24名
	機械工学専攻		30名
	交通機械工学専攻		25名
	メカトロニクス工学専攻		24名
	社会基盤デザイン工学専攻		18名
	環境創造工学専攻		8名
	建築学専攻		16名
	数学専攻	博士（博士後期）課程	2名
	電気・情報・材料・物質工学専攻		10名
	機械工学専攻		5名
	社会環境デザイン工学専攻		5名
農学研究科	農学専攻	修士課程	30名
		博士後期課程	3名
薬学研究科	薬学専攻	博士課程	4名
総合学術研究科	総合学術専攻	博士前期課程	8名
		博士後期課程	4名

※募集人員は全ての方式の合計数です。
※出願状況および試験の成績によっては合格者が募集人員に満たない場合があります。

令和9年度（2027年度）大学院入学試験
令和8年度（2026年度）大学院秋季入学試験　日程一覧

■1回目日程：2026年 7 月 4 日（土）実施入学試験の対象試験・スケジュール

研　究　科	課　程	試　験　区　分		
法学研究科	修士課程	推薦	専願	〈学内〉一次
経営学研究科	博士後期課程	推薦	専願	〈学内〉【2026年度秋季入学】
経済学研究科	修士課程	推薦	専願	一次
都市情報学研究科	修士課程	推薦	専願	〈学内〉一次
情報工学研究科	修士課程	推薦	専願	〈学部推薦・学内〉
				〈自己推薦〉
		一般	併願可	一次
		外国人	併願可	一次
理工学研究科	修士（博士前期）課程	推薦	専願	
		一般	併願可	一次
		外国人	併願可	一次
	博士（博士後期）課程	一般	併願可	一次
農学研究科	修士課程	推薦	専願	〈学内〉
		外国人	併願可	【2026年度秋季入学】
	博士後期課程	外国人	併願可	【2026年度秋季入学】
薬学研究科	博士課程	推薦	専願	一次
総合学術研究科	博士前期課程	推薦	専願	一次
		一般	併願可	【2026年度秋季入学】
		外国人	併願可	【2026年度秋季入学】
		社会人	併願可	【2026年度秋季入学】
	博士後期課程	推薦	専願	一次
		一般	併願可	【2026年度秋季入学】
		外国人	併願可	【2026年度秋季入学】
		社会人	併願可	【2026年度秋季入学】

手続き・試験		期　間
出願資格確認（必着）		2026年4月 1日（水）　～　4月 8日（水）
入学検定料支払（納入）・出願（必着）		5月15日（金）　～　5月25日（月）
受験票発行予定日		7月 1日（水）10:00 ～
入学試験日		7月 4日（土）
入学試験予備日		7月 5日（日）
合格発表日		7月24日（金）10:00 ～
一括手続締切日（必着）		12月 3日（木）
分割手続締切日	第一次手続（納入）	12月 3日（木）
	最終手続（必着）	2027年 3月11日（木）

※【2026年度秋季入学のスケジュール】

手続き・試験	期　間
出願資格確認（必着）	2026年4月 1日（水）　～　4月 8日（水）
入学検定料支払（納入）・出願（必着）	5月15日（金）　～　5月25日（月）
受験票発行予定日	7月 1日（水）10:00 ～
入学試験日	7月 4日（土）
入学試験予備日	7月 5日（日）
合格発表日	7月24日（金）10:00 ～
一括手続締切日（必着）	8月 5日（水）

■2回目日程：2026年 9 月26日（土）実施入学試験の対象試験・スケジュール

研　究　科	課　程	試　験　区　分		
法学研究科	修士課程	推薦	専願	〈学内〉二次
		一般	併願可	一次
		外国人	併願可	一次
経営学研究科	修士課程	推薦	専願	学部・大学院5年修了プログラム
				〈学内〉一次
		一般	併願可	一次
		外国人	併願可	一次
		社会人	併願可	一次
経済学研究科	修士課程	一般	併願可	一次
		外国人	併願可	一次
		社会人	併願可	一次
人間学研究科	修士課程	推薦	専願	一次
		一般	併願可	一次
		外国人	併願可	一次
		社会人	併願可	一次
都市情報学研究科	修士課程	推薦	専願	〈学内〉二次
		一般	併願可	一次
		外国人	併願可	一次
		社会人	併願可	一次
	博士後期課程	推薦	専願	〈学内〉一次
		一般	併願可	一次
		外国人	併願可	一次
		社会人	併願可	一次
農学研究科	修士課程	一般	併願可	一次
		外国人	併願可	一次
薬学研究科	博士課程	推薦	専願	二次
		一般	併願可	一次
		外国人	併願可	一次
		社会人	併願可	一次
総合学術研究科	博士前期課程	推薦	専願	二次　※学内に限る
		一般	併願可	一次
		外国人	併願可	一次
		社会人	併願可	一次
	博士後期課程	推薦	専願	二次　※学内に限る
		一般	併願可	一次
		外国人	併願可	一次
		社会人	併願可	一次

手続き・試験		期　間
出願資格確認（必着）		2026年 7月 1日（水）　～　7月 8日（水）
入学検定料支払（納入）・出願（必着）		8月28日（金）　～　9月 7日（月）
受験票発行予定日		9月23日（水）10:00 ～
入学試験日		9月26日（土）
入学試験予備日		9月27日（日）
合格発表日		10月 9日（金）10:00 ～
一括手続締切日（必着）		12月 3日（木）
分割手続締切日	第一次手続（納入）	12月 3日（木）
	最終手続（必着）	2027年 3月11日（木）

■3回目日程：2027年１月９日（土）実施入学試験の対象試験・スケジュール

研　究　科	課　程	試　験　区　分		
経営学研究科	修士課程	推薦	専願	〈学内〉二次
				〈社会人〉
		一般	併願可	二次
		外国人	併願可	二次
		社会人	併願可	二次
		飛び級制度	併願可	
	博士後期課程	推薦	専願	〈学内〉
		一般	併願可	
		外国人	併願可	
		社会人	併願可	
経済学研究科	修士課程	推薦	専願	二次
		一般	併願可	二次
		外国人	併願可	二次
		社会人	併願可	二次
	博士後期課程	一般	併願可	
		外国人	併願可	
		社会人	併願可	
情報工学研究科	修士課程	推薦	専願	〈自己推薦〉
		外国人	併願可	二次
		社会人	併願可	
理工学研究科	修士（博士前期）課程	一般	併願可	二次
		外国人	併願可	二次
		社会人	併願可	
	博士（博士後期）課程	一般	併願可	二次
		外国人	併願可	
		社会人	併願可	
農学研究科	修士課程	一般	併願可	二次
		外国人	併願可	二次
		社会人	併願可	
	博士後期課程	推薦	専願	〈学内〉
		一般	併願可	
		外国人	併願可	
		社会人	併願可	

手続き・試験	期　間
出願資格確認（必着）	2026年10月 1日（木）　～　10月 8日（木）
入学検定料支払（納入）・出願（必着）	11月13日（金）　～　11月23日（月）
受験票発行予定日	2027年 1月 6日（水）10:00 ～
入学試験日	1月 9日（土）
入学試験予備日	1月10日（日）
合格発表日	1月29日（金）10:00 ～
一括手続締切日（必着）	3月11日（木）

■4回目日程：2027年１月23日（土）実施入学試験の対象試験・スケジュール

研　究　科	課　程	試　験　区　分		
法学研究科	修士課程	推薦	専願	〈学内〉三次
		一般	併願可	二次
		外国人	併願可	二次
		社会人	併願可	
	博士後期課程	一般	併願可	
		外国人	併願可	
		社会人	併願可	
人間学研究科	修士課程	推薦	専願	二次
		一般	併願可	二次
		外国人	併願可	二次
		社会人	併願可	二次
都市情報学研究科	修士課程	推薦	専願	〈学内〉三次
		一般	併願可	二次
		外国人	併願可	二次
		社会人	併願可	二次
	博士後期課程	推薦	専願	〈学内〉二次
		一般	併願可	二次
		外国人	併願可	二次
		社会人	併願可	二次
薬学研究科	博士課程	一般	併願可	二次
		外国人	併願可	二次
		社会人	併願可	二次

手続き・試験	期　間
出願資格確認（必着）※外国人	2026年11月27日（金）　～　12月 4日（金）
出願資格確認（必着）※社会人	11月27日（金）　～　12月10日（木）
入学検定料支払（納入）・出願（必着）	12月25日（金）　～　2027年 1月 6日（水）
受験票発行予定日	1月20日（水）10:00 ～
入学試験日	1月23日（土）
入学試験予備日	1月24日（日）
合格発表日	2月19日（金）10:00 ～
一括手続締切日（必着）	3月11日（木）

■5回目日程：2027年 2 月13日（土）実施入学試験の対象試験・スケジュール

研　究　科	課　程	試　験　区　分		
総合学術研究科	博士前期課程	推薦	専願	三次
		一般	併願可	二次
		外国人	併願可	二次
		社会人	併願可	二次
	博士後期課程	推薦	専願	三次　※他大学出身者に限る
		一般	併願可	二次
		外国人	併願可	二次
		社会人	併願可	二次

手続き・試験	期　間
出願資格確認（必着）※外国人	2026年11月27日（金）　～　12月 4日（金）
出願資格確認（必着）※社会人	11月27日（金）　～　12月10日（木）
入学検定料支払（納入）・出願（必着）	2027年 1月24日（日）　～　2月 3日（水）
受験票発行予定日	2月10日（水）10:00 ～
入学試験日	2月13日（土）
入学試験予備日	2月14日（日）
合格発表日	2月19日（金）10:00 ～
一括手続締切日（必着）	3月11日（木）

■その他の入学試験のスケジュール

研　究　科	課　程	試　験　区　分	
経営学研究科	修士課程	推薦	海外指定校一次【2027年度秋季入学】
			海外指定校二次【2027年度秋季入学】

手続き・試験		期　間
一次	出願（必着）	2026年 9月 1日（火）　～　9月24日（木）
	合格発表日	10月30日（金）10:00 ～
	一括手続締切日（必着）	12月 3日（木）
二次	出願（必着）	2027年 3月 1日（月）　～　3月23日（火）
	合格発表日	5月17日（月）10:00 ～
	一括手続締切日（必着）	8月 5日（木）

※台風などにより試験日に試験が実施できない場合、予備日に試験を行います。試験日に試験ができない場合は、試験当日の8時までに本学ホームページにてその旨を発表します。

共　通　事　項

① 出願資格確認

出願を希望される方で、推薦・外国人・社会人の試験区分を受験する場合や海外の大学・大学院に在籍履歴（卒業・在学・休学・退学・除籍のいずれかに該当）がある場合は、出願の前に出願資格確認が必要な場合があります。詳細は各研究科のページで「出願資格の確認手続」をご確認ください。
この手続きに費用はかかりませんが、出願資格確認書類を入試情報サイト「MEIJO NAVI」内の「大学院受験生の方」から印刷して「簡易書留（速達）」でご提出いただく必要があります（外国人または社会人入学試験受験希望の場合に限り、窓口への持参を認めます）。
大学院受験生の方→ https://www.meijo-u.ac.jp/admissions/graduate/examination/index.html

本学では、外国人入学試験の出願資格確認を行う際に、公益財団法人アジア学生文化協会の協力を得る場合があります。出願資格確認で提出された書類を当協会へ提供し、当協会からご本人および出身学校へ設置課程等について問合せが行われる可能性があります。
なお、提供する情報は確認に必要な最小限の範囲に限り、適切に管理いたします。ご不明な点がある場合は、国際化推進センター（⑪参照）までお問い合わせ下さい。

② 出願登録および入学検定料支払、出願書類提出

受験ポータルサイトのマイページで出願登録および入学検定料納入を行った上で、入学志願票を印刷してください（9 ～ 10ページ参照）。
また、その他の出願書類を入試情報サイト「MEIJO NAVI」内の「大学院受験生の方」から印刷して入学志願票とともに「簡易書留（速達）」でご提出いただく必要があります（外国人または社会人入学試験受験希望の場合に限り、窓口への持参を認めます）。
大学院受験生の方→ https://www.meijo-u.ac.jp/admissions/graduate/examination/index.html

全て期間内（書類提出は締切日必着）に完了しない場合、出願とはみなされません。

※入学検定料を返還できるのは、検定料を払い込んだが出願書類を提出（郵送）しなかった場合のみです。出願書類提出後、受験を取りやめる、または当日欠席した場合は対象となりません。返還額は、本学からの振込手数料を差し引いた額です。
返還手続締切日：2027年 3 月31日（水）16:00
※出願書類に不備がある場合は受け付けません。また受け付けた書類は返還しません。

③ 受　験　票

受験票は、試験日の 3 日前より受験ポータルサイトのマイページより印刷可能です。大学から送付はいたしません。
A4サイズに印刷し、試験日に持参してください。

④ 試 験 会 場

法学・経営学・経済学・情報工学・理工学・農学・総合学術　研究科	名城大学天白キャンパス（名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地）
人間学・都市情報学　研究科	名城大学ナゴヤドーム前キャンパス（名古屋市東区矢田南四丁目102番 9 ）
薬学　研究科	名城大学八事キャンパス（名古屋市天白区八事山150番地）

⑤ 合 格 発 表

マイページにて、合否結果より確認してください。合否結果は、合格発表日当日10：00から発表します。

注意事項
・本学への電話やメール等による合否の問い合わせには、一切応じません。
・合否に関する書類の送付は行いません。

⑥ 入 学 手 続

1．入学手続
入学手続は、「入学金・授業料等の納入」および「入学者情報の登録、入学手続書類の提出」によって完了します。

2．入学手続方法（概要）
入学手続は、一括手続と分割手続のいずれかを選択できます。
入学手続の詳細は、受験ポータルサイトより「入学手続要項」等関連資料をダウンロードしてご確認ください。
受験ポータルサイトでの「誤操作」「見間違い」「確認もれ」等を理由とした入学手続締切日を過ぎての入学手続は認めません。

（1）一括手続
①受験ポータルサイトで、入学手続金（入学金・授業料等）を納入。
②受験ポータルサイトで、入学手続に必要な入学者情報を登録。
③入学手続書類を郵送。
①～③の納入・登録・提出期日：一次手続締切日**必着**

（２）分割手続
①受験ポータルサイトで、入学手続金（入学金のみ）を納入。
①の納入期日：一次手続締切日
②受験ポータルサイトで、入学手続金（授業料等）を納入。
③受験ポータルサイトで、入学手続に必要な入学者情報を登録。
④入学手続書類を郵送。
②～④の納入・登録・提出期日：最終手続締切日**必着**

３．入学手続についての注意事項
・**期限までに入学手続が完了しない場合は入学資格を失います。**
分割手続の場合、一次手続締切日までに入学金を納入していない方は、入学資格を失います。
・一旦納入された入学金・手続書類は、理由を問わず返還しません。
ただし、本学卒業生等が大学院に入学する場合、特別奨学金として入学金と同額の奨学金が給付される制度があります（16ページ参照）。
・入学年度の前期（４月～ ９月）に休学または退学する場合、入学手続時に納入済みの前期分授業料等（授業料、実験実習費、施設費）は本学規定により返還しません。

４．入学辞退（専願の入試方法・研究科等は除く）
入学手続完了後、本学への入学を辞退する場合は、2027年３月31日（水）16:00までに所定の手続きを行うことにより、すでに納入された入学手続金（入学金を除く）を返還します。なお、返還時の振込手数料は、受取人（返還申請者）負担となります。詳細は入学手続要項をご確認ください。

⑦ 個人情報の取り扱いについて

出願及び入学手続にあたって提出いただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学試験実施（出願処理・試験実施）、②合格発表、③入学手続、④関連団体から合格者へ保険や情報機器等の紹介に関する案内送付、ならびにこれらに付随する事項を行うためにのみ利用します。

⑧ 成績開示について

本学では、入学試験において、本人から希望があった場合に限り成績開示を行います。本人確認は受験票を添付していただきますので、大切に保管してください。なお、成績開示請求方法・内容については、入試情報サイト「MEIJO NAVI」内の「大学院入試に係る個人情報の開示について（https://www.meijo-u.ac.jp/admissions/graduate/examination/privacy/）」に掲載していきます。
（注）秋季入学については、今年度は開示を行いません。

⑨ 安全保障輸出管理について

本学では「外国為替及び外国貿易法（外為法）」を遵守するため、「名城大学安全保障輸出管理規程」等を定め、大学に所属する全ての構成員に対して厳格な審査を実施しています。外為法の規制事項に該当する場合は、入学した後においても、希望する教育や研究指導が受けられない場合がありますので、注意してください。
《経済産業省ウェブサイト》 https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html

⑩ そ の 他

定員を満たさない場合は、追加募集を実施する場合があります。
定員を満たした場合は、以降の入学試験を実施しない場合があります。いずれの場合も、ホームページに掲載します。

⑪ 問い合わせ先

〒468-8502　名古屋市天白区塩釜口 一 丁目501番地
名城大学　入学センター / 国際化推進センター（外国人入学試験の出願資格確認等）
TEL（052）838－2018 /（052）838－2043
〔事務取扱時間〕
平　日　AM 8 :50 ～ PM 5 :20
※土曜・日曜・祝日は事務取り扱いをしません。
※学内行事等により事務取扱時間を変更する場合があります。

受験時の注意

（１）遅刻は原則認めません。
（２）試験室では、受験票を毎時限、机上に貼付してある受験番号の手前に置いてください。
（３）携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。
（４）試験室においては、すべて監督者の指示に従ってください。
（５）監督者の指示に従わない場合は、不正行為とすることがあります。
その他の不正行為に該当する行為等の詳細は、
HP（https://www.meijo-u.ac.jp/admissions/faculties/examination/attention/knowledge.html）をご確認ください。

障がい等のある志願者の方へ

障がい等のある方が受験上の配慮を希望する場合は、入学センターまで問い合わせてください。

出願の流れ

STEP 1

入学試験要項の確認 「MEIJO NAVI」からダウンロード可

出願前に必ず確認してください。

STEP 2

マイページの作成 受験ポータルサイト

MEIJO NAVI内Web出願から受験ポータルサイトにアクセスしてください。
メールアドレス、個人情報、証明写真（顔写真）の登録をします。

STEP 3

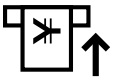
出願登録 受験ポータルサイト

出願する入試方式・研究科専攻等の登録をします。

STEP 4

入学試験検定料のお支払い 受験ポータルサイト

入学志願票の内容に間違いがないか確認の上、
クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、金融機関（Pay-easy）で納入をしてください。
なお、入学試験検定料の支払いごとにサービス利用料1,100円がかかります。



STEP 5

入学志願票の印刷 受験ポータルサイト

入学志願票と宛名ラベルをA4で印刷してください。

STEP 6

出願書類の郵送

市販の角2封筒に宛名ラベルを貼付し、出願書類を「簡易書留（速達）」で郵送してください。

出　願　完　了

マイページの説明

マイページでは、出願、受験票の発行、合否照会、
入学手続を行うことができます。

STEP1　ガイダンス閲覧･確認

入学試験要項を確認してください。

STEP2　基本情報の登録と確認

出願期間外でも登録可能です。
個人情報登録後、証明写真をアップロードしてください。写真は入学後、学生証の写真に使用します（アップロードする証明写真は、画面上の注意事項を読み、条件を満たしたものにしてください）。

STEP3　出願登録

画面の指示に従って登録を進めてください。
登録は出願開始日の3日前から可能です（1回目日程のみ5月15日から可能です）。

STEP4　出願確認

入学志願票を印刷し、必要書類とともに郵送してください。

オンライン受験票

試験当日は受験票を印刷のうえ、持参してください。

合否結果

合否結果を確認できます。

入学手続

合格通知書のダウンロード、入学金･授業料等の支払いができます。入学手続書類もこちらから作成します。

学　　費

■修士（博士前期）課程

〔予定〕2027年度入学者学費一覧表　　（単位：円）

学年	納入期限		学　費	法学研究科 経営学研究科 経済学研究科	人間学研究科	都市情報学 研究科	情報工学研究科 理工学研究科	農学研究科	総合学術研究科
1年次	入学手続時	入学手続締切日	入学金	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
			授業料	265,000	290,000	345,000	320,000	310,000	350,000
			実験実習費	―――	―――	―――	60,000	60,000	―――
			施設費	40,000	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小計	435,000	460,000	525,000	560,000	550,000	530,000
	後期	10月10日	授業料	265,000	290,000	345,000	320,000	310,000	350,000
			実験実習費	―――	―――	―――	60,000	60,000	―――
			施設費	40,000	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小計	305,000	330,000	395,000	430,000	420,000	400,000
	年額合計			740,000	790,000	920,000	990,000	970,000	930,000
2年次	前期	5月10日	授業料	265,000	290,000	345,000	320,000	310,000	350,000
			実験実習費	―――	―――	―――	60,000	60,000	―――
			施設費	40,000	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小計	305,000	330,000	395,000	430,000	420,000	400,000
	後期	10月10日	授業料	265,000	290,000	345,000	320,000	310,000	350,000
			実験実習費	―――	―――	―――	60,000	60,000	―――
			施設費	40,000	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小計	305,000	330,000	395,000	430,000	420,000	400,000
	年額合計			610,000	660,000	790,000	860,000	840,000	800,000
2年間合計				1,350,000	1,450,000	1,710,000	1,850,000	1,810,000	1,730,000

■博士後期課程

〔予定〕2027年度入学者学費一覧表　　（単位：円）

学年	納入期限		学　費	法学研究科 経営学研究科 経済学研究科	都市情報学 研究科	理工学研究科	農学研究科	薬学研究科	総合学術研究科
1年次	入学手続時	入学手続締切日	入学金	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
			授業料	265,000	345,000	320,000	310,000	320,000	350,000
			実験実習費	―――	―――	60,000	60,000	60,000	―――
			施設費	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小計	435,000	525,000	560,000	550,000	560,000	530,000
	後期	10月10日	授業料	265,000	345,000	320,000	310,000	320,000	350,000
			実験実習費	―――	―――	60,000	60,000	60,000	―――
			施設費	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小計	305,000	395,000	430,000	420,000	430,000	400,000
	年額合計			740,000	920,000	990,000	970,000	990,000	930,000
2年次	前期	5月10日	授業料	265,000	345,000	320,000	310,000	320,000	350,000
			実験実習費	―――	―――	60,000	60,000	60,000	―――
			施設費	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小計	305,000	395,000	430,000	420,000	430,000	400,000
	後期	10月10日	授業料	265,000	345,000	320,000	310,000	320,000	350,000
			実験実習費	―――	―――	60,000	60,000	60,000	―――
			施設費	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小計	305,000	395,000	430,000	420,000	430,000	400,000
	年額合計			610,000	790,000	860,000	840,000	860,000	800,000

学年	納入期限		学　費	法学研究科 経営学研究科 経済学研究科	都市情報学 研究科	理工学研究科	農学研究科	薬学研究科	総合学術研究科
3年次	前期	5月10日	授業料	265,000	345,000	320,000	310,000	320,000	350,000
			実験実習費	―――	―――	60,000	60,000	60,000	―――
			施設費	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小計	305,000	395,000	430,000	420,000	430,000	400,000
	後期	10月10日	授業料	265,000	345,000	320,000	310,000	320,000	350,000
			実験実習費	―――	―――	60,000	60,000	60,000	―――
			施設費	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			小計	305,000	395,000	430,000	420,000	430,000	400,000
	年額合計			610,000	790,000	860,000	840,000	860,000	800,000
4年次	前期	5月10日	授業料					320,000	
			実験実習費					60,000	
			施設費					50,000	
			小計					430,000	
	後期	10月10日	授業料					320,000	
			実験実習費					60,000	
			施設費					50,000	
			小計					430,000	
	年額合計							860,000	
3年間 薬学研究科は4年間 合計				1,960,000	2,500,000	2,710,000	2,650,000	3,570,000	2,530,000

（注）1．入学手続金は、「入学金」と「授業料等（授業料、実験実習費、施設費）の前期分」を合計した額です。
2．学費は、毎年次、前期・後期の学期ごとに納めてください。
3．新入学生の後期分学費振込依頼書は、7月末までに送付します。
4．2年目以降の学費振込依頼書は、4月上旬に前期分・後期分を年に1回まとめて送付します。
5．学費は変更になる場合がありますので、「入学手続要項」で確認してください。

■外国人留学生の学費について

下記の条件を満たし、私費外国人留学生Ａ奨学生として認められた人は、授業料の10分の3が奨学金として支給されます。

〔資格〕

①　在留資格が「留学」の私費外国人留学生で、経済的に就学が困難であると認められる者

〔選考の要件〕

①　1ヶ月の収入額が授業料等相当額を控除後9万円以下で、授業料等の軽減を要すると認められる者
②　入学から通算して修業年限を超えない者
③　2年次の修士（博士前期）課程の大学院生は、前年度の修得単位数が10単位以上である者
④　2年次以上の博士（博士後期）課程の大学院生は、研究継続意思があり研究の進捗が確認できる者

※入学後、2027年6月に2026年の所得証明書（本人分）を提出してください。
（2027年1月1日に日本に居住していない場合は必要ありません。）
所得証明書は〔選考の要件〕①『1ヶ月の収入額が授業料等相当額を控除後9万円以下で、授業料等の軽減を要すると認められる者』に該当するかを審査する資料として使用します。所得証明書は年度毎に提出が必要です。私費外国人留学生Ａ奨学生の選考の要件を満たしていないことが入学後に確認された場合は、後日差額分を徴収します。

■長期履修学生制度について

社会人を対象に、修業年限を超えて在学でき、学費の負担が軽減される制度があります。
詳細は、13～15ページを参照してください。

「長期履修学生制度」について《社会人対象》

「長期履修学生制度」とは、職業等に従事しながら学習を希望する社会人の学習機会を一層拡大する観点から、個人の事情に応じて柔軟に修業年限を超えて履修を行い、所定の単位修得等の要件を満たして修了することにより、学位取得が可能となる弾力的な制度です。

この制度は、社会人入学試験を受験する者のうち、修業年限を超えて在学することを予定し、本大学が正規学生（以下「長期履修学生」という）として認めた上で入学する者を対象としています。

職業、勤務時間等の関係で通常の修業年限で修了できない社会人学生にとっては、本制度を利用した場合、利用せずに留年した場合と比べ、学費の経済的負担が軽減されます。

※社会人学生とは、在学中継続して勤務する学生をいいます（主婦を含む）。

① 対 象 者

社会人入学試験を受験する者のうち、職業、勤務時間等の制約により、通常の修業年限［修士（博士前期）課程：2年、博士（博士後期）課程：3年、博士課程（4年制）：4年］を超える履修を希望する者。

〈実施研究科〉

修士（博士前期）課程：法学、経営学、経済学、人間学、都市情報学、情報工学、理工学、農学、総合学術

博士（博士後期）課程：法学、経営学、経済学、都市情報学、理工学、農学、総合学術

博士課程（4年制）：薬学

② 在学年限および年間修得単位数

長期履修学生が在学できる最長年限は［修士（博士前期）課程：4年、博士（博士後期）課程：6年、博士課程（4年制）：8年］とし、各学年において履修・修得できる単位数の制限は、通常の修業年限の学生と同様です。なお、学年進行中、事情により、当初の履修計画年数を短縮することができます。

※上記年限を超えて在学はできませんので、ご注意ください。

③ 申 請 手 続

「長期履修学生制度」の利用を希望する場合は、出願時に「長期履修学生制度申請書」（入試情報サイト「MEIJO NAVI」に掲載）を提出してください。

※入学後に「長期履修学生制度」の申請を行うことはできませんので、ご注意ください。

④ 注 意 事 項

長期履修学生は、事情により、当初の履修計画年数を短縮することができますが、その場合学費総額の差額が生じるため、修了確定後、1週間程度の間に差額分の支払いが必要となります。

⑤ 問い合わせ先

入学センター　TEL（052）838－2018

長期履修学生学費一覧表《修士（博士前期）課程・社会人》

〔予定〕2027年度入学者学費一覧表　　（単位：円）

学年	納入期限		学費	法学研究科 経営学研究科 経済学研究科		人間学研究科		都市情報学研究科		情報工学研究科 理工学研究科		農学研究科		総合学術研究科	
				3年修了	4年修了	3年修了	4年修了	3年修了	4年修了	3年修了	4年修了	3年修了	4年修了	3年修了	4年修了
1年次	入学手続時	入学手続締切日	入学金	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
			授業料	190,000	152,500	206,500	165,000	242,000	190,500	223,000	174,500	216,500	170,000	245,000	192,500
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	42,000	33,000	42,000	33,000	———	———
			施設費	30,000	25,000	30,000	25,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000
			小計	350,000	307,500	366,500	320,000	410,000	352,500	433,000	369,500	426,500	365,000	413,000	354,500
	後期	10月10日	授業料	190,000	152,500	206,500	165,000	242,000	190,500	223,000	174,500	216,500	170,000	245,000	192,500
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	42,000	33,000	42,000	33,000	———	———
			施設費	30,000	25,000	30,000	25,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000
			小計	220,000	177,500	236,500	190,000	280,000	222,500	303,000	239,500	296,500	235,000	283,000	224,500
	年額合計			570,000	485,000	603,000	510,000	690,000	575,000	736,000	609,000	723,000	600,000	696,000	579,000
2年次	前期	5月10日	授業料	190,000	152,500	206,500	165,000	242,000	190,500	223,000	174,500	216,500	170,000	245,000	192,500
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	42,000	33,000	42,000	33,000	———	———
			施設費	30,000	25,000	30,000	25,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000
			小計	220,000	177,500	236,500	190,000	280,000	222,500	303,000	239,500	296,500	235,000	283,000	224,500
	後期	10月10日	授業料	190,000	152,500	206,500	165,000	242,000	190,500	223,000	174,500	216,500	170,000	245,000	192,500
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	42,000	33,000	42,000	33,000	———	———
			施設費	30,000	25,000	30,000	25,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000
			小計	220,000	177,500	236,500	190,000	280,000	222,500	303,000	239,500	296,500	235,000	283,000	224,500
	年額合計			440,000	355,000	473,000	380,000	560,000	445,000	606,000	479,000	593,000	470,000	566,000	449,000
3年次	前期	5月10日	授業料	190,000	152,500	206,500	165,000	242,000	190,500	223,000	174,500	216,500	170,000	245,000	192,500
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	42,000	33,000	42,000	33,000	———	———
			施設費	30,000	25,000	30,000	25,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000
			小計	220,000	177,500	236,500	190,000	280,000	222,500	303,000	239,500	296,500	235,000	283,000	224,500
	後期	10月10日	授業料	190,000	152,500	206,500	165,000	242,000	190,500	223,000	174,500	216,500	170,000	245,000	192,500
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	42,000	33,000	42,000	33,000	———	———
			施設費	30,000	25,000	30,000	25,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000	38,000	32,000
			小計	220,000	177,500	236,500	190,000	280,000	222,500	303,000	239,500	296,500	235,000	283,000	224,500
	年額合計			440,000	355,000	473,000	380,000	560,000	445,000	606,000	479,000	593,000	470,000	566,000	449,000
4年次	前期	5月10日	授業料		152,500		165,000		190,500		174,500		170,000		192,500
			実験実習費		———		———		———		33,000		33,000		———
			施設費		25,000		25,000		32,000		32,000		32,000		32,000
			小計		177,500		190,000		222,500		239,500		235,000		224,500
	後期	10月10日	授業料		152,500		165,000		190,500		174,500		170,000		192,500
			実験実習費		———		———		———		33,000		33,000		———
			施設費		25,000		25,000		32,000		32,000		32,000		32,000
			小計		177,500		190,000		222,500		239,500		235,000		224,500
	年額合計				355,000		380,000		445,000		479,000		470,000		449,000
合計				1,450,000	1,550,000	1,549,000	1,650,000	1,810,000	1,910,000	1,948,000	2,046,000	1,909,000	2,010,000	1,828,000	1,926,000

（注）1．留年した場合は、最終学年の授業料等相当額を納入してください。
2．在学期間を短縮した場合は、短縮した年数の学費総額との差額を納入してください。

長期履修学生学費一覧表《博士（博士後期）課程・社会人》

〔予定〕2027年度入学者学費一覧表　　（単位：円）

学年	納入期限		学費	法学研究科 経営学研究科 経済学研究科			都市情報学研究科			理工学研究科			農学研究科			薬学研究科				総合学術研究科		
				4年修了	5年修了	6年修了	4年修了	5年修了	6年修了	4年修了	5年修了	6年修了	4年修了	5年修了	6年修了	5年修了	6年修了	7年修了	8年修了	4年修了	5年修了	6年修了
1年次	入学手続時	入学手続締切日	入学金	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
			授業料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	———	———	———
			施設費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000
			小計	371,000	333,000	307,500	438,500	387,000	352,500	465,000	408,000	370,000	457,500	402,000	365,000	484,000	433,500	397,000	370,000	442,500	390,000	355,000
	後期	10月10日	授業料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	———	———	———
			施設費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000
			小計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000
	年額合計			612,000	536,000	485,000	747,000	644,000	575,000	800,000	686,000	610,000	785,000	674,000	600,000	838,000	737,000	664,000	610,000	755,000	650,000	580,000
2年次	前期	5月10日	授業料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	———	———	———
			施設費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000
			小計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000
	後期	10月10日	授業料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	———	———	———
			施設費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000
			小計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000
	年額合計			482,000	406,000	355,000	617,000	514,000	445,000	670,000	556,000	480,000	655,000	544,000	470,000	708,000	607,000	534,000	480,000	625,000	520,000	450,000
3年次	前期	5月10日	授業料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	———	———	———
			施設費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000
			小計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000
	後期	10月10日	授業料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	———	———	———
			施設費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000
			小計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000
	年額合計			482,000	406,000	355,000	617,000	514,000	445,000	670,000	556,000	480,000	655,000	544,000	470,000	708,000	607,000	534,000	480,000	625,000	520,000	450,000
4年次	前期	5月10日	授業料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	———	———	———
			施設費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000
			小計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000
	後期	10月10日	授業料	208,500	175,000	152,500	266,000	219,000	187,500	245,000	200,000	170,000	237,500	194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000	270,000	222,000	190,000
			実験実習費	———	———	———	———	———	———	47,500	40,000	35,000	47,500	40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000	———	———	———
			施設費	32,500	28,000	25,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	42,500	38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000	42,500	38,000	35,000
			小計	241,000	203,000	177,500	308,500	257,000	222,500	335,000	278,000	240,000	327,500	272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000	312,500	260,000	225,000
	年額合計			482,000	406,000	355,000	617,000	514,000	445,000	670,000	556,000	480,000	655,000	544,000	470,000	708,000	607,000	534,000	480,000	625,000	520,000	450,000
5年次	前期	5月10日	授業料		175,000	152,500		219,000	187,500		200,000	170,000		194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000		222,000	190,000
			実験実習費		———	———		———	———		40,000	35,000		40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000		———	———
			施設費		28,000	25,000		38,000	35,000		38,000	35,000		38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000		38,000	35,000
			小計		203,000	177,500		257,000	222,500		278,000	240,000		272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000		260,000	225,000
	後期	10月10日	授業料		175,000	152,500		219,000	187,500		200,000	170,000		194,000	165,000	266,000	230,000	204,500	185,000		222,000	190,000
			実験実習費		———	———		———	———		40,000	35,000		40,000	35,000	48,000	40,000	34,000	30,000		———	———
			施設費		28,000	25,000		38,000	35,000		38,000	35,000		38,000	35,000	40,000	33,500	28,500	25,000		38,000	35,000
			小計		203,000	177,500		257,000	222,500		278,000	240,000		272,000	235,000	354,000	303,500	267,000	240,000		260,000	225,000
	年額合計				406,000	355,000		514,000	445,000		556,000	480,000		544,000	470,000	708,000	607,000	534,000	480,000		520,000	450,000
6年次	前期	5月10日	授業料			152,500			187,500			170,000			165,000		230,000	204,500	185,000			190,000
			実験実習費			———			———			35,000			35,000		40,000	34,000	30,000			———
			施設費			25,000			35,000			35,000			35,000		33,500	28,500	25,000			35,000
			小計			177,500			222,500			240,000			235,000		303,500	267,000	240,000			225,000
	後期	10月10日	授業料			152,500			187,500			170,000			165,000		230,000	204,500	185,000			190,000
			実験実習費			———			———			35,000			35,000		40,000	34,000	30,000			———
			施設費			25,000			35,000			35,000			35,000		33,500	28,500	25,000			35,000
			小計			177,500			222,500			240,000			235,000		303,500	267,000	240,000			225,000
	年額合計					355,000			445,000			480,000			470,000		607,000	534,000	480,000			450,000
7年次	前期	5月10日	授業料															204,500	185,000			
			実験実習費															34,000	30,000			
			施設費															28,500	25,000			
			小計															267,000	240,000			
	後期	10月10日	授業料															204,500	185,000			
			実験実習費															34,000	30,000			
			施設費															28,500	25,000			
			小計															267,000	240,000			
	年額合計																	534,000	480,000			
8年次	前期	5月10日	授業料																185,000			
			実験実習費																30,000			
			施設費																25,000			
			小計																240,000			
	後期	10月10日	授業料																185,000			
			実験実習費																30,000			
			施設費																25,000			
			小計																240,000			
	年額合計																		480,000			
合計				2,058,000	2,160,000	2,260,000	2,598,000	2,700,000	2,800,000	2,810,000	2,910,000	3,010,000	2,750,000	2,850,000	2,950,000	3,670,000	3,772,000	3,868,000	3,970,000	2,630,000	2,730,000	2,830,000

（注）1．留年した場合は、最終学年の授業料等相当額を納入してください。
2．在学期間を短縮した場合は、短縮した年数の学費総額との差額を納入してください。

奨　学　生　制　度

① 名城大学学内奨学生制度【給付】

奨学生制度には、人物や学業成績優秀者が対象のもの、経済的に困難な学生が対象のもの等があり、選考のうえ決定されます。
なお詳細は、本学ウェブサイト（https://www.meijo-u.ac.jp/campus/support/index.html）を参照ください。

■名城大学学内奨学生

※今後、事情により変更する場合がありますので、ご了承ください。

1．学業優秀奨学生

名　　称	対　　象　　者	人　数　・　給　付　額
大学院学業優秀奨学生	大学院生で、学業成績および人物優秀者。	90名、年額一律30万円

2．修学援助奨学生

名　　称	対　　象　　者	人　数　・　給　付　額
修学援助Ｂ奨学生	主たる家計支持者（学資負担者）の死亡、疾病、失業（自己都合を除く）、または、火災、風水害等の被害により家計が急変し、修学の意思があるにもかかわらず経済的に著しく困難となった者。	該当する者全員、年額一律30万円
大規模自然災害経済支援奨学生	災害救助法が適用された（または外務省による国際緊急援助が行われた）大規模自然災害により家計が急変し、修学が困難になった学生および入学試験出願者。 ※希望者は出願前までに入学センターへお問い合わせください。	該当する者全員、 授業料・実験実習費・施設費の年額、または1/2の額（被災状況による）。 入学試験出願者は、入学検定料、入学金の全額も給付する。

3．特別奨学生

名　　称	対　　象　　者	人　数　・　給　付　額
大学院奨学生	各研究科の基準による。	各研究科の基準による。
本学卒業等補助奨学生	①本学卒で研究科、他の学部へ入学する者。 ②本学に籍を置いた者で退学の後、再度入学する者。	該当する者全員、入学金の額
校友会奨学生	人物優秀者で学業成績または体育技能優秀者。	校友会の指定する人数、額
赤崎勇賞	大学院博士後期課程又は博士課程在学生のうち、教育研究活動等に関する業績が特に優れている者（理工学研究科においては博士前期課程又は修士課程も含める。）	各年度５名（理工学研究科から４名＋理工学研究科を含む全研究科から１名） 一律20万円
長谷川士郎奨学金	博士課程在学者（ただし、博士前期課程在籍者及び留学生は除く）	申請資格を有する者全員 博士課程授業料相当額
日本学術振興会特別研究員奨学生	日本学術振興会特別研究員（DC１、DC２）に採用された者。	該当する者全員 授業料・実験実習費・施設費の額
海外英語研修派遣支援Ａ奨学生	国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラム又は学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者で、学部等の国際委員会が実施する選考により採用された者。	毎年180名以内。 20万円または研修費用総額の１/２のいずれか少ない額。
海外英語研修派遣支援Ｂ奨学生	国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラム又は学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者。	該当する者全員、５万円
海外大学教員学位取得支援奨学生	海外の大学教員または大学と雇用契約を結ぶ研究助手（ＲＡ）で博士の学位取得後に大学教員となる見込みの高い者。ただし、入学時に修士の学位を有しており、本大学の博士後期課程への入学が認められていること。	毎年２名以内、在籍者全員で６名以内、入学金、授業料、実験実習費および施設費の額

4．私費外国人留学生Ａ奨学生

外国人留学生（「留学」の在留資格を持つ外国籍学生）が対象です。詳しくは12ページ「外国人留学生の学費について」を参照ください。

② 日本学生支援機構（JASSO）奨学生【貸与】

毎年春及び秋に募集。優れた学生であって経済的理由により修学が困難な学生に、在学中に貸与されます。

種　　類		利子	貸与時期	貸　与　額
第一種奨学金		無利子	毎月１回	修士課程：月額50,000円または88,000円
				博士課程：月額80,000円または122,000円
授業料後払い制度	授業料支援金		学校指定月	年額（最大）776,000円＋保証料相当額
	生活費奨学金		毎月１回	月額０円（利用しない）、２万円、４万円から選択
第二種奨学金		有利子	毎月１回	月額 ５万円、８万円、10万円、13万円、15万円から選択

（2026年度現在）

※学部の時に JASSO の給付奨学金の支給を受けていた人が、大学院修士課程・博士前期課程に進学を希望し、かつ第一種貸与奨学金の利用を考えている場合に、業績優秀による返還免除内定候補者として申請できる制度がございます。詳細については、学務センター生活支援グループにお問い合わせください。

③ 都道府県・市町村・民間奨学団体奨学生

各団体から本学に募集があり次第、掲示板でお知らせします。
募集は主に４月～ ５月です。大学を通さず直接募集をしている場合もあります。

法　学　研　究　科

法学研究科は、変動する国内外の法的・政治的分野及びその交錯する分野に関して、
規範と実践の両面から研究または実務を行う人材の養成を目的とする。

修士課程授業科目

憲法Ⅰ（統治機構）
憲法Ⅱ（人権保障）
憲法Ⅲ（憲法訴訟）
憲法Ⅳ（比較憲法）
憲法Ⅴ（多文化共生）
行政法Ⅰ（一般理論）
行政法Ⅱ（行政作用法）
行政法Ⅲ（地方自治法）
行政法Ⅳ（行政救済法）
行政法Ⅴ（行政組織法）
租税法Ⅰ（総論）
租税法Ⅱ（租税争訟法・手続法）
租税法Ⅲ（所得税）
租税法Ⅳ（法人税）
租税法Ⅴ（相続税）
租税法Ⅵ（消費税）
国際法Ⅰ（総論）
国際法Ⅱ（各論）
国際法Ⅲ（組織）
国際法Ⅳ（人権）
刑事法Ⅰ（刑法理論）
刑事法Ⅱ（刑法判例）
刑事法Ⅲ（刑事訴訟法）
刑事法Ⅳ（刑事政策）
刑事法Ⅴ（現代刑事法）
民法Ⅰ（総則）
民法Ⅱ（債権総論）
民法Ⅲ（債権各論）
民法Ⅳ（物権）
民法Ⅴ（親族）
民法Ⅵ（相続）
国際私法Ⅰ（国際民事手続法）
国際私法Ⅱ（準拠法）
企業法Ⅰ（企業組織法）
企業法Ⅱ（金融・有価証券法）
企業法Ⅲ（企業取引法）
企業法Ⅳ（知的財産法）
企業法Ⅴ（企業取引と税務）
民事手続法Ⅰ（民事訴訟法）
民事手続法Ⅱ（民事執行・保全法）
民事手続法Ⅲ（倒産法）
民事手続法Ⅳ（裁判外紛争処理制度）
労働法Ⅰ（個別的労働関係法）
労働法Ⅱ（集団的労働関係法）
経済法Ⅰ（総論）
経済法Ⅱ（各論）
法哲学Ⅰ（法理論）
法哲学Ⅱ（正義論）
法社会学Ⅰ（総論）
法社会学Ⅱ（各論）
法制史Ⅰ（日本法制史）
法制史Ⅱ（日本法制史史料解題）
法制史Ⅲ（西洋法制史）
法制史Ⅳ（西洋法制史史料解題）
政治学Ⅰ（政治理論・思想）
政治学Ⅱ（行政学）
政治学Ⅲ（国際政治学）
政治学Ⅳ（政治過程論）
外国法Ⅰ（英米法）
外国法Ⅱ（大陸法）
基礎法特別（東洋法史論）
政治学特別（政治史）
政治学特別（外交史）
公法研究指導Ⅰ
公法研究指導Ⅱ
私法研究指導Ⅰ
私法研究指導Ⅱ
基礎法学研究指導Ⅰ
基礎法学研究指導Ⅱ
政治学研究指導Ⅰ
政治学研究指導Ⅱ

博士後期課程授業科目

憲法特殊研究Ⅰ
憲法特殊研究Ⅱ
憲法特殊研究Ⅲ
憲法特殊研究Ⅳ
憲法特殊研究Ⅴ
憲法特殊研究指導Ⅰ
憲法特殊研究指導Ⅱ
憲法特殊研究指導Ⅲ
行政法特殊研究Ⅰ
行政法特殊研究Ⅱ
行政法特殊研究Ⅲ
行政法特殊研究Ⅳ
行政法特殊研究Ⅴ
行政法特殊研究指導Ⅰ
行政法特殊研究指導Ⅱ
行政法特殊研究指導Ⅲ
国際法特殊研究Ⅰ
国際法特殊研究Ⅱ
国際法特殊研究Ⅲ
国際法特殊研究Ⅳ
国際法特殊研究指導Ⅰ
国際法特殊研究指導Ⅱ
国際法特殊研究指導Ⅲ
刑事法特殊研究Ⅰ
刑事法特殊研究Ⅱ
刑事法特殊研究Ⅲ
刑事法特殊研究Ⅳ
刑事法特殊研究Ⅴ
刑事法特殊研究指導Ⅰ
刑事法特殊研究指導Ⅱ
刑事法特殊研究指導Ⅲ
民法特殊研究Ⅰ
民法特殊研究Ⅱ
民法特殊研究Ⅲ
民法特殊研究Ⅳ
民法特殊研究Ⅴ
民法特殊研究Ⅵ
民法特殊研究指導Ⅰ
民法特殊研究指導Ⅱ
民法特殊研究指導Ⅲ
国際私法特殊研究Ⅰ
国際私法特殊研究Ⅱ
国際私法特殊研究Ⅲ
国際私法特殊研究Ⅳ
国際私法特殊研究指導Ⅰ
国際私法特殊研究指導Ⅱ
国際私法特殊研究指導Ⅲ
企業法特殊研究Ⅰ
企業法特殊研究Ⅱ
企業法特殊研究Ⅲ
企業法特殊研究Ⅳ
企業法特殊研究Ⅴ
企業法特殊研究指導Ⅰ
企業法特殊研究指導Ⅱ
企業法特殊研究指導Ⅲ
民事手続法特殊研究Ⅰ
民事手続法特殊研究Ⅱ
民事手続法特殊研究Ⅲ
民事手続法特殊研究Ⅳ
民事手続法特殊研究指導Ⅰ
民事手続法特殊研究指導Ⅱ
民事手続法特殊研究指導Ⅲ
労働法特殊研究Ⅰ
労働法特殊研究Ⅱ
経済法特殊研究Ⅰ
経済法特殊研究Ⅱ
社会法特殊研究指導Ⅰ
社会法特殊研究指導Ⅱ
社会法特殊研究指導Ⅲ
法哲学特殊研究Ⅰ
法哲学特殊研究Ⅱ
法社会学特殊研究Ⅰ
法社会学特殊研究Ⅱ
法哲学特殊研究指導Ⅰ
法哲学特殊研究指導Ⅱ
法哲学特殊研究指導Ⅲ
法制史特殊研究Ⅰ
法制史特殊研究Ⅱ
法制史特殊研究Ⅲ
法制史特殊研究Ⅳ
法制史特殊研究指導Ⅰ
法制史特殊研究指導Ⅱ
法制史特殊研究指導Ⅲ
政治学特殊研究Ⅰ
政治学特殊研究Ⅱ
政治学特殊研究Ⅲ
政治学特殊研究Ⅳ
政治学特殊研究指導Ⅰ
政治学特殊研究指導Ⅱ
政治学特殊研究指導Ⅲ

法学研究科 修士課程

① 募集専攻・専修分野（専修科目）

※希望の教員が指導教員とならないことがありますので、ご了承ください。

研究科	専攻	専修分野（専修科目）
法学研究科	法律学専攻	憲法学、行政法学、租税法学、刑事法学、民法学、企業法学、民事手続法学、社会法学、法制史学、政治学

② 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点〈評価〉		備考	実施時期［回目］				
				1	2	3	4	5
一般	10:00 ～ 12:00 筆記試験 （専修科目１科目〈100点〉 および 選択科目１科目〈100点〉）	13:00 ～ 面接〈ABC 評価〉	筆記試験の「専修科目１科目」は、「募集専修分野（専修科目）」から、入学以降に研究指導を希望する科目を選択してください（合格者は、受験時における専修科目を入学以降の専修科目とします）。 「選択科目１科目」は、「専修科目１科目」として選択した「専修科目」以外の１科目、または「外国語（英語・独語・中国語から1科目）」を選択してください。なお、この場合の「専修科目」には「募集専修分野（専修科目）」以外に「国際法学」・「法哲学」も含みます。 出願時に入学志願票「志望専修分野」欄に「専修科目１科目」、「選択科目１科目」を予め明記してください。さらに「選択科目１科目」として「外国語」を選択する場合は、入学志願票「試験科目」の「外国語」欄のいずれかに「○」を付してください。 ※ポケット六法は貸与 ※外国語辞書は１冊持込可。ただし電子辞書は持込不可		○		○	
外国人	10:00 ～ 12:00 小論文〈100点〉	13:00 ～ 面接〈ABC 評価〉	①小論文（２時間） 志望専修科目１問 ②面接 日本語および基礎学力に関する試問 ・ただし、受験のための出国許可が得られない者については、出願書類によって判定します。 ※ポケット六法は貸与		○		○	
社会人	10:00 ～ 口述試験〈ABC 評価〉		特に「志願理由書」および「研究計画書」に基づき、口述試験を行います。				○	
推薦	10:00 ～ 面接〈ABC 評価〉		提出された書類等を踏まえ、面接試験を行います。	○	○		○	

※実施時期の詳細は 2 ～ 6 ページを参照してください。

③ 出願資格

試験区分	出願資格条件
一般	1（1）学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2027年3月末までに卒業見込みの者。 （2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （6）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （7）文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号） （8）学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。 （9）本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月末までに22歳に達する者。 （注）上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人	上記1（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記2の条件を満たしている者。（上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 2 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社会人	上記1（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記3のいずれかの条件を満たしている者。 3（1）3年以上（2027年4月1日現在）の実務経験を有する者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 （2）本研究科が特に認めた者で、出願資格確認を受けた者。
推薦	次の3条件全てを満たしていること。 （1）本学法学部に在学し、3年修了時までに100単位以上修得している者。 （2）修得科目に対し、A評価の科目数が55%以上または、A評価の科目を40%以上含んでA+B評価の科目数が70%以上の者。 （3）学部長または、ゼミの指導教員の推薦を得られる者。

④ 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
外国人または海外の大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （4）住民票（出願前3か月以内に取得したもの） （注）窓口受付の時に、「在留カード」の両面のコピーを取ることでこれに代えることができます。 （5）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （6）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （3）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」宛（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）に郵送し、出願資格の確認を受けてください。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）志願理由書（本学所定の用紙） （3）最終出身大学の成績証明書 （4）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （注）（1）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （2）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（6）」を、併せて提出してください。
推薦	出願資格確認期間内に、学務センター（法学研究科）にて出願資格確認の申請をしてください。 結果は後日、学務センター（法学研究科）より通知します。

⑤ 出 願 方 法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項7ページ（②）・9・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出願書類
一般	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）志願理由書 （3）ア．大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 イ．短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 （4）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外国人	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 （1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （3）私費外国人留学生A奨学生願書 （4）授業料の一部納期延期願
社会人	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 （1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）研究計画書（本学所定の用紙）[修士論文作成のための具体的な研究計画等を3000字程度にまとめてください] （3）業績報告書（その1）（本学所定の用紙）[所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください] ※なお、論文・出版物等過去に公表したものがある場合は、業績報告書（その2）に記載し、出願書類と併せて提出してください（論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません）。 （4）出願資格確認通知書（本学から送付した確認通知書） （5）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
推薦	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 （1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）成績証明書 （3）卒業見込証明書 （4）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

⑥ そ の 他

試験会場等その他の事項については共通事項（7～8ページ）を参照してください。

法学研究科 博士後期課程

① 募集専攻・研究指導科目

研究科	専攻	研究指導科目
法学研究科	法律学専攻	憲法特殊研究、行政法特殊研究、刑事法特殊研究、民法特殊研究、企業法特殊研究、民事手続法特殊研究、社会法特殊研究、法制史特殊研究、政治学特殊研究

② 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点〈評価〉			備考	実施時期［回目］				
					1	2	3	4	5
一般	9:30 ～ 11:00 外国語〈100点〉	11:45 ～ 13:15 論文〈100点〉	14:00 ～ 口述試験〈ABC評価〉	・外国語は、出願時に英語・独語・中国語のうち1科目選択。 ※外国語辞書は各科目1冊持込可、ただし電子辞書は不可。 ・論文は、各人の研究主題に関連する基礎科目について、筆記試験を行います。 ※司法試験用六法貸与。 ・口述は、各人の研究主題に関連する基礎科目を中心に試問を行います。				○	
外国人	9:30 ～ 11:00 外国語〈100点〉	11:45 ～ 13:15 論文〈100点〉	14:00 ～ 口述試験〈ABC評価〉	・外国語は、出願時に英語・独語のうち1科目選択。 ※外国語辞書1冊持込可、ただし電子辞書は不可。 ・論文は、各人の研究主題に関連する基礎科目について、筆記試験を行います。 ※司法試験用六法貸与。 ・口述は、各人の研究主題に関連する基礎科目を中心に、口述試問を行います。 ・ただし、受験のための出国許可が得られない者については、出願書類によって判定します。				○	
社会人	10:00 ～ 口述試験〈ABC評価〉			・口述は、各人の研究主題に関連する基礎科目を中心に、試問を行います。				○	

※実施時期の詳細は2～6ページを参照してください。

③ 出願資格 ※出願希望者は、事前に研究指導科目の指導教員に問い合わせてください。

試験区分	出願資格条件
一般	1（1）修士の学位または専門職学位を有する者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （2）外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （4）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （5）文部科学大臣の指定した者。（平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号） （6）本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月末までに24歳に達する者。 （注）上記（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人	上記 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 2 の条件を満たしている者。（上記（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 2 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社会人	上記 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 3 の条件を満たしている者。 3 5年以上（2027年4月1日現在）の実務経験を有する者。

④ 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
外国人または海外の大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）最終出身大学大学院修士課程の成績証明書 （5）最終出身大学大学院修士課程の修了（見込）証明書 （6）住民票（出願前3か月以内に取得したもの） （注）窓口受付の時に、「在留カード」の両面のコピーを取ることでこれに代えることができます。 （7）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （8）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」宛（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）に郵送し、出願資格の確認を受けてください。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）志願理由書（本学所定の用紙） （3）最終出身大学の成績証明書 （4）最終出身大学の卒業証明書 （5）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （6）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （注）（1）大学院博士課程修了（見込）者は、上記の他に、①博士課程成績証明書、②博士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （2）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（8）」を、併せて提出してください。

⑤ 出 願 方 法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項７ページ（②）・９・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出　願　書　類
一　般	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学の成績証明書 （３）最終出身大学の卒業証明書 （４）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （５）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （６）修士論文の要旨 ※（8000字程度） ※修士論文を作成していない者は、研究計画書（本学所定の用紙）[博士論文作成のための具体的な研究計画等を3000字程度にまとめてください] を提出してください。 （７）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外　国　人	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 （１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）修士論文の要旨（4000字程度または英語の場合は1500語程度） （３）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （４）私費外国人留学生Ａ奨学生願書 （５）授業料の一部納期延期願
社　会　人	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 （１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）研究計画書（本学所定の用紙）[博士論文作成のための具体的な研究計画等を3000字程度にまとめてください] （３）業績報告書（その１）（本学所定の用紙）[所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください] ※なお、論文・出版物等過去に公表したものがある場合は、業績報告書（その２）に記載し、出願書類と併せて提出してください（論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません）。 （４）修士論文またはそれに相当するものおよび修士論文内容要旨（8000字程度） （５）出願資格確認通知書（本学から送付した確認通知書） （６）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

⑥ そ の 他

試験会場等その他の事項については共通事項（７～８ページ）を参照してください。

経　営　学　研　究　科

経営学研究科は、21世紀のグローバル化社会における営利・非営利組織体の運営に係る実践的理論を追求し、問題解決能力を有する研究職・専門職人材及び高度専門職人材の養成を目的とする。

修士課程授業科目

<経営学・ものづくりシステムコース>

経営管理研究
労務管理研究
情報産業組織研究
経営組織研究
国際経営研究
経営史研究
国際産業集積研究
経営戦略研究
コーポレート・ガバナンス研究
マーケティング研究
流通研究
マーケティング情報システム研究
研究開発マネジメント研究
生産技術研究
実践品質管理研究
実践情報システム設計
実践生産システム設計
プロセス・マネジメント研究
実践マネジメントシステム設計
グローバル経営戦略研究
人材開発マネジメント研究
ベンチャー起業論研究
マーケティング戦略研究
NPO起業研究
実践コスト・マネジメント研究
海外企業移転研究
実践起業研究
アジア企業研究
ヨーロッパ企業研究
労使関係研究
企業内教育研究
労務監査研究
経営情報システム研究
環境マネジメント研究
経営学外国文献研究
経営学研究指導Ⅰ・Ⅱ

<会計学・ファイナンスコース>

財務会計研究
制度会計研究
会計監査研究
管理会計研究
コスト・マネジメント研究
国際会計研究
経営分析研究
実践経営分析研究
知的財産研究
税務会計研究
環境会計研究
非営利組織体会計研究
コーポレート・ファイナンス研究
インベストメント・マネジメント研究
金融システム研究
金融機関経営研究
会計学・ファイナンス外国文献研究
会計学・ファイナンス研究指導Ⅰ・Ⅱ

<共通>

経営学特別講義Ⅰ（考える方法を考える）
経営学特別講義Ⅱ（企業フィールドワーク）

博士後期課程授業科目

経営学研究指導Ⅰ～Ⅲ
会計学研究指導Ⅰ～Ⅲ
経営財務論研究指導Ⅰ～Ⅲ
学位論文ワークショップ
経営学特殊研究Ⅰ～Ⅷ
会計学特殊研究Ⅰ～Ⅷ
経営財務論特殊研究Ⅰ～Ⅷ

経営学研究科 修 士 課 程

① 募集専攻・専修分野（専修科目）

研　究　科	専　　攻	専 修 分 野 （ 専 修 科 目 ）
経 営 学 研 究 科	経　営　学　専　攻	**〈経営学・ものづくりシステムコース〉** 労務管理研究、国際産業集積研究、コーポレート・ガバナンス研究、マーケティング研究、流通研究、実践情報システム設計、人材開発マネジメント研究、マーケティング戦略研究、アジア企業研究、ヨーロッパ企業研究、労使関係研究、環境マネジメント研究 **〈会計学・ファイナンスコース〉** 財務会計研究、制度会計研究、管理会計研究、コスト・マネジメント研究、環境会計研究、非営利組織体会計研究、コーポレート・ファイナンス研究、 インベストメント・マネジメント研究、金融システム研究、金融機関経営研究

※名城大学のホームページ（以下リンク参照）に掲載されている教員の専門分野に加え、教員情報からリンクしているリサーチマップおよび担当授業科目からリンクしているシラバスの内容を十分に確認した上で、専修分野（専修科目）を選択してください。
https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_business/educator.html
年度により開講されない科目があります。

② 選 抜 方 法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）	備　　考	実施時期［回目］				
			1	2	3	4	5
一　　般	9:00～10:30 論　文 〈100点〉 / 10:45～11:45 外国語（英語） 〈100点〉 / 12:45～ 面　接 〈ABCD 評価〉	論文は、志望コースから1問、残り1問は自由選択してください。 ※外国語試験は、外国語辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。		○	○		
外　国　人	9:00～10:00 日本語論文 〈100点〉 / 10:15～ 面　接 〈ABCD 評価〉	日本語論文は、経営学・ものづくりシステムコース、会計学・ファイナンスコースのうち、志望コースの科目について1問選択してください。 ※日本語論文、面接、書類審査により、合否を判定します。面接時間等については受験票送付の際にご連絡します。		○	○		
社　会　人	9:00～10:00 論　文 〈100点〉 / 10:15～ 口　述　試　験 〈ABCD 評価〉	①論文は、経営学・ものづくりシステムコース、会計学･ファイナンスコースのうち、志望コースの科目について1問選択してください。 ②「研究計画書」等の書類に基づいた内容・専門知識に関する口述試験。		○	○		
社　会　人 推　　薦	12:00～ 口述試験〈ABCD 評価〉	「研究計画書」等の書類に基づいた内容・専門知識に関する口述試験。			○		
推　　薦	試験時間は受験票にて通知します 書類の審査および面接			○	○		
推　薦・ 5年修了プログラム	試験時間は受験票にて通知します 書類の審査および面接〈ABCD 評価〉			○			
飛 び 級 制 度	試験時間は受験票にて通知します 書類の審査および面接	面接時に口頭試問を実施する場合があります。			○		

※実施時期の詳細は 2～6 ページを参照してください。

③ 出願資格

試験区分	出願資格条件
一般	1（1）学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2027年3月末までに卒業見込みの者。 （2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （6）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （7）文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号） （8）学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。 （9）本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月末までに22歳に達する者。 （注）上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人	上記 1（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 2 の条件を満たしている者。（上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 2 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社会人	上記 1（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 3 のいずれかの条件を満たしている者。 3（1）大学を卒業、または大学院を修了して、社会人として1年以上（入学時現在）の経験を有する者。 （2）本研究科が特に認めた者。
社会人推薦	上記 1（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 4 の条件を満たしている者。（上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 4（1）社会保険労務士として登録していること。 （2）4年制大学を卒業した者又はそれと同等以上の能力を有する者。 （3）社会保険労務士として登録後、2年以上を経過した者。 （4）全国社会保険労務士会連合会中部地域協議会から推薦された者。 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。
〈学内〉推薦5年修了プログラム飛び級制度	詳細は入学センターへ問い合わせてください。

④ 出願資格の確認手続

試験区分	提　出　書　類
外国人または海外の大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙）※「研究計画」は、①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （4）住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （5）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （6）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （3）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （5）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書） （6）就業経験を証明できる書類（様式任意） （注）（1）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （2）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（6）」を、併せて提出してください。 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。
〈学内〉推薦5年修了プログラム飛び級制度	詳細は入学センターへ問い合わせてください。

⑤ 出 願 方 法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項7ページ（②）・9・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出　願　書　類
一　般	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）ア．大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 イ．短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （3）研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （4）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外　国　人	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （3）私費外国人留学生Ａ奨学生願書 （4）授業料の一部納期延期願
社　会　人	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （3）業績報告書（その1）（本学所定の用紙） 所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください。なお、論文・出版物等（経営学に関するもの以外でも構いません）過去に公表したものがある場合は、業績報告書（その2）に記載し、出願書類と併せて提出してください。論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。 （4）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （5）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 **〈外国人留学生の方は、上記の他に下記の書類を提出してください〉** （1）住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （2）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。
社　会　人 推　薦	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）研究計画書（本学所定の用紙） （5）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
〈学　内〉 推　薦 5年修了 プログラム 飛び級制度	詳細は入学センターへ問い合わせてください。

⑥ そ の 他

試験会場等その他の事項については共通事項（7～8ページ）を参照してください。

経営学研究科 博 士 後 期 課 程

① 募集専攻・研究指導科目

研　究　科	専　　攻	研　究　指　導　科　目
経 営 学 研 究 科	経　営　学　専　攻	経営学研究指導Ⅰ～Ⅲ、会計学研究指導Ⅰ～Ⅲ、経営財務論研究指導Ⅰ～Ⅲ

※名城大学のホームページ（以下リンク参照）に掲載されている教員の専門分野に加え、教員情報からリンクしているリサーチマップおよび担当授業科目からリンクしているシラバスの内容（学士課程や修士課程の担当科目含む）を十分に確認した上で、専修分野（研究指導科目）を選択してください。
https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_business/educator.html

② 選 抜 方 法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備　　考	実施時期［回目］				
					1	2	3	4	5
一　　般	9:00 ～ 10:30	10:45 ～ 11:45	12:00 ～	・論文は、各人の研究主題に関する基礎科目について筆記試験を行います。 ・外国語試験は、外国語辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 ・口述試験は、各人の修士論文を中心に行います。			○		
	論　　文〈100点〉	外国語（英語）〈100点〉	口 述 試 験〈ABCD 評価〉						
外 国 人	9:00 ～ 10:30	10:45 ～ 11:45	12:00 ～	・論文は、各人の研究主題に関する基礎科目について筆記試験を行います。 ・外国語試験は、辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 ・口述試験は、各人の修士論文を中心に行います。			○		
	論　　文〈100点〉	外国語（英語）〈100点〉	口 述 試 験〈ABCD 評価〉						
社 会 人	12:00 ～			各人の研究計画書・修士論文等の出願書類をもとに行います。			○		
	口　述　試　験〈ABCD 評価〉								
秋季　推薦	試験時間は受験票にて通知します				○				
	書類の審査および口述試験（面談）								
推　　薦	試験時間は受験票にて通知します						○		
	書類の審査および口述試験（面談）								

※実施時期の詳細は 2 ～ 6 ページを参照してください。

③ 出願資格 ※受験希望者は、事前に研究指導科目の指導教員に問い合わせてください。

試験区分	出願資格条件
一般	1（1）修士の学位または専門職学位を有する者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （2）外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （4）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （5）文部科学大臣の指定した者。（平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号） （6）本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月末までに24歳に達する者。 （注）上記（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人	上記 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 2 の条件を満たしている者。（上記（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 2 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社会人	上記 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 3 の条件を満たしている者。 3 3年以上（入学時現在）の実務経験を有する者。
〈学内〉 秋季推薦 推薦	詳細は入学センターへ問い合わせてください。

④ 出願資格の確認手続

試験区分	提出書類
外国人または海外の大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙）※研究計画は、①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （5）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （6）住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （7）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （8）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （5）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （6）就業経験を証明できる書類（様式任意） （注）（1）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （2）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（8）」を、併せて提出してください。 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。
〈学内〉 秋季推薦 推薦	詳細は入学センターへ問い合わせてください。

⑤ 出 願 方 法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項７ページ（②）・９・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出　願　書　類
一　般	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学の卒業証明書 （３）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （４）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （５）修士論文およびその要旨。修了見込みの者は、研究経過報告書（様式任意。1000字程度）を提出してください。 （６）研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （７）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） 〔注意事項〕出願予定者は、出願資格確認受付期間開始日までに、必ず希望する研究指導教員と直接面談を行い、博士後期課程での研究指導について承諾を得て下さい。
外　国　人	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）修士論文および修士論文内容要旨 （３）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （４）私費外国人留学生Ａ奨学生願書 （５）授業料の一部納期延期願 〔注意事項〕出願予定者は、出願資格確認受付期間開始日までに、必ず希望する研究指導教員と直接面談を行い、博士後期課程での研究指導について承諾を得て下さい。 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。
社　会　人	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （３）業績報告書（その１）（本学所定の用紙） 所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください。なお、論文・出版物等過去に公表したものがある場合は、業績報告書（その２）に記載し、出願書類と併せて提出してください。論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。 （４）修士論文またはそれに相当するもの （５）出願資格確認通知書 （６）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） 〔注意事項〕出願予定者は、出願資格確認受付期間開始日までに、必ず希望する研究指導教員と直接面談を行い、博士後期課程での研究指導について承諾を得て下さい。 **〈外国人留学生の方は、上記の他に下記の書類を提出してください〉** （１）住民票（出願前３か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） **（注）窓口受付の場合は、「在留カード」のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。** （２）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。
〈学内〉 秋季推薦 推　薦	詳細は入学センターへ問い合わせてください。

⑥ そ の 他

試験会場等その他の事項については共通事項（７～８ページ）を参照してください。

経 済 学 研 究 科

経済学研究科は、経済活動の諸分野において、理論と洞察力、専門的見識と情報分析力をもつ、研究者・専門家及び高度な技能と実践的な知識を有する職業人の養成を目的とする。

経済学研究科授業科目

専修分野	修士課程		博士後期課程	
	研究指導科目	講義科目	演習科目	講義科目
理論経済・経済史	理論経済・経済史研究指導	マクロ経済学研究 ミクロ経済学研究 情報の経済学研究 経済理論研究 経済思想研究 経済統計学研究 西洋経済史研究 日本経済史研究	理論経済・経済史演習Ⅰ 理論経済・経済史演習Ⅱ 理論経済・経済史演習Ⅲ	マクロ経済学特殊研究 ミクロ経済学特殊研究 情報の経済学特殊研究 経済理論特殊研究 経済統計学特殊研究 経済史特殊研究
経済政策	経済政策研究指導	財政学研究 地方財政論研究 金融論研究 労働経済論研究 アジア経済論研究 中国経済論研究 国際経済論研究 環境経済論研究	経済政策演習Ⅰ 経済政策演習Ⅱ 経済政策演習Ⅲ	財政学特殊研究 金融論特殊研究 労働経済論特殊研究 アジア経済論特殊研究 環境経済論特殊研究
現代産業構造	現代産業構造研究指導	工業経済論研究 交通経済学研究 農業経済論研究 現代企業論研究 中小企業論研究 地域産業論研究 経済地理学研究	現代産業構造演習Ⅰ 現代産業構造演習Ⅱ 現代産業構造演習Ⅲ	工業経済論特殊研究 交通経済学特殊研究 現代企業論特殊研究 中小企業論特殊研究 地域産業論特殊研究

経済学研究科 修 士 課 程

① 募集専攻・専修分野（専修科目）

研究科・専攻	専修分野	研究指導科目	講 義 科 目
経済学・経済学	理論経済・経済史	理論経済・経済史研究指導	マクロ経済学研究・ミクロ経済学研究、情報の経済学研究、経済理論研究、経済思想研究、経済統計学研究、西洋経済史研究、日本経済史研究
	経 済 政 策	経済政策研究指導	地方財政論研究、金融論研究、アジア経済論研究、中国経済論研究、国際経済論研究、環境経済論研究
	現代産業構造	現代産業構造研究指導	工業経済論研究、交通経済学研究、農業経済論研究、現代企業論研究、中小企業論研究、地域産業論研究、経済地理学研究

※指導教員との事前面談は必須ではありませんが、名城大学のホームページ（https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_economics/educator.html）から、教員情報を確認の上、専修分野（専修科目）を選択してください。年度により開講されない科目がある場合もあります。

② 選 抜 方 法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）	備考	実施時期［回目］				
			1	2	3	4	5
推薦	10:45 ～ 口述試験〈ABCD 評価〉	「研究計画書」および出願書類に基づき、試問を行います。	○		○		
一般	9:00 ～ 10:30 専門科目〈100点〉 10:45 ～ 11:45 外国語（英語）〈100点〉 12:00 ～ 口述試験〈ABCD 評価〉	専門科目は、第一志望分野から1問題、残り1問題を、既に選択した問題を除く全問題から自由に選択し、合計2問題を日本語で解答していただきます。 ※外国語試験は、外国語辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。		○	○		
外国人	9:00 ～ 10:30 専門科目〈100点〉 10:45 ～ 口述試験〈ABCD 評価〉	専門科目 専門科目は、第一志望分野から1問題、残り1問題を、既に選択した問題を除く全問題から自由に選択し、合計2問題を日本語で解答していただきます。		○	○		
社会人	10:45 ～ 口述試験〈ABCD 評価〉	「研究計画書」等の書類に基づいた内容・専門知識に関する口述試験。		○	○		

※実施時期の詳細は 2 ～ 6 ページを参照してください。

③ 出願資格

試験区分	出願資格条件
推薦	学業および人物ともに優れ、出願資格 1 のいずれかの条件を満たし、さらに出願資格 2 のいずれかの条件を満たし、出願資格確認を得た者。 1（1）2027年 3 月に本学を卒業見込みの者で出願期間以前に所属する専門ゼミ指導教員または学部長から推薦を得られる者。 （2）2027年 3 月に他大学を卒業見込みの者で出願期間以前に所属する専門ゼミ指導教員または学部長から推薦を得られる者。 2（1）出願時に証明される成績において、卒業要件（例：124単位）の80%以上の単位（例:100単位／124単位）を修得し、かつ、1 / 2（例：62単位／124単位）以上で最上位の評価（A以上あるいは優等）を得ている者。 （2）所属学科の 4 年次在学者のうち成績上位 1 / 3 以上である者。 ※本試験は専願です。専願とは、名城大学大学院経済学研究科修士課程入学試験に合格した場合、必ず名城大学に入学していただくということです。
一般	3（1）学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2027年 3 月末までに卒業見込みの者。 （2）学校教育法第104条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者、または2027年 3 月末までに取得見込みの者。 （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年 3 月末までに修了見込みの者。 （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年 3 月末までに修了見込みの者。 （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2027年 3 月末までに修了見込みの者。 （6）専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年 3 月末までに修了見込みの者。 （7）文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第 5 号） （8）学校教育法第102条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。 （9）本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年 3 月末までに22歳に達する者。 （注）上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の 1 か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人	上記 3 （1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 4 の条件を満たしている者。（上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の 1 か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 4 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語能力試験（JLPT）N2以上に合格し、受講ならびに日常生活に困難でないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社会人	上記 3 （1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 5 のいずれかの条件を満たしている者。 5（1）大学を卒業、または大学院を修了して、3 年以上（入学時現在）の社会的経験を有する者。 （2）本研究科が特に認めた者。 〈日本国籍以外の者は、さらに日本語能力試験（JLPT）N2以上に合格し、受講ならびに日常生活に困難でないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。〉

④ 出願資格の確認手続

試験区分	提　出　書　類
推　薦	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」宛（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）に郵送し、出願資格の確認を受けなければなりません。 （１）志願理由書（本学所定の用紙） （２）成績証明書（出願資格 [2]－（１）、[2]－（２）のいずれかを確認できるもの） （３）卒業見込証明書 （４）推薦書 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。
外国人または海外の大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。 提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙）※研究計画は、①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （２）最終出身大学の成績証明書 （３）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （４）住民票（出願前３か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （５）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （６）日本語能力試験（JLPT）N2以上の合格通知書または認定書のコピー（写し） （７）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（１）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （２）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （３）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社　会　人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。 提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学の成績証明書 （３）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （４）就業経験を証明できる書類（様式任意） （注）（１）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 〈日本国籍以外の者は日本語能力試験（JLPT）N2以上の合格通知書または認定書のコピー〉 （２）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（１）～（７）」を、併せて提出してください。 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。

⑤ 出 願 方 法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項７ページ（②）・９・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出　願　書　類
推　薦	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 （１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （３）出願資格確認通知書（本学から送付した確認通知書） （４）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
一　般	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）ア．大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 イ．短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （３）研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （４）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外　国　人	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （３）私費外国人留学生Ａ奨学生願書 （４）授業料の一部納期延期願
社　会　人	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④修士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （３）業績報告書（その１）（本学所定の用紙） 所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください。なお、論文・出版物等過去に公表したものがある場合は、業績報告書（その２）に記載し、出願書類と併せて提出してください。論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。 （４）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （５）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） **〈日本国籍以外の者は、上記の他に下記の書類を提出してください〉** （１）住民票（出願前３か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） **（注）窓口受付時に、「在留カード」のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。** （２）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。

⑥ そ の 他

試験会場等その他の事項については共通事項（７～８ページ）を参照してください。

経済学研究科 博 士 後 期 課 程

① 募集専攻・専修分野（演習科目）

研究科・専攻	専修分野	演 習 科 目
経済学・経済学	理論経済・経済史	理論経済・経済史演習Ⅰ 理論経済・経済史演習Ⅱ 理論経済・経済史演習Ⅲ
	経 済 政 策	経済政策演習Ⅰ 経済政策演習Ⅱ 経済政策演習Ⅲ
	現代産業構造	現代産業構造演習Ⅰ 現代産業構造演習Ⅱ 現代産業構造演習Ⅲ

② 選 抜 方 法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備 考	実施時期［回目］				
					1	2	3	4	5
一 般	9:00 ～ 10:30	10:45 ～ 11:45	12:00 ～	・専門科目は、経済学の基礎学力を問う筆記試験を行います。 ・外国語試験は、辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 ・口述試験は、各人の修士論文および研究計画書を中心に行います。			○		
	専門科目〈100点〉	外国語（英語）〈100点〉	口述試験〈ABCD 評価〉						
外 国 人	9:00 ～ 10:30	10:45 ～ 11:45	12:00 ～	・専門科目は、経済学の基礎学力を問う筆記試験を行います。 ・外国語試験は、辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 ・口述試験は、各人の修士論文および研究計画書を中心に行います。			○		
	専門科目〈100点〉	外国語（英語）〈100点〉	口述試験〈ABCD 評価〉						
社 会 人	10:45 ～			・口述試験は、各人の研究計画書・修士論文等の出願書類をもとに行います。			○		
	口述試験〈ABCD 評価〉								

※実施時期の詳細は 2 ～ 6 ページを参照してください。

③ 出 願 資 格 ※受験希望者は、事前に研究指導科目の指導教員に問い合わせてください。

試験区分	出 願 資 格 条 件
一　　般	1（1）修士の学位または専門職学位を有する者、または2027年３月末までに取得見込みの者。 （2）外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年３月末までに取得見込みの者。 （3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年３月末までに取得見込みの者。 （4）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年３月末までに取得見込みの者。 （5）文部科学大臣の指定した者。（平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号） （6）本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年３月末までに24歳に達する者。 （注）上記（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の１か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外　国　人	上記 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 2 の条件を満たしている者。（上記（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の１か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 2 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難でないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社　会　人	上記 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 3 の条件を満たしている者。 3 ５年以上（入学時現在）の実務経験を有する者。 外国人留学生の方は上記 1（1）～（6）のいずれかの条件及び、上記 2 の条件を満たし、さらに上記 3 の条件を満たしている者。

④ 出願資格の確認手続

試験区分	提　　出　　書　　類
外　国　人 または 海　外　の 大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います。（窓口受付可） （1）入学試験調査票（本学所定の用紙）※研究計画は、①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （5）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （6）住民票（出願前３か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （7）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （8）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社　会　人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。 提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （5）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （6）就業経験を証明できる書類（様式任意） （注）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（8）」を、併せて提出してください。不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。

⑤ 出 願 方 法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項７ページ（②）・９・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出　願　書　類
一　般	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学の卒業証明書 （３）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （４）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （５）修士論文および修士論文内容要旨（8000字程度） 修了見込みの者の修士論文の提出についてはご相談ください。 （６）研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （７）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） 〔注意事項〕出願予定者は、必ず、出願期間の前までに研究指導を希望する教員と研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得る必要があります。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。
外　国　人	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）修士論文および修士論文内容要旨（4000字程度、英語の場合は1500語程度） 修了見込みの者の修士論文の提出についてはご相談ください。 （３）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （４）私費外国人留学生Ａ奨学生願書 （５）授業料の一部納期延期願 〔注意事項〕出願予定者は、必ず、出願期間前までに研究指導を希望する教員と研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得る必要があります。 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。
社　会　人	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）研究計画書（本学所定の用紙） ①出願理由、②研究目的およびテーマ、③入学後の具体的な研究計画、④博士論文作成のための具体的な研究計画を含み、3000字程度にまとめてください。 （３）業績報告書（その１）（本学所定の用紙） 所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください。なお、論文・出版物等過去に公表したものがある場合は、業績報告書（その２）に記載し、出願書類と併せて提出してください。論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。 （４）修士論文またはそれに相当するものおよび修士論文内容要旨（4000字程度、英語の場合は1500語程度） 〔注意事項〕出願予定者は、必ず、出願期間の前までに研究指導を希望する教員と研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得る必要があります。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 （５）出願確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （６）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） **〈日本国籍以外の者は、上記の他に下記の書類を提出してください〉** （１）住民票（出願前３か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） **（注）窓口受付の場合は、「在留カード」のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。** （２）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。

⑥ そ の 他

試験会場等その他の事項については共通事項（７～８ページ）を参照してください。

人 間 学 研 究 科

人間学研究科は、人間に関するテーマを探求・展開できる研究能力とともに、総合的で柔軟な判断力、多元的・複雑化した社会で求められるコミュニケーション能力、高い公共性と倫理性を備えた人材の養成を目的とする。

修士課程授業科目

人間学特別演習
教育基盤開発学特論
教育人間行動学特論
人間形成基軸論特論
家族関係社会学特論
社会コミュニケーション特論
コミュニケーション特別演習
臨床教育心理学特論
社会心理学特論
健康心理学特論
社会学理論特論
学校教育文化特論
ヨーロッパ文化特論
公共性と現代社会特論
都市文化環境学特論
環境人間学特論
英語学特論
多文化共生特論
教育社会調査
人間学特別研究
歴史社会論特論
英米文学特論
言語学特論
学外語学研修
発達心理学演習

人間学研究科 修 士 課 程

① 募集専攻・研究指導領域

研　究　科	専　　攻	研　究　指　導　科　目
人 間 学 研 究 科	人　間　学　専　攻	人間学（心理分野、社会・教育分野、国際・コミュニケーション分野）

② 選 抜 方 法

<table>
<tr><th rowspan="2">試験区分</th><th rowspan="2">試験時間・試験科目・配点（評価）</th><th rowspan="2">備　　考</th><th colspan="5">実施時期［回目］</th></tr>
<tr><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th></tr>
<tr><td>推　　薦</td><td>10：30 ～
口述試験
＜100点＞</td><td>「志望理由書・研究計画書」に基づき、基本知識、人間に関する理解と探究への意欲・態度を確認する口頭試問を行います。なお、研究テーマによっては英語の運用能力を確認することがあります。</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>一　　般</td><td>9 :30 ～ 10:30
筆記試験
外国語（英語）
＜100点＞

※外国語試験は、外部資格の成績により免除されます。詳細は 5 ページをご確認ください。

10:40 ～ 11:40
筆記試験
専門科目試験
（心理分野、社会・教育分野、国際・コミュニケーション分野）
＜100点＞

12:00 ～
口述試験
＜100点＞</td><td>・外国語試験は、英語辞書の持込可。ただし、電子辞書は不可。
・専門科目試験で解答する分野を「心理」「社会・教育」「国際・コミュニケーション」の3分野の中から1分野を選択し、『名城大学大学院入学志願票』にある「試験科目　専門科目　修士（博士前期）課程」の欄に記載してください。なお、解答を希望する分野は、3分野のうち、入学後に取り組む研究内容と整合した分野でなければなりません。
・口述試験は、「志望理由書・研究計画書」に基づき、人間に関する理解と探究への意欲・態度を確認する口頭試問を行います。なお、研究テーマによっては英語の運用能力を確認することがあります。</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>外　国　人</td><td>9 :30 ～ 11:00
筆記試験
専門科目試験（心理分野、社会・教育分野、国際・コミュニケーション分野）
＜100点＞

11:15 ～
口述試験
＜100点＞</td><td>・筆記試験では、人間についての研究に関連する基礎的な知識と学力を問います。筆記試験は、「心理」「社会・教育」「国際・コミュニケーション」の3分野から1分野を選び、解答していただく形式です。どの分野を選ぶかは、出願時に確認します。なお、解答を希望する分野は、3分野のうち、入学後に取り組む研究内容と整合した分野でなければなりません。
・口述試験は、「入学試験調査票」に基づき、基本知識及び日本語と人間に関する理解と探究への意欲・態度を確認する口頭試問を行います。なお、研究テーマによっては英語の運用能力を確認することがあります。</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>社　会　人</td><td>10:30 ～
口述試験
＜100点＞</td><td>「志望理由書・研究計画書」に基づき、基本知識および人間に関する理解と探究への意欲・態度を確認する口頭試問を行います。なお、研究テーマによっては英語の運用能力を確認することがあります。</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

※本研究科出願予定者は、研究指導希望教員との面談が必要になります。詳細は次ページを確認してください。
※実施時期の詳細は 2 ～ 6 ページを参照してください。

③ 出願資格

試験区分	出願資格条件
推薦	1【学内推薦（専願）】 2027年3月に人間学部を卒業見込みの者で、下記のいずれかの条件を満たしていること。 （1）3年次終了時点での成績が上位3分の1以上である者。 （2）人間学部長もしくは指導教員の推薦が得られる者。 本試験は専願です。 2【他大学出身者推薦】 2027年3月に他大学を卒業見込みの者（本学人間学部以外の学部を含む）で、下記のいずれかの条件を満たしていること。 （1）出願時に証明される成績において、卒業要件（例：124単位）の80%以上の単位（例：100単位／124単位）を修得し、かつ、そのうち2分の1以上の科目（例：50単位／100単位）において、最上位の成績評価（例：「ＡＢＣＤ」評価であれば“Ａ”、「優良可」評価であれば“優”）を得ている者。 （2）所属大学の学部長もしくは指導教員の推薦が得られる者。 本試験は専願です。
一般	3 下記のいずれかの条件を満たしていること。 （1）学校教育法83条に定める大学を卒業した者、または2027年3月末までに卒業見込みの者。 （2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （6）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （7）文部科学大臣の指定した者。 （8）学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力であると認めた者。 （9）本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月末までに22歳に達する者。
外国人	上記3（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記4の（1）に加えて、（2）・（3）のいずれかの条件を満たしている者。（上記（8）（9）で出願を希望する者は事前審査を必要としますので、出願資格確認期間前までに入学センターに問い合わせてください。） 4（1）出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者。 （2）日本語能力試験（JLPT）N1もしくは1級に合格し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。 （3）本研究科において（2）と同等以上の日本語能力があると認めた者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社会人	上記3（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記5のいずれかの条件を満たしている者。 5（1）1年以上（入学時現在）の社会的経験を有する者。 （2）本研究科が特に認めた者。

④ 研究指導希望教員との面談

本研究科出願予定者は、下記の期限までに入学センターを通して研究指導を希望する教員と面談し、受け入れの了承を得る必要がありますので、入学センターに問い合わせてください。研究分野の相違等により、研究指導希望教員が受け入れできない場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

試験区分	研究指導希望教員との面談受付期限
推薦	1【学内推薦（専願）】、2【他大学出身者推薦】ともに共通 出願期間開始前まで
一般	出願期間開始前まで
外国人	出願資格確認期間開始前まで
社会人	出願期間開始前まで

⑤ 出願資格の確認手続

試験区分	提　出　書　類
一　般	出願資格 3 の（8）（9）で出願を希望する者は、出願資格確認期間開始前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人または海外の大学出身者	出願資格 3 の（8）（9）で出願を希望する者は、出願資格確認期間開始前までに国際化推進センターに問い合わせてください。 出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型 2 号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。 提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （4）住民票（出願前 3 か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （5）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （6）日本語能力試験（ＪＬＰＴ）Ｎ１もしくは１級の合否結果通知書または認定書のコピー（写し）。 ※ただし、出願資格 3 －（3）により出願を希望する者は不要 （7）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （3）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社　会　人	出願を希望する者は、出願資格確認期間開始前までに入学センターに問い合わせてください。 （注）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（7）」を、併せて提出してください。出願を希望する者は、出願資格確認期間開始前までに入学センターに問い合わせてください。

⑥ 出 願 方 法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項７ページ（②）・９・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出　願　書　類
推　薦	1【学内推薦（専願）】、2【他大学出身者推薦】ともに共通 （1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （3）志望理由書・研究計画書（本研究科所定の用紙） 出願予定者は、フォーマットを入学センター人間学研究科担当よりデータで送付しますので、入学センターまでお問い合わせください。 （4）所属大学の学部長または指導教員の推薦書　※出願資格 1 －（1）、2 －（1）で出願する場合は不要。 （5）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） ※（3）・（4）については、フォーマットを入学センター人間学研究科担当よりデータで送付しますので、出願予定者は入学センターまでお問い合わせください。なお、（4）を必要とする学内推薦出願予定者は、フォーマット取得後、人間学部長もしくは指導教員に記入を依頼してください。
一　般	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）ア．大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 イ．短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 （3）志望理由書・研究計画書（本研究科所定の用紙） 出願予定者は、フォーマットを入学センター人間学研究科担当よりデータで送付しますので、入学センターまでお問い合わせください。 （4）英語に関する外部資格の成績を証明する書類（コピー可）（外国語試験免除希望者のみ） 〈免除となる基準〉 ・TOEIC720点以上（TOEIC IP 不可） ・英検準1級以上 上記以外の外部資格により免除を希望される方は、別途入学センターまでお問い合わせください。 （5）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外　国　人	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （3）私費外国人留学生Ａ奨学生願書 （4）授業料の一部納期延期願
社　会　人	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）ア．大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 イ．短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 （3）志望理由書・研究計画書（本研究科所定の用紙） 出願予定者は、フォーマットを入学センター人間学研究科担当よりデータで送付しますので、入学センターまでお問い合わせください。 （4）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

⑦ そ の 他

試験会場等その他の事項については共通事項（７～８ページ）を参照してください。

都市情報学研究科

都市情報学研究科は、サービスサイエンスの観点から、新しい時代の理想的な都市社会を創造する専門職人材及びまちづくりをあらゆる面でリードする学問領域を修得した研究者の養成を目的とする。

修士課程授業科目

社会システム学

総合政策特論Ⅰ
総合政策特論Ⅱ
都市政策特論Ⅰ
都市政策特論Ⅱ
情報数理特論Ⅰ
情報数理特論Ⅱ
サービスサイエンス特論Ⅰ
サービスサイエンス特論Ⅱ
社会システム学特別研究Ⅰ
社会システム学特別研究Ⅱ
社会システム学特別研究Ⅲ
社会システム学特別研究Ⅳ

都市創造学

総合環境特論Ⅰ
総合環境特論Ⅱ
都市基盤特論Ⅰ
都市基盤特論Ⅱ
情報基盤特論Ⅰ
情報基盤特論Ⅱ
サービスサイエンス特論Ⅰ
サービスサイエンス特論Ⅱ
都市創造学特別研究Ⅰ
都市創造学特別研究Ⅱ
都市創造学特別研究Ⅲ
都市創造学特別研究Ⅳ

博士後期課程授業科目

社会システム学

総合政策特講
都市政策特講
情報数理特講
社会情報システム学特殊研究Ⅰ
社会情報システム学特殊研究Ⅱ
社会情報システム学特殊研究Ⅲ
社会情報システム学特殊研究Ⅳ
社会情報システム学特殊研究Ⅴ
社会情報システム学特殊研究Ⅵ
人間情報システム学特殊研究Ⅰ
人間情報システム学特殊研究Ⅱ
人間情報システム学特殊研究Ⅲ
人間情報システム学特殊研究Ⅳ
人間情報システム学特殊研究Ⅴ
人間情報システム学特殊研究Ⅵ

都市創造学

総合環境特講
都市基盤特講
情報基盤特講
社会基盤創造学特殊研究Ⅰ
社会基盤創造学特殊研究Ⅱ
社会基盤創造学特殊研究Ⅲ
社会基盤創造学特殊研究Ⅳ
社会基盤創造学特殊研究Ⅴ
社会基盤創造学特殊研究Ⅵ
都市環境創造学特殊研究Ⅰ
都市環境創造学特殊研究Ⅱ
都市環境創造学特殊研究Ⅲ
都市環境創造学特殊研究Ⅳ
都市環境創造学特殊研究Ⅴ
都市環境創造学特殊研究Ⅵ

都市情報学研究科 修 士 課 程

① 募集専攻・専修分野（専修科目）

研　究　科	専　攻	専修分野（専修科目）
都市情報学研究科	都市情報学専攻	〈社会システム学〉 総合政策特論Ⅰ、総合政策特論Ⅱ、都市政策特論Ⅰ、都市政策特論Ⅱ、情報数理特論Ⅰ、情報数理特論Ⅱ、サービスサイエンス特論Ⅰ、サービスサイエンス特論Ⅱ、社会システム学特別研究Ⅰ、社会システム学特別研究Ⅱ、社会システム学特別研究Ⅲ、社会システム学特別研究Ⅳ 〈都市創造学〉 総合環境特論Ⅰ、総合環境特論Ⅱ、都市基盤特論Ⅰ、都市基盤特論Ⅱ、情報基盤特論Ⅰ、情報基盤特論Ⅱ、サービスサイエンス特論Ⅰ、サービスサイエンス特論Ⅱ、都市創造学特別研究Ⅰ、都市創造学特別研究Ⅱ、都市創造学特別研究Ⅲ、都市創造学特別研究Ⅳ

※指導教員の講義1科目2単位、特別研究Ⅰ～Ⅳの合計8単位を選定し、専修科目とします。

② 選 抜 方 法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備　考	実施時期［回目］				
					1	2	3	4	5
推　薦	面接〈ABC 評価〉				○	○		○	
一　般	10:00～11:30 小　論　文 〈100点〉	12:30～14:00 外国語（英語） 〈100点〉	14：15～ 面　接 〈ABC 評価〉	小論文は、次の経済、経営、財政、行政、地域計画、開発、環境、情報、数理の 9 つの試験分野（科目）の中から 1 つの試験分野を選択し、都市情報学に関する基礎的知識と学力を問います。出願時に、必ず志願票の選択試験科目欄（専門試験科目）に選択した 1 つの試験分野を申請登録して、試験当日に解答してください。 外国語試験は、出題される 3 問のうち 2 問を自由に選択して解答してください。 辞書の持込を可とします。ただし、電子辞書類は不可。		○		○	
外　国　人	10：00～11：30 小　論　文 〈100点〉	12：30～14：00 外国語（英語） 〈100点〉	14：15～ 面　接 〈ABC 評価〉			○		○	
	ただし、受験のための出国許可が得られない者については、出願書類等によって判定します。					○		○	
社　会　人	口述試験（「志願理由書」「研究計画書」に基づき試問します）〈ABC 評価〉					○		○	

※実施時期の詳細は 2～6 ページを参照してください。

③ 出願資格

試験区分	出願資格条件
推薦	本学都市情報学部4年生が対象。別途学内推薦入試要項に記載。 希望者は事務室にて要項を配布します。
一般	1（1）学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2027年3月末までに卒業見込みの者。 （2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （6）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （7）文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号） （8）学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。 （9）本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月末までに22歳に達する者。 （注）上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人	上記 1（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 2 の条件を満たしている者。（上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 2 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。 **※受験希望者は、事前に専修分野の指導教員に問い合わせてください。**
社会人	上記 1（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに 3 のいずれかの条件を満たしている者。 3（1）大学を卒業、または大学院を修了して3年以上（2027年4月1日現在）の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 （2）本研究科が特に認めた者で、出願資格確認を受けた者。

④ 出願資格の確認手続

試験区分	提　出　書　類
外国人または海外の大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類をの内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （4）住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （5）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （6）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書、を提出してください。 （3）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）志願理由書（本学所定の用紙） （3）最終出身大学の成績証明書 （4）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （注）（1）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （2）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（6）」を、併せて提出してください。 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。

⑤ 出 願 方 法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項７ページ（②）・９・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出　願　書　類
推　薦	別途学内推薦入試要項に記載。希望者は事務室にて要項を配布します。
一　般	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）ア．大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 イ．短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 （３）指導教員の承諾書（本学所定の用紙） （４）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外　国　人	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）指導教員の承諾書（本学所定の用紙） （３）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （４）私費外国人留学生Ａ奨学生願書 （５）授業料の一部納期延期願
社　会　人	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 （１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）研究計画書（本学所定の用紙）[修士論文作成のための具体的な研究計画等を3000字程度にまとめてください] （３）業績報告書（その１）（本学所定の用紙）[所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください] ※なお、論文・出版物等過去に公表したものがある場合は、業績報告書（その２）に記載し、出願書類と併せて提出してください。 （４）出願資格確認通知書（本学から送付した確認通知書） （５）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

⑥ そ の 他

試験会場等その他の事項については共通事項（７～８ページ）を参照してください。

都市情報学研究科　博士後期課程

① 募集専攻・専修分野（専修科目）

研究科	専攻	専修分野（専修科目）
都市情報学研究科	都市情報学専攻	〈社会システム学〉 総合政策特講、都市政策特講、情報数理特講、社会情報システム学特殊研究Ⅰ、社会情報システム学特殊研究Ⅱ、社会情報システム学特殊研究Ⅲ、社会情報システム学特殊研究Ⅳ、社会情報システム学特殊研究Ⅴ、社会情報システム学特殊研究Ⅵ、人間情報システム学特殊研究Ⅰ、人間情報システム学特殊研究Ⅱ、人間情報システム学特殊研究Ⅲ、人間情報システム学特殊研究Ⅳ、人間情報システム学特殊研究Ⅴ、人間情報システム学特殊研究Ⅵ 〈都市創造学〉 総合環境特講、都市基盤特講、情報基盤特講、社会基盤創造学特殊研究Ⅰ、社会基盤創造学特殊研究Ⅱ、社会基盤創造学特殊研究Ⅲ、社会基盤創造学特殊研究Ⅳ、社会基盤創造学特殊研究Ⅴ、社会基盤創造学特殊研究Ⅵ、都市環境創造学特殊研究Ⅰ、都市環境創造学特殊研究Ⅱ、都市環境創造学特殊研究Ⅲ、都市環境創造学特殊研究Ⅳ、都市環境創造学特殊研究Ⅴ、都市環境創造学特殊研究Ⅵ

※指導教員の特講2単位、特殊研究Ⅰ～Ⅵの合計12単位を選定し、専修科目とします。

② 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）		備考	実施時期［回目］				
				1	2	3	4	5
推薦	面接〈ABC 評価〉				○		○	
一般	10:00～11:30 外国語（英語）〈100点〉	11:45～ 口述試験〈ABC 評価〉	外国語試験は、辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 口述試験は、各人の修士論文を中心に口述試問を行います。		○		○	
外国人	10:00～11:30 外国語（英語）〈100点〉	11:45～ 口述試験〈ABC 評価〉	・外国語試験は、辞書の持込可、ただし、電子辞書は不可。 ・口述試験は、各人の修士論文を中心に口述試問を行います。		○		○	
社会人	口述試験（「研究計画書」「修士論文」等の出願書類をもとに試問を行います。）〈ABC 評価〉				○		○	

③ 出 願 資 格 ※受験希望者は、事前に研究指導科目の指導教員に問い合わせてください。

試験区分	出 願 資 格 条 件
推　　薦	本学都市情報学研究科修士課程2年生が対象。別途学内推薦入試要項に記載。 希望者は事務室にて要項を配布します。
一　　般	1（1）修士の学位または専門職学位を有する者、または2027年 3 月末までに取得見込みの者。 （2）外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年 3 月末までに取得見込みの者。 （3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年 3 月末までに取得見込みの者。 （4）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年 3 月末までに取得見込みの者。 （5）文部科学大臣の指定した者。（平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号） （6）本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年 3 月末までに24歳に達する者。 （注）上記（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の 1 か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外　国　人	上記 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 2 の条件を満たしている者。（上記（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の 1 か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 2 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社　会　人	上記 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに 3 のいずれかの条件を満たしていることが必要です。 3（1）上記 1（1）～（4）は、大学院修士課程を修了後 3 年以上（2027年 4 月 1 日現在）の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 （2）上記 1（5）～（6）は、大学を卒業後 5 年以上（2027年 4 月 1 日現在）の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。

④ 出願資格の確認手続

試験区分	提　　出　　書　　類
外　国　人 または 海　外　の 大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型 2 号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （5）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （6）住民票（出願前 3 か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （7）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （8）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社　会　人	出願者は、出願資格の確認期間内に「入学センター」（市販の角型 2 号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続をしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）志願理由書（本学所定の用紙） （3）博士後期課程論文指導教員の承諾書（本学所定の用紙） （4）ア．大学院修了者……最終出身大学院の修了証明書および成績証明書 最終出身大学の成績証明書 イ．大学卒業者……最終出身大学の卒業証明書および成績証明書 （注）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（8）」を、併せて提出してください。 不明な点がありましたら、入学センターへ問い合わせてください。

⑤ 出 願 方 法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項７ページ（②）・９・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出　願　書　類
推　薦	別途学内推薦入試要項に記載。希望者は事務室にて要項を配布します。
一　般	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学の成績証明書 （３）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （４）最終出身大学の卒業証明書 （５）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （６）修士課程を修了している者は、修士論文の写し及びその要旨（3000字程度） 修士課程在学中の者は、修士論文の要旨（3000字程度） （７）博士後期課程指導教員の承諾書（本学所定の用紙） （８）研究計画書（本学所定の用紙）［博士論文作成のための具体的な研究計画書を、3000字程度にまとめてください］ （９）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外　国　人	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）修士課程を修了している者は、修士論文の写し及びその要旨（3000字程度、ただし英文の場合は800words 程度） 修士課程在学中の者は、修士論文の要旨（3000字程度、ただし英文の場合は800words 程度） （３）博士後期課程指導教員の承諾書（本学所定用紙） （４）研究計画書［博士論文作成のための具体的な研究計画書をＡ４用紙を使用し3000字程度にまとめてください。 （５）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （６）私費外国人留学生Ａ奨学生願書 （７）授業料の一部納期延期願
社　会　人	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）研究計画書（博士論文作成のための具体的な研究計画等を、Ａ４用紙を使用し3000字程度にまとめてください） （３）業績報告書（その１）（本学所定の用紙）［所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください］ （４）修士論文の写し及びその要旨（3000字程度、ただし英文の場合は800words 程度）《修士の学位論文を提出した者のみ》 ※なお、論文・出版物等、過去に公表したものがある場合は、業績報告書（その２）に記載し、出願書類と併せて提出してください。 （５）出願資格確認通知書（本学から送付した確認通知書） （６）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

⑥ そ の 他

試験会場等その他の事項については共通事項（７～８ページ）を参照してください。

情　報　工　学　研　究　科

情報工学研究科は、幅広い視野と国際性豊かな人間性を備え、社会に通用する情報工学の高度な専門知識・技術とその応用力を持ち、自らの手で新しい分野を創造的に切り拓いてゆく技術者・研究者の養成を目的としています。

情報工学専攻　授業科目

計算機工学特論
ヒューマンマシンシステム特論
知的信号処理特論
知的制御システム特論
画像情報システム特論
メディカルＡＩ特論
ﾌｨｼﾞｶﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾃｨﾝｸﾞ特別演習･実験ⅠA
ﾌｨｼﾞｶﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾃｨﾝｸﾞ特別演習･実験ⅠB
ﾌｨｼﾞｶﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾃｨﾝｸﾞ特別演習･実験ⅡA
ﾌｨｼﾞｶﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾃｨﾝｸﾞ特別演習･実験ⅡB

アルゴリズム特論
人工知能特論
知的データ分析特論
ﾃﾞｰﾀｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ特別演習･実験ⅠA
ﾃﾞｰﾀｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ特別演習･実験ⅡB
ﾃﾞｰﾀｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ特別演習･実験ⅠA
ﾃﾞｰﾀｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ特別演習･実験ⅡB
音声・音響情報処理特論
視覚・色彩情報処理特論
コンピュータグラフィックス特論

言語処理特論
バーチャルリアリティ特論
ﾋｭｰﾏﾝ･ﾒﾃﾞｨｱ特別演習･実験ⅠA
ﾋｭｰﾏﾝ･ﾒﾃﾞｨｱ特別演習･実験ⅠB
ﾋｭｰﾏﾝ･ﾒﾃﾞｨｱ特別演習･実験ⅡA
ﾋｭｰﾏﾝ･ﾒﾃﾞｨｱ特別演習･実験ⅡB
ＩｏＴシステム特論
無線通信工学特論
情報セキュリティ特論
情報理論特論

ﾈｯﾄﾜｰｸｼｽﾃﾑ特別演習･実験ⅠA
ﾈｯﾄﾜｰｸｼｽﾃﾑ特別演習･実験ⅠB
ﾈｯﾄﾜｰｸｼｽﾃﾑ特別演習･実験ⅡA
ﾈｯﾄﾜｰｸｼｽﾃﾑ特別演習･実験ⅡB
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ･ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ･ＡＩ情報工学特別講義
理工学特別講義

情報工学研究科　修士課程

① 募集専攻・専修分野（専修科目）

研究科	専攻	専修分野（専修科目）
情報工学研究科	情報工学専攻	フィジカルコンピューティング データエンジニアリング ヒューマン・メディア ネットワークシステム

② 選抜方法

試験区分	試験時間	試験科目	配点（評価）	備考	実施時期［回目］※2				
					1	2	3	4	5
学部推薦	出願後別途案内	面接	3段階評価		○				
自己推薦	出願後別途案内	面接 （口頭試問含む）	3段階評価		○		○		
一般	10:30~12:00	専門科目	300点	**専門科目について** 試験科目：情報工学 出題範囲：基本情報技術者試験の「テクノロジ系」の範囲から出題します。 その他：試験当日に研究科で用意した電卓を配布します。	○				
	—	外国語 （TOEIC スコア）	100点	**外国語（TOEIC スコア）の点数換算について** 外国語は、出願書類の TOEIC® Listening & Reading Test のスコアをもって外国語試験の点数とします。点数の換算は次の換算表の範囲で行います。 TOEIC L & R：800点 → 換算点数：100点 TOEIC L & R：130点 → 換算点数：0点					
	出願後別途案内	面接	3段階評価						
外国人 ※1	出願後別途案内	面接 （日本語等の口頭試問含む）	3段階評価		○		○		
		書類審査							
社会人 ※1	出願後別途案内	面接（口頭試問含む）	3段階評価				○		
		書類審査							

※1　外国人、社会人については、一般入学試験と同じ筆記試験（専門科目、外国語）を課す場合があります。
※2　実施時期の詳細は 2 ~ 6 ページを参照してください。

③ 出願資格

試験区分	出願資格
学部推薦	次の（1）と（2）に該当する者。 （1）名城大学 情報工学部から学部推薦対象者の通知を受けている者。 （2）本試験に合格した場合、入学を確約できる者。
自己推薦	次の1～3を満たしている者。 1 試験区分「一般」の出願資格（1）～（7）のいずれかに該当する者。 2 次の（1）もしくは（2）に該当する者。 （1）次の①英語に関する要件と②情報技術に関する要件に該当する者。 ①英語に関する要件：TOEIC® Listening & Reading Test のスコア500点以上もしくは実用英語技能検定 2 級以上を取得している者。 ②情報技術に関する要件：以下【表 1 】の資格のいずれかを取得している者。 【表1】 基本情報技術者、応用情報技術者、情報セキュリティマネジメント、IT ストラテジスト、システムアーキテクト、プロジェクトマネージャ、ネットワークスペシャリスト、データベーススペシャリスト、エンベデッドシステムスペシャリスト、IT サービスマネージャ、システム監査技術者、情報処理安全確保支援士 （2）次の①英語に関する要件と②情報技術に関する要件に該当する者。 ①英語に関する要件：TOEIC® Listening & Reading Test のスコア650点以上もしくは実用英語技能検定準1級以上を取得している者。 ②情報技術に関する要件：以下【表 2 】の資格を取得している者。 【表2】 IT パスポート 3 本試験に合格した場合、入学を確約できる者。
一般	出願資格（1）～（8）のいずれかに該当する者。 （1）学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2027年 3 月末までに卒業見込みの者。 （2）学校教育法104条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者、または2027年 3 月末までに取得見込みの者。 （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年 3 月末までに修了見込みの者。 （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年 3 月末までに修了見込みの者。 （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2027年 3 月末までに修了見込みの者。 （6）専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年 3 月修了見込みの者。 （7）文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第 5 号） （8）個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、2027年 3 月末までに22歳に達する者。 （注 1 ）出願資格（8）により出願する場合は、事前審査等を必要としますので、出願期間の前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人	出入国管理及び難民認定法において、留学の在留資格を有する者、または得られる者で、試験区分「一般」の出願資格（1）～（8）のいずれかに該当し、かつ、志望する専修分野の指導希望教員の承諾を得られる者。 （注 1 ）試験区分「一般」の出願資格（1）により出願する場合は、一般入学試験と同じ筆記試験（専門科目、外国語）を課すことがあります。出願期間の1か月前までに指導希望教員に問い合わせてください。 （注 2 ）試験区分「一般」の出願資格（2）～（8）により出願する場合は、出願資格の確認を受ける必要があります。
社会人	社会人として 1 年以上従事した者、または2027年 3 月末までに 1 年以上従事する見込みの者で、試験区分「一般」の出願資格（1）～（8）のいずれかに該当し、かつ、志望する専修分野の指導希望教員の承諾を得られる者。 （注 1 ）一般入学試験と同じ筆記試験（専門科目、外国語）を課すことがあります。出願期間の1か月前までに指導希望教員に問い合わせてください。 （注 2 ）出願資格の確認を受ける必要があります。

④ 出願資格の確認手続

外国人方式により出願する場合または海外の大学出身者は、出願資格確認期間（締切日必着）に次の書類を「国際化推進センター」宛（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）に郵送、または窓口に提出してください。
社会人については、出願資格確認期間（締切日必着）に次の書類を「入学センター」宛（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）に郵送、または窓口に提出してください。ただし、海外の大学出身者については、外国人の提出書類（７），（８）を、併せて提出してください。
出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。

試験区分	提出書類	注意事項
外国人または海外の大学出身者	（１）入学試験調査票（本学所定の用紙）	
	（２）成績証明書	（最終の）出身大学等が作成したものを提出してください。日本語、英語以外のものは、日本語、または英語に訳したものを提出してください。 左記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認します。すべての提出書類を総合的に判断します。
	（３）卒業（見込）証明書	
	（４）指導希望教員承諾書（本学所定の用紙）	
	（５）志望理由書（本学所定の用紙）	
	（６）住民票	出願の３か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、住所、国籍・地域、在留資格、在留期間、在留カードの番号が記載されたものを提出してください。在留カードの写しを窓口でとることで、これに代えることができます。日本に居住していない場合は、入学手続の際に提出してください。
	（７）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙）	親族以外を保証人とする場合は、支弁能力を証する文書の提出を求める場合があります。
	（８）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）	
	（９）オンライン受験 申込書（本学所定の用紙）	試験区分が外国人かつ海外在住者はオンライン受験の申し込み対象者になります。オンライン受験をご希望する場合は提出してください。出願期間の前までに希望者へオンライン受験の可否を通知します。
社会人	（１）入学試験調査票（本学所定の用紙）	
	（２）成績証明書	（最終の）出身大学等が作成したものを提出してください。 出願資格（２）により出願する場合は、①短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書、②学士の学位授与証明書、または学士の学位授与を申請する旨の証明書を提出してください。出願資格（４）～（８）により出願する場合は、修了（見込）証明書等を提出してください。
	（３）卒業証明書	
	（４）指導希望教員承諾書（本学所定の用紙）	
	（５）志望理由書（本学所定の用紙）	
	（６）所属長の受験許可証（本学所定の用紙）	所属長がいない等の場合は、その旨を書いた文書で、これに代えることができます。
	（７）業績報告書（本学所定の用紙）	（その１）所属する企業等の概要や事業内容、従事した業務等を記入してください。 （その２）論文や出版物等がある場合に記入してください。

※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。

⑤ 出 願 方 法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項7ページ（②）・9・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

出願期間（締切日必着）に次の書類を入学センターに郵送してください。
出願前に指導希望教員に必ず連絡してください。連絡先が分からない場合は、入学センターにお問い合わせください。

試験区分	出　願　書　類	注　意　事　項
学部推薦	（1）入学志願票（本学所定の用紙）	
	（2）TOEIC® Listening & Reading Test スコア	TOEIC® Listening & Reading Test スコアは2023年4月1日以降の公開テストの公式認定証の写しもしくは、IPテスト（ペーパー）のスコアレポートの写しを提出してください。なお、TOEIC® Listening & Reading IP テスト（オンライン）のスコアは認めません。
	（3）安全保障輸出管理に関する誓約書	
自己推薦	（1）入学志願票（本学所定の用紙）	
	（2）成績証明書	（最終の）出身大学等が作成したものを提出してください。
	（3）卒業（見込）証明書	（最終の）出身大学等が作成したものを提出してください。出願資格[1]（2）により出願する場合は、①短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書、②学士の学位授与証明書、または学士の学位授与を申請する旨の証明書を提出してください。出願資格（4）～（8）により出願する場合は、修了（見込）証明書等を提出してください。
	（4）英語に関する要件に該当する証明書	TOEIC® Listening & Reading Test スコアは2023年4月1日以降の公開テストの公式認定証の写しもしくは、IPテスト（ペーパー）のスコアレポートの写しを提出してください。なお､TOEIC® Listening & Reading IP テスト（オンライン）のスコアは認めません。 実用英語技能検定を利用する場合は合格証書の写しもしくは、合格証明書の写しを提出してください。
	（5）情報技術に関する要件に該当する証明書	情報技術に関する要件に該当する合格証書の写しもしくは、合格証明書の写しを提出してください。
	（6）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）	
一般	（1）入学志願票（本学所定の用紙）	
	（2）成績証明書	（最終の）出身大学等が作成したものを提出してください。
	（3）卒業（見込）証明書	（最終の）出身大学等が作成したものを提出してください。出願資格（2）により出願する場合は、①短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書、②学士の学位授与証明書、または学士の学位授与を申請する旨の証明書を提出してください。出願資格（4）～（8）により出願する場合は、修了（見込）証明書等を提出してください。
	（4）TOEIC® Listening & Reading Test スコア	TOEIC® Listening & Reading Test スコアは2023年4月1日以降の公開テストの公式認定証の写しもしくは、IPテスト（ペーパー）のスコアレポートの写しを提出してください。なお､TOEIC® Listening & Reading IP テスト（オンライン）のスコアは認めません。
	（5）志望理由書（本学所定の用紙）	
	（6）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）	
外国人	（1）入学志願票（本学所定の用紙）	
	（2）出願資格確認通知書	本学が送付したものを提出してください。
	（3）私費外国人留学生A奨学生願書	
	（4）授業料の一部納期延期願	
	（5）TOEIC® Listening & Reading Test スコア	出願資格（1）により出願する場合もしくは出願資格確認の結果通知に筆記試験（専門試験、外国語）を課すと案内があった場合に提出してください。TOEIC® Listening & Reading Test スコアは2023年4月1日以降の公開テストの公式認定証の写しもしくは、IPテスト（ペーパー）のスコアレポートの写しを提出してください。なお、TOEIC® Listening & Reading IP テスト（オンライン）のスコアは認めません。
	（6）オンライン受験に関する誓約書（本学所定の用紙）	研究科からオンライン受験を認められた場合のみ提出してください。

試験区分	出願書類	注意事項
社会人	（1）入学志願票（本学所定の用紙）	
	（2）出願資格確認通知書	本学が送付したものを提出してください。
	（3）TOEIC® Listening & Reading Test スコア	出願資格確認の結果通知に筆記試験（専門試験、外国語）を課すと案内があった場合に提出してください。TOEIC® Listening & Reading Test スコアは2023年4月1日以降の公開テストの公式認定証の写しもしくは、IP テスト（ペーパー）のスコアレポートの写しを提出してください。なお､TOEIC® Listening & Reading IP テスト（オンライン）のスコアは認めません。
	（4）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）	
	（5）長期履修学生制度申請書（本学所定の用紙）	希望者のみ提出してください。

⑥ その他

試験会場等その他の事項については共通事項（7～8ページ）を参照してください。

理 工 学 研 究 科

理工学研究科は、幅広い視野と高度な専門知識・技術を有し、
創造性・国際性豊かな技術者・研究者の養成を目的とする。

修士（博士前期）課程授業科目 ※1

数学専攻

代数的整数論特論Ⅰ
代数的整数論特論Ⅱ
環論特論Ⅰ
環論特論Ⅱ
代数的構造論特論Ⅰ
代数的構造論特論Ⅱ
代数幾何学特論Ⅰ
代数幾何学特論Ⅱ
代数学講究ⅠA
代数学講究ⅠB
代数学講究ⅡA
代数学講究ⅡB
現代代数学特論A
現代代数学特論B
数論的幾何学特論Ⅰ
微分幾何学特論Ⅰ
微分幾何学特論Ⅱ
非線形幾何学特論Ⅰ
非線形幾何学特論Ⅱ
解析幾何学特論Ⅰ
解析幾何学特論Ⅱ
幾何学講究ⅠA
幾何学講究ⅠB
幾何学講究ⅡA
幾何学講究ⅡB
応用幾何学特論
関数方程式特論Ⅰ
関数方程式特論Ⅱ
複素解析学特論Ⅰ
複素解析学特論Ⅱ
関数解析学講究ⅠA
関数解析学講究ⅠB
関数解析学講究ⅡA
関数解析学講究ⅡB
変分解析学特論Ⅰ
変分解析学特論Ⅱ
現代解析学特論
大域解析学特論Ⅰ
大域解析学特論Ⅱ
大域空間解析学特論Ⅰ
大域空間解析学特論Ⅱ
大域解析学講究ⅠA
大域解析学講究ⅠB
大域解析学講究ⅡA
大域解析学講究ⅡB
確率及び量子情報論特論Ⅰ
確率及び量子情報論特論Ⅱ
確率過程論特論Ⅰ
確率過程論特論Ⅱ
数論的確率論特論Ⅰ
数論的確率論特論Ⅱ
計算機数学特論Ⅰ
計算機数学特論Ⅱ
非線形数理特論Ⅰ
非線形数理特論Ⅱ
数値解析学特論Ⅰ
数値解析学特論Ⅱ
確率及び量子情報論講究ⅠA
確率及び量子情報論講究ⅠB
確率及び量子情報論講究ⅡA
確率及び量子情報論講究ⅡB
統計数理学特論
量子確率論特論
確率情報特論
無限次元解析特論
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義Ⅰ
特別講義Ⅱ

電気電子工学専攻

電気エネルギー工学特論A
電気エネルギー工学特論B
エネルギー環境材料工学特論Ⅰ
エネルギー環境材料工学特論Ⅱ
エネルギー環境システム工学特論A
エネルギー環境システム工学特論B
エネルギー変換工学特論A
エネルギー変換工学特論B
エネルギー環境工学特別演習・実験ⅠA
エネルギー環境工学特別演習・実験ⅠB
エネルギー環境工学特別演習・実験ⅡA
エネルギー環境工学特別演習・実験ⅡB
電子デバイス特論A
電子デバイス特論B
電子物性特論A
電子物性特論B
真空デバイス特論A
真空デバイス特論B
電子光学特論A
電子光学特論B
電子デバイスプロセス特論A
電子デバイスプロセス特論B
電子物性デバイス工学特別演習・実験ⅠA
電子物性デバイス工学特別演習・実験ⅠB
電子物性デバイス工学特別演習・実験ⅡA
電子物性デバイス工学特別演習・実験ⅡB
制御システム工学特論A
制御システム工学特論B
情報通信システム特論A
情報通信システム特論B
情報通信工学特論A
情報通信工学特論B
制御情報システム特論A
制御情報システム特論B
システム工学特論A
システム工学特論B
システム情報通信工学特別演習・実験ⅠA
システム情報通信工学特別演習・実験ⅠB
システム情報通信工学特別演習・実験ⅡA
システム情報通信工学特別演習・実験ⅡB
電子生命情報工学特論A
電子生命情報工学特論B
電子生命情報応用工学特論A
電子生命情報応用工学特論B
電子生命情報計測工学特論A
電子生命情報計測工学特論B
電子生命情報工学特別演習・実験ⅠA
電子生命情報工学特別演習・実験ⅠB
電子生命情報工学特別演習・実験ⅡA
電子生命情報工学特別演習・実験ⅡB
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義Ⅰ
特別講義Ⅱ

材料機能工学専攻

ナノ電子材料特論Ⅰ
ナノ電子材料特論Ⅱ
光物性工学特論Ⅰ
光物性工学特論Ⅱ
ナノ分析特論Ⅰ
ナノ分析特論Ⅱ
量子光エレクトロニクス特論Ⅰ
量子光エレクトロニクス特論Ⅱ
エネルギー環境材料特論Ⅰ
エネルギー環境材料特論Ⅱ
ナノ・インテリジェント材料特別演習・実験ⅠA
ナノ・インテリジェント材料特別演習・実験ⅠB
ナノ・インテリジェント材料特別演習・実験ⅡA
ナノ・インテリジェント材料特別演習・実験ⅡB
エレクトロニクス材料特論Ⅰ
エレクトロニクス材料特論Ⅱ

材料機能工学専攻

エレクトロニクスデバイス特論Ⅰ
エレクトロニクスデバイス特論Ⅱ
半導体デバイス特論Ⅰ
半導体デバイス特論Ⅱ
光・量子エレクトロニクス特論Ⅰ
光・量子エレクトロニクス特論Ⅱ
エレクトロニクス材料特別演習・実験ⅠA
エレクトロニクス材料特別演習・実験ⅠB
エレクトロニクス材料特別演習・実験ⅡA
エレクトロニクス材料特別演習・実験ⅡB
コンポジット材料特論Ⅰ
コンポジット材料特論Ⅱ
表面改質材料特論Ⅰ
表面改質材料特論Ⅱ
生体材料特論Ⅰ
生体材料特論Ⅱ
金属材料特論Ⅰ
金属材料特論Ⅱ
コンポジット材料特別演習・実験ⅠA
コンポジット材料特別演習・実験ⅠB
コンポジット材料特別演習・実験ⅡA
コンポジット材料特別演習・実験ⅡB
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義Ⅰ
特別講義Ⅱ

応用化学専攻

応用有機化学特論
応用生命分子科学特論
先端超分子化学特論
ソフトマター特論
機能性高分子材料特論
バイオマテリアル特論
生命有機化学特別演習・実験ⅠA
生命有機化学特別演習・実験ⅠB
生命有機化学特別演習・実験ⅡA
生命有機化学特別演習・実験ⅡB
ナノ構造科学特論
機能ナノマテリアル特論
応用物性化学特論
応用磁気化学特論
物質機能物理化学特論
物質物理化学特別演習・実験ⅠA
物質物理化学特別演習・実験ⅠB
物質物理化学特別演習・実験ⅡA
物質物理化学特別演習・実験ⅡB
環境化学特論
グリーンケミストリー特論
導電材料特論
低温物性特論
固体表面化学特論
生命エネルギーデバイス特論
環境・エネルギー科学特別演習・実験ⅠA
環境・エネルギー科学特別演習・実験ⅠB
環境・エネルギー科学特別演習・実験ⅡA
環境・エネルギー科学特別演習・実験ⅡB
組成分析化学
構造機器分析化学
生命有機分析化学
無機物質分析化学
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義Ⅰ
特別講義Ⅱ

機械工学専攻

熱工学特論Ⅰ
熱工学特論Ⅱ
高温気体力学特論Ⅰ
高温気体力学特論Ⅱ
粘性流体工学特論Ⅰ
粘性流体工学特論Ⅱ
流体工学特論Ⅰ
流体工学特論Ⅱ
熱・流体特別演習・実験ⅠA
熱・流体特別演習・実験ⅠB
熱・流体特別演習・実験ⅡA
熱・流体特別演習・実験ⅡB
燃焼工学特論
伝熱工学特論
材料強度応用工学特論Ⅰ
材料強度応用工学特論Ⅱ
材料システム工学特論Ⅰ
材料システム工学特論Ⅱ
先進材料評価学特論Ⅰ
先進材料評価学特論Ⅱ
材料・強度特別演習・実験ⅠA
材料・強度特別演習・実験ⅠB
材料・強度特別演習・実験ⅡA
材料・強度特別演習・実験ⅡB
材料強度情報学特論
マイクロマシニング特論Ⅰ
マイクロマシニング特論Ⅱ
生産加工システム工学特論Ⅰ
生産加工システム工学特論Ⅱ
創造設計工学特論Ⅰ
創造設計工学特論Ⅱ
統合設計工学特論Ⅰ
統合設計工学特論Ⅱ
設計・生産特別演習・実験ⅠA
設計・生産特別演習・実験ⅠB
設計・生産特別演習・実験ⅡA
設計・生産特別演習・実験ⅡB
機械機能工学特論Ⅰ
機械機能工学特論Ⅱ
生体工学特論Ⅰ
生体工学特論Ⅱ
知的制御工学特論Ⅰ
知的制御工学特論Ⅱ
機械知能工学特論Ⅰ
機械知能工学特論Ⅱ
運動力学・制御特別演習・実験ⅠA
運動力学・制御特別演習・実験ⅠB
運動力学・制御特別演習・実験ⅡA
運動力学・制御特別演習・実験ⅡB
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義Ⅰ
特別講義Ⅱ

※1 2026年度入学生の授業科目であり、2027年度入学生の場合、
変更する可能性があります。

交通機械工学専攻

エネルギー科学特論Ⅰ
エネルギー科学特論Ⅱ
推進工学特論Ⅰ
推進工学特論Ⅱ
流体科学特論Ⅰ
流体科学特論Ⅱ
流体システム特論Ⅰ
流体システム特論Ⅱ
エネルギー・流体工学特別演習・実験ⅠA
エネルギー・流体工学特別演習・実験ⅠB
エネルギー・流体工学特別演習・実験ⅡA
エネルギー・流体工学特別演習・実験ⅡB
計算力学特論
計算科学特論
材料科学特論Ⅰ
材料科学特論Ⅱ
構造力学特論Ⅰ
構造力学特論Ⅱ
軽量構造学特論Ⅰ
軽量構造学特論Ⅱ
適応構造システム学特論Ⅰ
適応構造システム学特論Ⅱ
材料・構造工学特別演習・実験ⅠA
材料・構造工学特別演習・実験ⅠB
材料・構造工学特別演習・実験ⅡA
材料・構造工学特別演習・実験ⅡB
マンマシンシステム学特論Ⅰ
マンマシンシステム学特論Ⅱ
知的制御特論Ⅰ
知的制御特論Ⅱ
自動車システム学特論Ⅰ
自動車システム学特論Ⅱ
制御・システム工学特別演習・実験ⅠA
制御・システム工学特別演習・実験ⅠB
制御・システム工学特別演習・実験ⅡA
制御・システム工学特別演習・実験ⅡB
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義Ⅰ
特別講義Ⅱ

メカトロニクス工学専攻

知能計測システム学特論
情報システム制御工学特論
計測システム学特論
制御システム学特論
ロボットシステムデザイン学特論
知能ロボット学特論
計測制御システム学特別演習・実験ⅠA
計測制御システム学特別演習・実験ⅠB
計測制御システム学特別演習・実験ⅡA
計測制御システム学特別演習・実験ⅡB
情報メカトロニクス学特論
先端信号処理学特論
知能システム制御工学特論
制御工学特論
機械情報システム学特論
知能機械学特論
機能システム構築学特論
機能システム制御特論
機能システム構築学特別演習・実験ⅠA
機能システム構築学特別演習・実験ⅠB
機能システム構築学特別演習・実験ⅡA
機能システム構築学特別演習・実験ⅡB
機能システム学特論
ナノ・マイクロシステム制御特論
ナノ・マイクロ知能システム特論
マイクロロボット学特論
ナノ・マイクロ制御システム特論
応用電磁気学特論
電子デバイス学特論
マルチスケールメカトロニクス特別演習・実験ⅠA
マルチスケールメカトロニクス特別演習・実験ⅠB
マルチスケールメカトロニクス特別演習・実験ⅡA
マルチスケールメカトロニクス特別演習・実験ⅡB
医療機械システム特論
バイオシステム特論
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義Ⅰ
特別講義Ⅱ

社会基盤デザイン工学専攻

構造解析学特論Ⅰ
構造解析学特論Ⅱ
構造設計学特論Ⅰ
構造設計学特論Ⅱ
構造工学特別演習・実験ⅠA
構造工学特別演習・実験ⅠB
構造工学特別演習・実験ⅡA
構造工学特別演習・実験ⅡB
河川工学特論Ⅰ
河川工学特論Ⅱ
水理学特論Ⅰ
水理学特論Ⅱ
水文学特論Ⅰ
水文学特論Ⅱ
水工学特別演習・実験ⅠA
水工学特別演習・実験ⅠB
水工学特別演習・実験ⅡA
水工学特別演習・実験ⅡB
地盤工学特論Ⅰ
地盤工学特論Ⅱ
地盤解析学特論Ⅰ
地盤解析学特論Ⅱ
地盤工学特別演習・実験ⅠA
地盤工学特別演習・実験ⅠB
地盤工学特別演習・実験ⅡA
地盤工学特別演習・実験ⅡB
地盤数値解析学特論
地盤物質移動解析学特論
大気環境科学特論
地球観測情報特論
環境共生学特別演習・実験ⅠA
環境共生学特別演習・実験ⅠB
環境共生学特別演習・実験ⅡA
環境共生学特別演習・実験ⅡB
空間計画学特論
環境デザイン学特論
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義Ⅰ
特別講義Ⅱ

環境創造工学専攻

環境材料学特論
資源循環学特論
構造性能学特論
エネルギー創成学特論
エネルギー変換学特論
エネルギー環境工学特論
エネルギー管理工学特論
水環境工学特論
水処理工学特論
エネルギー・資源循環学特別演習・実験ⅠA
エネルギー・資源循環学特別演習・実験ⅠB
エネルギー・資源循環学特別演習・実験ⅡA
エネルギー・資源循環学特別演習・実験ⅡB
環境生物工学特論
バイオマス科学特論
構造動態学特論
構造分析学特論
人間環境工学特論
サステナブルデザイン特論
人間活動環境学特別演習・実験ⅠA
人間活動環境学特別演習・実験ⅠB
人間活動環境学特別演習・実験ⅡA
人間活動環境学特別演習・実験ⅡB
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義Ⅰ
特別講義Ⅱ

建築学専攻

建築・地域デザイン特論Ⅰ
建築・地域デザイン特論Ⅱ
建築技術史特論
建築計画特論
建築スペースデザイン特論
建築歴史意匠特論
建築空間特論
生活空間計画特論
建築スペースデザイン総合設計演習ⅠA
建築スペースデザイン総合設計演習ⅠB
建築スペースデザイン総合設計演習ⅡA
建築スペースデザイン総合設計演習ⅡB
建築史特論
建築設計総合特論
建築設計特論
建築・都市空間特論
建築環境デザイン特論
建築環境計画特論
建築環境工学特論A
建築環境工学特論B
建築環境デザイン特別演習・実験ⅠA
建築環境デザイン特別演習・実験ⅠB
建築環境デザイン特別演習・実験ⅡA
建築環境デザイン特別演習・実験ⅡB
建築設備設計特論
建築材料・生産特論
コンクリート工学特論A
コンクリート工学特論B
建築材料デザイン特別演習・実験ⅠA
建築材料デザイン特別演習・実験ⅠB
建築材料デザイン特別演習・実験ⅡA
建築材料デザイン特別演習・実験ⅡB
建築構造工学特論Ⅰ
建築構造工学特論Ⅱ
建築構造解析特論Ⅰ
建築構造解析特論Ⅱ
建築応用力学特論Ⅰ
建築応用力学特論Ⅱ
建築振動学特論Ⅰ
建築振動学特論Ⅱ
建築構造デザイン特論Ⅰ
建築構造デザイン特論Ⅱ
建築構造工学特別演習・実験ⅠA
建築構造工学特別演習・実験ⅠB
建築構造工学特別演習・実験ⅡA
建築構造工学特別演習・実験ⅡB
鉄骨構造学特論
建築実践特論
学外特別演習
実践インターンシップA－1
実践インターンシップA－2
実践インターンシップA－3
実践インターンシップA－4
実践インターンシップB－1
実践インターンシップB－2
実践インターンシップC－1
実践インターンシップC－2
アドバンスト・インターンシップ
科学技術英語
特別講義Ⅰ
特別講義Ⅱ

博士（博士後期）課程研究指導科目 ※1

数学専攻

代数学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
幾何学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
大域解析学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
関数方程式特殊研究Ⅰ～Ⅵ
数理情報科学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
数学特殊講義Ⅰ・Ⅱ

電気・情報・材料・物質工学専攻

電気工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
電子システム特殊研究Ⅰ～Ⅵ
情報工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
エレクトロニクス材料工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
インテリジェント材料工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
先端物質特殊研究Ⅰ～Ⅵ
分子素材特殊研究Ⅰ～Ⅵ
電気電子工学特殊講義Ⅰ・Ⅱ
情報工学特殊講義Ⅰ・Ⅱ
材料機能工学特殊講義Ⅰ・Ⅱ
応用化学特殊講義Ⅰ・Ⅱ
研究インターンシップ

機械工学専攻

設計機能特殊研究Ⅰ～Ⅵ
ロボット工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
反応性ガス力学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
熱現象計測特殊研究Ⅰ～Ⅵ
粘性流体力学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
生産加工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
材料設計工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
破壊制御システム工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
材料機能工学特殊講義Ⅰ・Ⅱ
機械工学特殊講義Ⅰ・Ⅱ
交通機械工学特殊講義Ⅰ・Ⅱ
メカトロニクス工学特殊講義Ⅰ・Ⅱ
研究インターンシップ

社会環境デザイン工学専攻

構造システム学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
構造材料学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
空間構造デザイン学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
水域環境工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
地盤工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
地域計画学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
住環境デザイン学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
社会基盤デザイン工学特殊講義Ⅰ・Ⅱ
環境創造学特殊講義Ⅰ・Ⅱ
建築学特殊講義Ⅰ・Ⅱ
研究インターンシップ

※1 2026年度入学生の授業科目であり、2027年度入学生の場合、変更する可能性があります。

理工学研究科　修士(博士前期)課程

① 募集専攻・専修分野（専修科目）

研究科	専攻	専修分野（専修科目）
理工学研究科	数学	代数学（代数的整数論、環論、代数的構造論、代数幾何学） 幾何学（微分幾何学、非線形幾何学、解析幾何学） 関数解析学（関数方程式、複素解析学、変分解析学） 大域解析学（大域解析学、大域空間解析学） 情報数学（確率及び量子情報論、確率過程論、数論的確率論、計算機数学、非線形数理、数値解析学）
	電気電子工学	エネルギー環境工学 電子物性デバイス工学 システム情報通信工学 電子生命情報工学
	材料機能工学	ナノ・インテリジェント材料（ナノ電子材料、光物性工学、ナノ分析、量子光エレクトロニクス、エネルギー環境材料） エレクトロニクス材料（エレクトロニクス材料、エレクトロニクスデバイス、半導体デバイス、光·量子エレクトロニクス） コンポジット材料（コンポジット材料、表面改質材料、生体材料、金属材料）
	応用化学	生命有機化学 物質物理化学 環境・エネルギー科学
	機械工学	熱・流体（熱工学、高温気体力学、粘性流体工学、流体工学） 材料・強度（材料強度応用工学、材料システム工学、先進材料評価学） 設計・生産（マイクロマシニング、生産加工システム工学、創造設計工学、統合設計工学） 運動力学・制御（機械機能工学、生体工学、知的制御工学、機械知能工学）
	交通機械工学	エネルギー・流体工学（エネルギー科学、推進工学、流体科学、流体システム） 材料・構造工学（材料科学、構造力学、軽量構造学、適応構造システム学） 制御・システム工学（マンマシンシステム学、知的制御、自動車システム学）
	メカトロニクス工学	計測制御システム学 機能システム構築学 マルチスケールメカトロニクス
	社会基盤デザイン工学	構造工学（構造解析学、構造設計学） 水工学（河川工学、水理学、水文学） 地盤工学（地盤工学、地盤解析学） 都市・交通計画学（都市システム工学、都市デザイン工学、交通システム工学） 建設材料学（建設材料学、建設材料力学）
	環境創造工学	エネルギー・資源循環学（環境材料学、資源循環学、構造性能学、エネルギー創成学、エネルギー変換学、エネルギー環境工学、エネルギー管理工学、水環境工学、水処理工学） 環境共生学（環境生物工学、バイオマス科学、地盤数値解析学、地盤物質移動解析学、大気環境科学、地球観測情報） 人間活動環境学（空間計画学、環境デザイン学、構造動態学、構造分析学、人間環境工学、サステナブルデザイン）
	建築学	建築スペースデザイン 建築環境デザイン 建築材料デザイン 建築構造工学

② 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）				備考	実施時期［回目］※4				
						1	2	3	4	5
一般	数学専攻	9:00~11:30	専門科目	300点	**筆記試験についての注意事項**を参照すること。 専門科目の選択については、**専門科目一覧**を参照すること。 面接試験の開始時間は筆記試験会場で案内します（数学専攻を除く）。	○		○		
		11:45~12:45	外国語（英語）	100点						
		14:00~	面接（口頭試問を含む）	3段階評価						
	全専攻（数学専攻、建築学専攻を除く）	9:00~11:30	専門科目	300点						
			外国語（TOEIC スコア）※3	100点						
			面接（口頭試問を含む）	3段階評価						
	建築学専攻	9:00~11:30	専門科目（建築設計製図を除く）	300点						
		12:30~15:30	建築設計製図							
			外国語（TOEIC スコア）※3	100点						
			面接（口頭試問を含む）	3段階評価						
推薦	全専攻		面接（口頭試問を含む）	3段階評価	試験時間は受験ポータルサイトにて連絡します。	○				
			書類審査							
外国人 ※1、※2	全専攻		面接（日本語等の口頭試問を含む）	3段階評価		○		○		
			書類審査							
社会人 ※1	全専攻		面接（口頭試問を含む）	3段階評価				○		
			書類審査							

※1　外国人、社会人については、一般入学試験と同じ筆記試験（専門科目、外国語）を課す場合があります。
※2　受験のため出国許可が得られない者については、書類審査のみで選抜します。
※3　外国語（TOEIC スコア）については、出願書類の TOEIC® Listening & Reading Test のスコアをもって外国語試験の点数とします。点数の換算は次の換算表の範囲で行います。
※4　実施時期の詳細は 2～6 ページを参照してください。

TOEIC L & R	外国語（TOEIC スコア）
800点	100点
130点	0点

筆記試験についての注意事項

（1）専門科目の選択は、試験開始後です。また、指定科目等（専門科目一覧参照）を間違えて解答した場合は、採点しません。

（2）専門科目の試験では次のものが持込み可です。

専攻		持込み可のもの
電気電子工学専攻		（1）電卓（専攻で用意したもの）
材料機能工学専攻		（1）定規　（2）電卓（プログラム機能のないもの）
応用化学専攻		（1）電卓（プログラム機能のないもの）
機械工学専攻		（1）定規　（2）コンパス　（3）電卓（プログラム機能のないもの）
交通機械工学専攻		
メカトロニクス工学専攻		（1）定規　（2）コンパス　（3）電卓（専攻で用意したもの）
社会基盤デザイン工学専攻		（1）電卓（プログラム機能のないもの）
環境創造工学専攻		
建築学専攻	専門科目（建築設計製図を除く）	（1）電卓（プログラム機能のないもの）
	建築設計製図	（1）定規（専攻で用意したもの）　（2）コンパス（専攻で用意したもの） （3）電卓（プログラム機能のないもの）　（4）鉛筆（製図用）

（3）数学専攻の外国語（英語）の試験では英和辞典が持込み可です。（電子辞書および専門用語用の辞書は不可です。）

〔別表１〕 理工学研究科専門試験科目一覧

<table>
<tr><th>専 攻 名</th><th>専 門 試 験 科 目 名</th></tr>
<tr><td>数 学 専 攻</td><td>（１）線形代数学、微分積分学（必ず選択すること）
（２）志望する専修科目の指定科目を含み、下記から２科目を選択する。
<table>
<tr><th>志望する専修科目</th><th>指定科目</th></tr>
<tr><td>代数的整数論</td><td>整数論</td></tr>
<tr><td>環論、代数的構造論、代数幾何学</td><td>代数学</td></tr>
<tr><td>微分幾何学、非線形幾何学、解析幾何学</td><td>幾何学</td></tr>
<tr><td>関数方程式、変分解析学、非線形数理</td><td>関数方程式</td></tr>
<tr><td>複素解析学</td><td>複素解析</td></tr>
<tr><td>大域解析学、大域空間解析学</td><td>大域解析</td></tr>
<tr><td>確率及び量子情報論、確率過程論、数論的確率論、計算機数学、数値解析学</td><td>確率及び統計数学</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>電気電子工学
専 攻</td><td>下記の全科目を受験すること。
電気磁気学、電気回路、電子回路</td></tr>
<tr><td>材料機能工学
専 攻</td><td>志望する専修分野の指定科目を含み、下記から３科目を選択する。
電磁気学、量子力学、熱・統計力学、材料力学、物性論、電子物性工学、機械材料、材料加工学
（指定科目）
ナノ・インテリジェント材料分野：物性論
エレクトロニクス材料分野：電子物性工学
コンポジット材料分野：機械材料</td></tr>
<tr><td>応 用 化 学
専 攻</td><td>志望する専修分野の指定科目を含み、下記から３科目を選択する。
有機化学、無機化学、物理化学（熱力学･反応速度論）、量子化学、高分子化学（生化学を含む）、分析化学（機器分析を含む）
（指定科目）
生命有機化学分野：有機化学
物質物理化学分野：物理化学（熱力学・反応速度論）
環境エネルギー科学分野：無機化学</td></tr>
<tr><td>機 械 工 学
専 攻</td><td>志望する専修分野を含み、２つの専修分野の指定科目（４科目）を選択する。
（指定科目）
熱・流体分野：熱力学、流体力学
材料・強度分野：材料力学、材料強度学
設計・生産分野：機械要素、機械加工学
運動力学・制御分野：機械力学、制御工学</td></tr>
<tr><td>交通機械工学
専 攻</td><td>下記全科目を受験のこと。
工業力学、熱力学、流体力学、材料力学（機械材料含む）</td></tr>
<tr><td>メカトロニクス
工 学 専 攻</td><td>下記から３科目を選択する。
電磁気学
電気・電子回路
制御工学
信号処理工学
機械力学・材料力学</td></tr>
<tr><td>社会基盤デザイン
工 学 専 攻</td><td>志望する専修分野の指定科目を含み、下記から３科目を選択する。
（指定科目）
構造工学分野：構造力学
水工学分野：水理学
地盤工学分野：土質力学
都市・交通計画学分野：社会基盤計画学
建設材料学分野：建設材料工学</td></tr>
<tr><td>環境創造工学
専 攻</td><td>志望する専修分野の指定科目を１科目以上含み、下記から３科目を選択する。
（指定科目）
エネルギー・資源循環学分野：環境材料学、化学工学、熱力学、水処理学
環境共生学分野：生態学、土壌地下水汚染学、環境気象学
人間活動環境学分野：環境文化論、構造力学、快適性創造学</td></tr>
<tr><td>建 築 学 専 攻</td><td>（１）建築設計製図、建築共通専門科目（必ず選択すること）
（２）志望する専修分野の指定科目（出題範囲）を選択する。
専門試験科目名の後の（ ）内は、科目内容を示します。
建築スペースデザイン分野：建築スペースデザイン（建築計画、都市計画、建築歴史意匠から２科目を選択）
建築環境デザイン分野：建築環境デザイン（建築環境工学、建築設備工学）
建築材料デザイン分野：建築材料デザイン（建築材料・生産）
建築構造工学分野：建築構造工学（構造力学、建築構造）</td></tr>
</table>

③ 出願資格

試験区分	出願資格
一般	出願資格（1）～（9）のいずれかに該当する者。 （1）学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2027年3月末までに卒業見込みの者。 （2）学校教育法104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。 （6）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年3月修了見込みの者。 （7）文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号） （8）大学に3年以上在学し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科が認めた者。※1 （9）個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、2027年3月末までに22歳に達する者。 （注1）出願資格（8）、（9）により出願する場合は、事前審査等を必要としますので、出願期間の前までに入学センターに問い合わせてください。
推薦	学業、人物ともに優れ、在籍している大学の指導教員、学科長等の推薦が得られ、かつ、志望する専修分野の指導希望教員の承諾を得られる者で、2027年3月末までに大学を卒業見込みの者。さらに合格した場合、入学を確約できる者。 （注1）本学理工学部に在籍している場合、推薦が得られる基準は入学センター掲示板に2026年4月に掲示されます。本人の成績については、指導教員に問い合わせてください。
外国人	出入国管理及び難民認定法において、留学の在留資格を有する者、または得られる者で、試験区分「一般」の出願資格（1）～（9）のいずれかに該当し、かつ、志望する専修分野の指導希望教員の承諾を得られる者。 （注1）試験区分「一般」の出願資格（1）により出願する場合は、一般入学試験と同じ筆記試験（専門科目、外国語）を課すことがあります。出願期間の1か月前までに指導希望教員に問い合わせてください。 （注2）試験区分「一般」の出願資格（2）～（9）により出願する場合は、出願資格の確認を受ける必要があります。
社会人	社会人として1年以上従事した者、または2027年3月末までに1年以上従事する見込みの者で、試験区分「一般」の出願資格（1）～（9）のいずれかに該当し、かつ、志望する専修分野の指導希望教員の承諾を得られる者。 （注1）一般入学試験と同じ筆記試験（専門科目、外国語）を課すことがあります。出願期間の1か月前までに指導希望教員に問い合わせてください。 （注2）出願資格の確認を受ける必要があります。

※1　試験区分「一般」の出願資格（8）については、次のとおりです。
①募集は、数学専攻（二次）です。
②対象者は、3年次終了までに、卒業に必要な単位の5分の4以上を修得できる見込みの者で、かつ、3年次前期までに修得した科目の5分の4以上の評価が、A（100点満点で80点以上）である者です。
③大学を中途退学して、本研究科に入学するという取扱いとなります。

④ 出願資格の確認手続

試験区分	出　願　資　格
外国人または海外の大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型２号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学の成績証明書 （３）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （４）指導希望教員承諾書（本学所定の用紙） （５）志望理由書（本学所定の用紙） （６）住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記載されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） ※窓口受付時に「在留カード」の両面のコピーを取ることでこれに代えることができます。 （７）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） ※親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類の提出を求める場合があります。 （８）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） (注)（１）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。。 （２）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （３）上記の他に追加で書類の提出を求める場合があります（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）。追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認します。すべての提出書類を総合的に判断します。 （４）出願資格確認結果に関する問い合わせは受け付けておりません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社　会　人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」（市販の角型２号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）成績証明書 （３）卒業証明書 （４）指導希望教員承諾書（本学所定の用紙） （５）志望理由書（本学所定の用紙） （６）所属長の受験許可証 ※提出できない場合は、提出できない理由を記載した文書（様式任意）を提出してください。 （７）業績報告書（本学所定の用紙） （その１）所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください。 （その２）論文、出版物など過去に公表したものがあれば記載してください。 (注)（１）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （２）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（１）～（8)」を併せて提出してください。

⑤ 出願方法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項7ページ（②）・9・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

出願期間（締切日必着）に次の書類を入学センターに郵送します。

試験区分	出願書類	注意事項
一般 ※3	（1）入学志願票（本学所定の用紙）	
	（2）成績証明書	（最終の）出身大学等が作成したもの。
	（3）卒業（見込）証明書※1	
	（4）TOEIC スコア（数学専攻を除く）	TOEIC® Listening & Reading Test のスコア※2。2023年4月1日以降の公式認定証（公開テスト）か、スコアレポート（IP テスト）の写し。
	（5）志望理由書（本学所定の用紙）	
	（6）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）	
推薦	（1）入学志願票（本学所定の用紙）	
	（2）成績証明書	出身大学が作成したもの。
	（3）卒業見込証明書	出身大学が作成したもの。 本学理工学部に在籍している場合は不要です。
	（4）TOEIC スコア（数学専攻を除く）	TOEIC® Listening & Reading Test のスコア※2。2023年4月1日以降の公式認定証（公開テスト）か、スコアレポート（IP テスト）の写し。
	（5）推薦書（本学所定の用紙）	本学理工学部に在籍している場合は不要です。
	（6）指導希望教員承諾書（本学所定の用紙）	本学理工学部に在籍、かつ研究室等の変更がない場合は不要です。
	（7）志望理由書（本学所定の用紙）	
	（8）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）	
外国人	（1）入学志願票（本学所定の用紙）	
	（2）出願資格確認通知書	本学が送付したもの。
	（3）私費外国人留学生A奨学生願書	
	（4）授業料の一部納期延期願	
	（5）TOEIC スコア（数学専攻を除く）	一般入学試験と同じ筆記試験（専門科目、外国語）を課す場合。TOEIC® Listening & Reading Test のスコア※2。2023年4月1日以降の公式認定証（公開テスト）か、スコアレポート（IP テスト）の写し。
社会人	（1）入学志願票（本学所定の用紙）	
	（2）出願資格確認通知書	本学が送付したもの。
	（3）TOEIC スコア（数学専攻を除く）	一般入学試験と同じ筆記試験（専門科目、外国語）を課す場合。TOEIC® Listening & Reading Test のスコア※2。2023年4月1日以降の公式認定証（公開テスト）か、スコアレポート（IP テスト）の写し。
	（4）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）	
	（5）長期履修学生制度申請書（本学所定の用紙）	希望者のみ

※1　出願資格（2）により出願する場合は、①短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書、②学士の学位授与証明書、または学士の学位授与を申請する旨の証明書を提出します。出願資格（4）～（9）により出願する場合は、修了（見込）証明書等を提出します。
※2　TOEIC® Listening & Reading IP テスト（オンライン）のスコアは認めない。
※3　出願前に指導希望教員に必ず連絡すること。連絡先が分からない場合は、入学センターにお問い合わせください。

⑥ その他

試験会場等その他の事項については共通事項（7～8ページ）を参照してください。

理工学研究科　博士(博士後期)課程

① 募集専攻・研究指導科目

研究科	専攻	専修分野（研究指導科目）
理工学研究科	数学専攻	代数学（代数学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、幾何学（幾何学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、関数解析学（関数方程式特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、大域解析学（大域解析学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、数理情報科学（数理情報科学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）
	電気・情報・材料・物質工学専攻	電気電子工学（電気工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、電子システム特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、情報工学（情報工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、材料機能工学（エレクトロニクス材料工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、インテリジェント材料工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、物質･分子工学（先端物質特殊研究Ⅰ～Ⅵ、分子素材特殊研究Ⅰ～Ⅵ）
	機械工学専攻	設計システム工学（設計機能特殊研究Ⅰ～Ⅵ、ロボット工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、熱工学（反応性ガス力学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、熱現象計測特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、流体工学（粘性流体力学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、生産システム工学（生産加工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、材料システム工学（材料設計工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、破壊制御システム工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）
	社会環境デザイン工学専攻	構造デザイン工学（構造システム学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、構造材料学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、空間構造デザイン学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、大気水環境デザイン学（水域環境工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、地盤環境デザイン学（地盤工学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）、都市環境デザイン学（地域計画学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、住環境デザイン学特殊研究Ⅰ～Ⅵ）

② 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）	実施時期［回目］				
		1	2	3	4	5
一般	面接試験（口頭試問含む）および書類審査〈面接：ABC 評価〉。ただし、筆記試験（専門・外国語）を課す場合があります。試験時間・選抜方法については下記の通り通知します。 ■選抜方法■ 一般：受験ポータルサイトにて通知 外国人・社会人：出願資格確認通知書にて通知 ■試験時間■ 受験ポータルサイトにて通知	○		○		
外国人※				○		
社会人				○		

※受験のための出国許可が得られない者については、出願書類によって判定します。
※実施時期の詳細は 2～6 ページを参照してください。

③ 出願資格 ※受験希望者は、事前に研究指導科目の指導教員に問い合わせてください。

試験区分	出願資格条件
一般	1（1）修士の学位または専門職学位を有する者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （2）外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （4）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月末までに取得見込みの者。 （5）文部科学大臣の指定した者。（平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号） （6）本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月末までに24歳に達する者。 （注）上記（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人	上記 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 2 の条件を満たしている者。（上記（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 2 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社会人	上記 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 3 のいずれかの条件を満たしている者。 3（1）上記 1（1）～（4）は、大学院修士課程を修了後、研究者・技術者として、研究機関、教育機関または企業において1年以上の業務経験があり、入学後も引き続きその身分を有し、所属長の許可を受けた者。 （2）上記 1（5）～（6）は、大学を卒業後、研究者・技術者として、研究機関または企業において2年以上の業務経験があり、入学後も引き続きその身分を有し、所属長の許可を受けた者。 （3）本研究科が特に認めた者で、出願資格確認を受けた者。

④ 出願資格の確認手続

試験区分	提　出　書　類
外国人または海外の大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学の成績証明書 （３）最終出身大学の卒業証明書 （４）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （５）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （６）指導希望教員承諾書【様式３】 （７）住民票（出願前３か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （８）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （９）研究者・技術者として、研究機関、教育機関または企業において業務経験がある場合は、業績報告書（その１）を提出。 論文・出版物等過去に公表したものがある場合は、業績報告書（その２）を提出。 （業務経験、論文、出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。） (10) 安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） **[注意事項]** （１）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （２）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出願資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」（市販の角型2号封筒（240×332mm）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）所属長の受験許可書（本学所定の用紙） （注）受験許可証が提出できない場合は、提出できない理由を記載した理由書（様式任意）を提出してください。 （３）ア．大学院修了者 ①最終出身大学院修士課程の成績証明書 ②最終出身大学院修士課程の修了証明書 イ．大学卒業者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業証明書 （４）指導希望教員承諾書【様式３】 （５）業績報告書（その1）（本学所定の用紙）[所属機関の概要（業種　事業内容）および従事する職務内容を記載してください] なお、論文・出版物等過去に公表したものがある場合は、業績報告書（その２）に記載し、出願資格確認書類と併せて提出してください（論文・出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません）。 （６）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）出願資格の[1]－（４）により出願しようとする者は、本人が修士の学位を有する者と同等以上の学力があることを証明すると判断する書類（例えば、研究論文／特許広報／英語能力の証明書／各種資格／単位取得証明書／国際的活動や実務経験を証明する書類等）を提出してください。

⑤ 出 願 方 法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項７ページ（②）・９・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出　願　書　類
一　般	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （３）最終出身大学の卒業証明書 （４）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （５）指導希望教員承諾書【様式３】 （６）修士課程の学位論文を提出した者は、修士論文の写しおよびその要旨を提出してください。 修了見込みの者は、研究経過報告書（様式任意。1000字程度）を提出してください。 （７）研究者・技術者として、研究機関、教育機関または企業において業務経験がある場合は、業績報告書（その１）を提出。 論文・出版物等過去に公表したものがある場合は、業績報告書（その２）を提出。 （業務経験、論文、出版物等の業績がない場合は、提出する必要はありません。） （８）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （９）その他、専攻が指定する書類
外　国　人	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）修士課程の学位論文を提出した者は、修士論文の写しおよびその要旨を提出してください。 修了見込みの者は、研究経過報告書（様式任意。1000字程度）を提出してください。 （３）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （４）私費外国人留学生Ａ奨学生願書 （５）授業料の一部納期延期願 （６）その他、専攻が指定する書類 **[注意事項]** **①出願予定者は、必ず事前に資格確認を行ってください。** ②やむを得ない事情により、成績証明書、修士課程修了（見込）証明書の写しを提出した者は、入学試験当日に原本の提示を求めますので、必ず原本を持参してください。 ③受験のための出国許可が得られない者については、本研究科の指導希望教員の推薦書（様式任意）が必要です。
社　会　人	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）修士課程の学位論文を提出した者は、修士論文の写しおよびその要旨を提出してください。 修了見込みの者は、研究経過報告書（様式任意。1000字程度）を提出してください。 （３）その他、専攻が指定する書類 （４）長期履修学生制度申請書（本学所定の用紙／希望者のみ）

⑥ 早期修了制度

本学には、特に優れた研究業績をあげた者を対象とする早期修了制度があります。制度利用を希望する方は、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。

⑦ そ の 他

試験会場等その他の事項については共通事項（７～８ページ）を参照してください。

農　学　研　究　科

農学研究科は、生命科学、食料・健康科学、環境科学における高度な専門知識と洞察力を有し、専門領域や関連学術領域における総合的な応用力、創造力および実践力を備えた専門技術者および研究者の養成を目的とする。

農学研究科の教育目標

農学研究科（農学専攻）は、修士課程と博士後期課程を設置しています。

修士課程は、生命科学、食料・健康科学、環境科学における高度な専門知識と洞察力を有し、専門領域や関連学術領域における総合的な応用力、創造力および実践力を備えた専門技術者および研究者の養成を人材養成目的としています。そのため、高度な専門的学識をベースとしたコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題解決能力、課題探求能力、技術力を持った人材を育てることを目標に教育を行います。具体的には、学生は栽培植物生産学、分子生物情報・育種学、生物保護学、経営・経済学、生命科学、食品科学、分子化学、生物制御科学、生物保全学、物質動態学、生物機能科学、緑地創造学、フィールド生産科学の13の専修分野から１つを選択します。そして、２年間（標準修業年限）在学して、課題探求や問題解決のための方法や高度な技術、研究発表や論文作成等に関する指導を受け、修了に必要な単位を講義、実験、実習および演習で修得します。さらに、学位（修士）論文を提出して、その審査ならびに試験に合格した者には、修士（農学）の学位が授与されます。

博士後期課程は、修士課程等で培った高度な研究能力あるいは技術力を活かし、さらに自立して研究を展開できる能力を有する研究者の養成を目的とします。具体的には、学生は栽培植物生産学、分子生物情報・育種学、生物保護学、経営・経済学、生命科学、食品科学、分子化学、生物制御科学、生物保全学、物質動態学、生物機能科学、緑地創造学の専修分野から１つを選択します。そして３年間（標準修業年限）在学して、指導教員による研究指導を受け、修了に必要な単位を修得し、学位（博士）論文を提出して論文審査と最終試験に合格した者には、博士（農学）の学位が授与されます。

修士課程授業科目

作物生産学特論
園芸生産学特論
園芸生理学特論
栽培植物生産学特別演習
栽培植物生産学特別実験
分子生物情報学特論
植物分子遺伝学特論
分子生物情報・育種学特別演習
分子生物情報・育種学特別実験
昆虫学特論
植物病理学特論
生物保護学特別演習
生物保護学特別実験
生物生産経営学特論
生物資源経済学特論
経営・経済学特別演習
経営・経済学特別実習
分子微生物学特論
生化学特論
分子細胞生物学特論
生命科学特別演習
生命科学特別実験
食品栄養科学特論Ⅰ
食品栄養科学特論Ⅱ
食品製造科学特論
食品機能学特論
食品科学特別演習
食品科学特別実験
物理化学特論
有機化学特論
分析化学特論
分子化学特別演習
分子化学特別実験
生物制御科学特論Ⅰ
生物制御科学特論Ⅱ
生物制御科学特別演習
生物制御科学特別実験
植物保全学特論
動物保全学特論
生物保全学特別演習
生物保全学特別実験
養分動態学特論
土壌学特論
環境汚染科学特論
物質動態学特別演習
物質動態学特別実験
地球環境修復学特論
植物環境応答学特論
生物機能科学特別演習
生物機能科学特別実験
ランドスケープ・デザイン学特論
景観解析学特論
緑地創造学特別演習
緑地創造学特別実験
動植物生産科学特論Ⅰ
動植物生産科学特論Ⅱ
フィールド生産科学特別演習
フィールド生産科学特別実験
科学倫理
学術英語Ⅰ
学術英語Ⅱ
大学院特別講義Ⅰ
大学院特別講義Ⅱ
大学院特別講義Ⅲ
大学院特別講義Ⅳ
特別プレゼンテーション
特別研修Ⅰ
特別研修Ⅱ
特別研修Ⅲ
アドバンスト・インターンシップ

博士後期課程科目

栽培植物生産学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
分子生物情報・育種学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
生物保護学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
経営・経済学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
生命科学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
食品科学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
分子化学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
生物制御科学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
生物保全学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
物質動態学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
生物機能科学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
緑地創造学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
生物資源学特殊講義
応用生物化学特殊講義
生物環境科学特殊講義
生物資源学リテラシー
応用生物化学リテラシー
生物環境科学リテラシー
先端学術英語
特殊プレゼンテーション
研究倫理
知的財産マネジメント

農学研究科 修 士 課 程

① 募集専攻・専修分野

研究科	専攻	専修分野
農学研究科	農学専攻	栽培植物生産学、分子生物情報・育種学、生物保護学、経営・経済学、生命科学、食品科学、分子化学、生物制御科学、生物保全学、物質動態学、生物機能科学、緑地創造学、フィールド生産科学

② 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備考	実施時期［回目］				
					1	2	3	4	5
推薦		書類審査・面接	ABC評価	試験時間は受験生に別途案内します。	○				
一般	9:00～10:30	外国語（英語）	100点	専門科目は、〔別表２〕の中から２科目を選択してください。ただし２科目のうち少なくとも１科目は、志望する研究分野から選ばなければなりません。※2027年度入試から外国語試験での辞書持ち込みは不可となりました。		○	○		
	10:45～12:45	専門科目	200点						
	13:45～	面接	ABC 評価						
外国人	面接（日本語、英語および基礎学力に関する口頭試問）および書類審査により合否を判定します〈面接：ABC 評価〉。					○	○		
外国人（秋季）					○				
社会人	面接（基礎学力に関する口頭試問）および書類審査により合否を判定します〈面接：ABC 評価〉。※出願期間の１か月前までに指導予定教員に問い合わせてください。						○		

※外国人、社会人については、一般入学試験と同じ筆記試験（外国語、専門科目）を課す場合があります。
※実施時期の詳細は２～６ページを参照してください。

〔別表２〕 農学研究科における専修分野・研究分野別の専門科目

専修分野	研究分野	専門科目
栽培植物生産学	作物学	食用作物学、資源作物学
	園芸学	果樹園芸学、野菜園芸学、花き園芸学、青果保蔵学
分子生物情報・育種学	分子生物情報学	遺伝学、植物分子生物学
	分子遺伝学	植物細胞生物学、育種学
生物保護学	植物病理学	植物病理学、植物感染制御学
	昆虫学	応用昆虫学、基礎昆虫学
経営・経済学	生物資源経済学	生物生産経営学、生物資源経済学
生命科学	応用微生物学	微生物学、微生物利用学
	生物化学	生物化学、細胞生物学
食品科学	栄養・食品学	食品化学、栄養科学
	食品機能学	食品製造科学、食品機能学
分子化学	生物物理化学	物理化学、分析化学
	天然物有機化学	有機化学、天然物化学
生物制御科学	生物制御科学	農薬科学、生物制御科学
生物保全学	植物保全学	植物保全生態学，環境ストレス生物学
	環境動物学	環境動物学、動物環境生理学
物質動態学	環境分析化学	環境分析化学、機器分析化学
	環境土壌学	土壌学、養分動態学
生物機能科学	植物機能科学	植物栄養学、植物生理学
	環境微生物学	環境微生物学、細胞分子生物学、微生物生態学
緑地創造学	景観解析学	ランドスケープ・デザイン学（造園学）、緑地環境学
フィールド生産科学	フィールド生産科学	フィールド生産科学、応用動植物科学

（注）専門科目の受験制限について
「植物細胞生物学」「細胞生物学」「細胞分子生物学」については、それらのうち1科目しか選択できない。
「分析化学」と「環境分析化学」はいずれか1科目しか選択できない。また、「分析化学」と「機器分析化学」もいずれか1科目しか選択できない。
「植物分子生物学」と「植物生理学」はいずれか1科目しか選択できない。

③ 出 願 資 格 ※受験希望者は、事前に当該専修分野の教員に必ず問い合わせてください。

試験区分	出 願 資 格 条 件
推　　薦	本学農学部4年に在学し、志望専修分野に対する勉学・研究に意欲があり、指導教員の推薦により、学部長の承認が得られる者。なお、本試験は専願です。
一　　般	1（1）学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2027年３月末までに卒業見込みの者。 （2）学校教育法第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者、または2027年３月末までに取得見込みの者。 （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年３月末までに修了見込みの者。 （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年３月末までに修了見込みの者。 （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2027年３月末までに修了見込みの者。 （6）専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年３月末までに修了見込みの者。 （7）文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第５号） （8）学校教育法第102条第２項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。 （9）本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年３月末までに22歳に達する者。 （注）上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の１か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外　国　人 外国人（秋季）	前頁 1（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 2 の（1）に加えて、（2）・（3）のいずれかの条件を満たしている者。（前項（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の１か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 2 （1）出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者。 （2）日本語能力試験（JLPT）N２以上に合格し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。 （3）本研究科において（2）と同等以上の日本語能力があると認めた者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 なお、秋季入学は、前項 1（1）については、2026年９月13日までに卒業または卒業見込の者、前項 1（2）については、2026年９月13日までに取得または取得見込の者、前項 1（3）～（6）については、2026年９月13日までに修了または修了見込の者とする。 **※受験希望者は、事前に当該専修分野の教員に問い合わせてください。**
社　会　人	前頁 1（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに 3 の（1）・（2）のいずれかの条件を満たしている者。 3 （1）学士の学位に相当する学位取得後、研究者・技術者として、研究機関、教育機関または企業において１年以上（入学時現在）の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 （2）本研究科が特に認めた者で、出願資格確認を受けた者。 **※受験希望者は、事前に当該専修分野の教員に問い合わせてください。**

④ 出願資格の確認手続（提出書類）

試験区分	提　出　書　類
外国人 外国人(秋季) または 海外の大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」(市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可)。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学の成績証明書 （３）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （４）指導予定教員承諾書（本学所定の用紙） （５）住民票（出願前３か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （６）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （７）日本語能力試験（JLPT）Ｎ２以上の合否結果通知書または認定書のコピー（写し）。 ※ただし、出願資格[2]-（３）により出願を希望する者は不要 （８）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） (注)（１）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （２）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （３）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。(例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「入学センター」(市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可)。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学等の成績証明書 （３）最終出身大学等の卒業証明書 ※出願資格[1]-（２）により、出願する場合は、短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了証明書、または学士の学位授与証明書 （４）指導予定教員承諾書（本学所定の用紙） （５）志望理由書（本学所定の用紙） （６）職場等責任者の就学承諾書（様式任意） （注）個人事業主や定年退職者等については、本承諾書を免除する場合がありますので、入学センターまでご相談ください。 （７）業績報告書（様式任意 資料コピー添付） 記載事項１：所属企業等の概要や事業内容、従事した業務等 記載事項２：学会発表、学術論文、出版物、特許公報、取得資格等 （該当する業績がない場合は記載の必要はありません） (注) 海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（１）～（８)」を、併せて提出してください。

⑤ 出 願 方 法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項７ページ（②）・９・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出　願　書　類
推　薦	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）指導教員の推薦書（本学所定の用紙） （３）成績証明書 （４）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
一　般	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）指導予定教員承諾書（本学所定の用紙）**[他大学出身者のみ]** （３）ア．大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書、③出願理由書（本学所定の用紙）を提出してください。 イ．短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 （４）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外　国　人 外国人（秋季）	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （３）私費外国人留学生Ａ奨学生願書 （４）授業料の一部納期延期願
社　会　人	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 （１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （３）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

⑥ そ の 他

試験会場等その他の事項については共通事項（７～８ページ）を参照してください。

農学研究科 博士後期課程

① 募集専攻・専修分野

研究科	専攻	専修分野
農学研究科	農学専攻	栽培植物生産学、分子生物情報・育種学、生物保護学、経営・経済学、生命科学、食品科学、分子化学、生物制御科学、生物保全学、物質動態学、生物機能科学、緑地創造学

※各科目はⅠ～Ⅵから成る。

② 選抜方法

試験区分	試験時間・試験科目・配点（評価）			備考	実施時期［回目］				
					1	2	3	4	5
推薦		書類審査・面接	ABC評価	試験時間は受験生に別途案内します。			○		
一般	9:00～10:00	外国語（英語）	100点	専門科目の試験は、専攻する専修分野および修士論文の内容を中心として行います。			○		
	10:30～12:00	専門科目	100点						
	13:45～	面接	ABC 評価						
外国人	修士論文の内容を中心に専門学術について試問し、学習および研究に必要な日本語と英語に習熟しているかどうかを試験します〈ABC 評価〉。ただし、農学研究科博士後期課程部会の承認を得た者については、出願書類によって判定します。						○		
外国人（秋季）					○				
社会人	面接（専門学術および英語に関する口頭試問）および書類審査により合否を判定します〈面接：ABC 評価〉。ただし、農学研究科博士後期課程部会の承認を得た者については、出願書類によって判定します。※出願期間の１か月前までに指導予定教員に問い合わせてください。						○		

※外国人、社会人については、一般入学試験と同じ筆記試験（外国語、専門科目）を課す場合があります。
※実施時期の詳細は 2～6 ページを参照してください。

③ 出願資格 ※受験希望者は、事前に当該専修分野の教員に必ず問い合わせてください。

試験区分	出願資格条件
推薦	本学大学院農学研究科修士課程２年に在学し、志望専修分野に対する勉学・研究に意欲があり、指導教員の推薦により、研究科長の承認が得られる者。なお、本試験は専願です。
一般	1（1）修士の学位または専門職学位を有する者、または2027年３月末までに取得見込みの者。 （2）外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年３月末までに取得見込みの者。 （3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年３月末までに取得見込みの者。 （4）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年３月末までに取得見込みの者。 （5）文部科学大臣の指定した者。（平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号） （6）本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年３月末までに24歳に達する者。 （注）上記（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の１か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人 外国人（秋季）	上記 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 2 の条件を満たしている者。（上記（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の１か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 2 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。 なお、秋季入学は、上記 1（1）～（4）については、2026年９月13日までに取得または取得見込の者とする。
社会人	上記 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに 3 の（1）～（3）のいずれかの条件を満たしている者。 3（1）上記 1（1）～（4）に該当する場合、修士または専門職学位に相当する学位取得後、研究者・技術者として、研究機関、教育機関または企業において1 年以上（入学時現在）の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 （2）上記 1（5）～（6）に該当する場合、学士の学位に相当する学位取得後、研究者・技術者として、研究機関、教育機関または企業において３年以上（入学時現在）の実務経験を経た者で、本研究科の出願資格確認を受けた者。 （3）本研究科が特に認めた者で、出願資格確認を受けた者。

④ 出願資格の確認手続（提出書類）

試験区分	提　出　書　類
外国人 外国人（秋季） または 海外の大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学の成績証明書 （３）最終出身大学の卒業証明書 （４）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （５）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （６）指導予定教員承諾書（本学所定の様式） （７）住民票（出願前３か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （８）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （９）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（１）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （２）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「入学センター」（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可）。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）成績証明書 ア．大学院修了者最終出身大学院修士課程等の成績証明書 イ．大学卒業者最終出身大学等の成績証明書 （３）修了（卒業）証明書 ア．大学院修了者最終出身大学院修士課程等の修了証明書 イ．大学卒業者最終出身大学等の卒業証明書 （４）指導予定教員承諾書（本学所定の用紙） （５）志望理由書（本学所定の用紙） （６）職場等責任者の就学承諾書（様式任意） （注）個人事業主や定年退職者等については、本承諾書を免除する場合がありますので、入学センターまでご相談ください。 （７）業績報告書（様式任意資料コピー添付） 記載事項１：所属企業等の概要や事業内容、従事した業務等 記載事項２：学会発表、学術論文、出版物、特許公報、取得資格等 （該当する業績がない場合は記載の必要はありません） （注）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（１）～（９）」を、併せて提出してください。

⑤ 出願方法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項7ページ（②）・9・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出願書類
推薦	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）指導教員の推薦書（本学所定の用紙） （3）研究計画書（400字程度）（様式自由） （4）修士論文の概要（要旨）（800字程度）（様式自由） （5）成績証明書 （6）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
一般	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （5）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （6）修士論文の写しおよびその要旨（原稿用紙400字詰2枚） （7）出願理由書（本学所定用紙） （8）指導予定教員承諾書（本学所定の様式）**[他大学出身者のみ]** （9）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外国人 外国人（秋季）	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）修士論文の要旨（日本語800字程度、英語の場合は1500語程度） （3）修士の学位を有していない者は、研究経過報告書（日本語800字程度、英語の場合は1500語程度）および研究報告書等の資料を添付（この場合は、出願前に窓口に問い合わせること）。 （4）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （5）私費外国人留学生Ａ奨学生願書 （6）授業料の一部納期延期願
社会人	出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 （1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （3）修士論文の写しおよびその要旨。修士論文がない場合は、研究経過報告書（様式任意1000字程度） （4）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （5）その他、本研究科が指定する書類

⑥ その他

試験会場等その他の事項については共通事項（7～8ページ）を参照してください。

薬　学　研　究　科

薬学研究科薬学専攻博士課程（４年制課程）は、薬学領域における学術高度化に貢献でき、国民の健康維持・増進と医療の発展をより一層推進できる独創的で創造的な高い研究力、新しい職能を開拓できる高度な専門性と技術・指導力を兼ね備えた**“薬学のスペシャリストの養成”**を人材養成目的とし、高度な専門性や優れた研究能力を有する薬剤師・研究者を養成するために、日々進歩を続ける医療・生命科学に関わる情報解析力、柔軟な発想と時代の先端を切り開く行動力を養い、医薬品をはじめ食品・化学物質全般の「適正使用」、さらに医薬品の適応拡大を含めた「育薬」について探究・推進し、臨床的な課題に重点をおいて教育研究を推進します。

４年間の教育研究を通して、最新の医療・生命科学に関わる情報を理解・修得できる能力、薬剤師の職能の現状にとらわれず柔軟な発想と時代の先を見通す洞察力や、自らが時代を切り拓くことができる行動力を身につけた医療人を養成することになります。

◎各専修分野の学問領域

専　修　分　野	学　　問　　領　　域
環境衛生科学分野	衛生化学、食品化学、天然物化学、微生物学、分析化学など
医療情報科学分野	医薬品情報学、医療経済学、臨床薬理学、医療倫理学など
病態解析科学分野	生理学、解剖学、生化学、分子生物学、計算化学など
薬物治療科学分野	薬理学、薬物治療学、生薬学、漢方医学、薬品作用学など
薬物動態科学分野	物理化学、製剤学、薬物動態学、薬剤学、有機合成化学など

◎薬学研究科薬学専攻博士課程の授業科目

専　修　分　野	開　講　授　業　科　目
環境衛生科学分野	環境衛生科学特論、環境衛生科学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
医療情報科学分野	医療情報科学特論、医療情報科学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
病態解析科学分野	病態解析科学特論、病態解析科学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
薬物治療科学分野	薬物治療科学特論、薬物治療科学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
薬物動態科学分野	薬物動態科学特論、薬物動態科学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
関　連　科　目	医療英語特論、　臨床薬学研修、　海外臨床研修 臨床腫瘍学特論、がん薬物療法学特論、緩和医療学特論、 基礎薬学特論

◎薬学研究科薬学専攻博士課程ホームページ

（https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_pharmacy/）

薬学研究科 博士課程

① 修業年限

4年

② 専修分野

専修分野
環境衛生科学分野、医療情報科学分野、病態解析科学分野、薬物治療科学分野、薬物動態科学分野

③ 選抜方法

試験区分	試験科目	備考	実施時期［回目］				
			1	2	3	4	5
推薦	専門科目試験（口述試験）	専門科目試験は、これまでの研究成果、研究・学習計画を中心とした口述試験を実施します。	○	○			
一般	専門科目試験（口述試験）および外国語（英語）の試験	専門科目試験は、これまでの研究成果、研究・学習計画を中心とした口述試験および外国語（英語）の試験を実施します。		○		○	
外国人	専門科目試験としてこれまでの研究成果、研究・学習計画を中心とした試験および外国語2か国語（英語と日本語）の試験を実施します。なお、日本語試験は、口述試験として実施します。 ※外国語試験は、辞書の持込不可とします。			○		○	
社会人	専門科目試験としてこれまでの研究成果、研究・学習計画を含む研究事項、職務および社会活動等を中心とした口述試験および外国語（英語）の試験を実施します。			○		○	

※一般・社会人区分について、外国語試験は辞書の持込可とします。ただし、医学・薬学等に特化した辞書は持込不可とします。
※実施時期の詳細は2～6ページを参照してください。

④ 出 願 資 格 ※受験希望者は、事前に専修分野の指導予定教員に問い合わせてください。

試験区分	出 願 資 格 条 件
推　　薦	（1）本学薬学部に在学する6年次学生で、5年次までの成績が原則として学年の上位3分の1以内の席次で、高い研究意欲を持ち、指導教員の推薦が得られる者。 （2）他大学6年制薬学部に在学している6年次学生で、優れた研究成果を上げ、所属する大学の指導教員または学部長の推薦が得られる者。
一　　般	1（1）大学の修業年限6年の薬学、医学、歯学または修業年限6年の獣医学を履修する課程を卒業した者、または2027年3月末日までに卒業見込みの者。 （2）修士の課程を修了した者、または2027年3月末日までに修了見込みの者。 （3）外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は薬学、医学、歯学または獣医学）を修了した者、または2027年3月末日までに修了見込みの者。 （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は薬学、医学、歯学または獣医学）を修了した者、または2027年3月末日までに修了見込みの者。 （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は薬学、医学、歯学または獣医学）を修了した者に限る。）を有する者として当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2027年3月末日までに修了見込みの者。 （6）大学（修業年限6年の薬学、医学、歯学または修業年限6年の獣医学を履修する課程を除く）を卒業し、または外国において16年の課程を修了した後、大学、公的研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の修業年限6年の薬学、医学、歯学または修業年限6年の獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。 （7）大学（修業年限6年の薬学、医学、歯学または修業年限6年の獣医学を履修する課程）を4年以上在学し、または外国において学校教育における16年の課程（最終の課程は薬学、医学、歯学または獣医学）を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者。 （8）文部科学大臣の指定した者。 （9）24歳に達した者で、本研究科において、個別の入学資格審査により、大学（修業年限6年の薬学、医学、歯学または修業年限6年の獣医学）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。 （注）上記（9）にて出願を希望する者は、事前に「個別審査」を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせの上、必要書類を提出してください。
外　国　人	上記 1（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 2 の条件を満たしている者。（上記（9）にて出願を希望する者は、事前に「個別審査」を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 2 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社　会　人	上記1（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに下記 3 のいずれかの条件を満たしている者。 3（1）上記 1（1）～（4）で、6年制大学を卒業または大学院修士課程を修了して1年以上（2027年4月1日現在）の実務経験を経た者で、本研究科の**出願資格確認**を受けた者。 （2）上記 1（6）で、4年制大学の薬学部を卒業して3年以上（2027年4月1日現在）の実務経験（薬剤師・私企業の研究職）を経た者で、本研究科の**出願資格確認**を受けた者。 （3）本研究科が特に認めた者で、**出願資格確認**を受けた者。 （注）上記（2）（3）にて出願を希望する者は、事前に「個別審査」を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせの上、必要書類を提出してください。

⑤ 出願資格の確認手続

試験区分	出願資格条件
外国人または海外の大学出身者	出願予定の方は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認および事実確認を行います（窓口受付可） （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学の卒業証明書 （4）最終出身大学大学院修士課程の成績証明書 （5）最終出身大学大学院修士課程の修了（見込）証明書 （6）住民票（出願前3か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （7）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （8）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （9）受入れ承諾書（本学所定の用紙）［様式1］ （注）（1）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （2）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人	出願予定の方は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」宛（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）に郵送し、出願資格の確認を受けなければなりません。 （1）入学試験調査票（本学所定の用紙） （2）志願理由書（本学所定の用紙） （3）受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHPで検索し、研究指導を希望する教員と連絡をとり、研究を志望する件について直接面談を受け、研究指導予定教員の承諾を得てください。 HP → https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_pharmacy/educator.html （4）職場責任者の就学承諾書（様式任意） （注）本承諾書を免除する場合がありますので、入学センターでご相談ください。 （5）ア.大学院修了者 ①最終出身大学院の修了証明書および成績証明書 イ.大学卒業者 ①最終出身大学の卒業証明書および成績証明書 ウ.短大および専修学校等卒業者 ①それぞれの最終出身学校の卒業証明書および成績証明書 （6）その他、本研究科が指定する書類 （注）前ページの⑦出願資格[1]ー（4）により出願しようとする者は、本人が修士の学位を有する者と同等以上の学力があることを証明すると判断する書類（例えば、研究論文／特許広報／英語能力の証明書／各種資格／単位修得証明書／国際的活動経験や実務経験を証明する書類等）を提出してください。 （注）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（1）～（9）」を、併せて提出してください。

⑥ 出 願 方 法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項７ページ（②）・９・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分	出　願　書　類
推　薦	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）出身大学の成績証明書 （３）出身大学の卒業見込証明書 （４）推薦書（様式任意）【所属する大学の学部長または指導教員の推薦書】 （５）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
一　般	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式１】 （３）最終出身大学の成績証明書 （４）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （５）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （６）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （７）**〔修士課程修了（見込）者〕**修士論文の写しおよびその要旨（様式任意。1000字程度）。なお、修士課程修了見込者で提出が困難な場合は、研究経過報告書（様式任意。3000字程度）。 **〔6年制課程卒業（見込）者〕**卒業論文とその要旨（様式任意。1000字程度）。なお、提出が困難な場合は、研究経過報告書（様式任意。3000字程度）。 （８）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外　国　人	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）修士論文の写しおよびその要旨（様式任意。英文500words 程度）。なお、修士課程修了見込者で提出が困難な場合は、研究経過報告書（様式任意。英文1000words 程度）。 （３）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。）「日本の大学院を修了（見込）の者は不要です。」 （４）私費外国人留学生Ａ奨学生願書 （５）授業料の一部納期延期願
社　会　人	（１）入学志願票（本学所定の用紙） （２）業績報告書（その１）（本学所定の用紙） （注）所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください。 用紙が不足する場合、各自で所定用紙に倣い、記入項目漏れのないよう作成してください。 （３）業績報告書（その２）（本学所定の用紙） （注）論文、出版物など過去に公表したものがあれば記載し、その証明となるものを提出してください。 用紙が不足する場合、各自で所定用紙に倣い、記入項目漏れのないよう作成してください。 （４）その他、本研究科が必要とする書類 次の①または②、および③を添付してください。 ①修士論文の写しおよびその要旨**〔修士課程修了者〕**（６年制課程卒業者については､卒業論文とその要旨（概要）） ②研究経過現況書 （【様式Ｄ－１】に準じて作成） ③研究業績調書　［上記以外に研究発表等に関する事項があれば記載し、その証明となるものを添付してください］ （【様式Ｄ－２】に準じて作成） （５）出願資格確認通知書（本学から送付した確認通知書） （６）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

⑦ そ の 他

試験会場等その他の事項については共通事項（７～８ページ）を参照してください。

総 合 学 術 研 究 科

総合学術研究科は、自然と人間、環境問題と科学技術のあり方に関する学際的研究を通じて、高度専門職業人と優れた研究者の養成を目的とする。

◆博士前期課程授業科目

《基幹授業科目》

総合コアコース

総合学術特論Ⅰ	総合学術特論Ⅱ

物質・環境科学専修コース

物質情報学特論	分子設計化学特論
環境調和型化学反応論特論	環境システム論特論
生態機能科学特論	物質・環境科学特別研究

生物・環境科学専修コース

海洋資源構造学特論	生物情報学特論
資源生物機能学特論	生物集団システム論特論
生物・環境科学特別研究	

心理学専修コース

社会科学特論	人間学特論
人格発達心理学特論	健康心理学特論
人間行動学特論	社会心理学特論
老年心理学特論	カウンセリング論特論
心理学特別研究	

生命科学専修コース

薬効解析学特論	健康行動学特論
身体運動科学特論	生体機能制御学特論
遺伝子情報解析学特論	長寿科学特論
生命科学特別研究	

《関連授業科目》

多文化共生論特論	文化社会学特論

◆博士後期課程研究指導科目

物質・環境科学特殊研究	人間・社会科学特殊研究
生物・環境科学特殊研究	生命科学特殊研究

◆授与される学位

所定の期間在学し、学位論文の審査および試験に合格した者には、次の学位が授与されます。

・博士前期課程	修士（学術）
・博士後期課程	博士（学術）

総合学術研究科　博士前期課程

① 募集専攻・専修分野等

研究科	専攻	専修分野	コース	科目
総合学術研究科	総合学術専攻	自然・環境科学	物質・環境科学	環境システム論、生態機能科学
			生物・環境科学	海洋資源構造学、生物情報学
		人間科学	心理学	人格発達心理学、社会心理学、老年心理学
			生命科学	健康行動学、身体運動科学、生体機能制御学、遺伝子情報解析学

※入学志願票には、コース、科目名を記入してください。

② 選抜方法

試験区分		試験時間・試験科目・配点（評価）		実施時期［回目］				
				1	2	3	4	5
推薦	学内特別選考入試	提出された書類の審査および面接試験による選考		○	○			○
	他大学出身者推薦	口述試験（出願書類に基づき諮問します）、面接および書類審査・口述試験／面接：15分間 〈口述試験：90点、面接：90点、書類審査：3段階評価〉		○				○
一般		外国語試験	口述試験および面接		○			○
一般（秋季）		外国語（英語）：60分間 （辞書の持込不可） 〈100点〉	学修成果レポートに基づく口述試験並びに面接 ・口述試験／面接：15分間 〈口述試験：90点、面接：90点、書類審査：3段階評価〉	○				
外国人		◆面接および書類審査により合否を判定〈面接：90点、書類審査：3段階評価〉 ◆面接は日本語または英語により基礎学力に関して試問 ただし、受験のため出国許可が得られない者については、出願書類によって判定します。			○			○
外国人（秋季）				○				
社会人		口述試験（志願理由書等に基づき諮問します）、面接および書類審査 ・口述試験／面接：15分間 〈口述試験：90点、面接：90点、書類審査：3段階評価〉			○			○
社会人（秋季）				○				

※実施時期の詳細は2～6ページを参照してください。

③ 出願資格

試験区分		出願資格条件
推薦	学内特別選考入試	本学の学部４年（薬学部は６年）（法学部、経営学部、経済学部、人間学部、理工学部、農学部、薬学部、都市情報学部、外国語学部）に在学し、「本研究科志望専修コースの研究指導教員の受入承諾」を得られる者。なお、本試験は専願です。
	他大学出身者推薦	学業および人物ともに優れ、2027年3月に他大学を卒業見込みの者で、出願期間以前に所属する専門ゼミ指導教員または学部長から推薦が得られる者。
一般 一般（秋季）		1（1）学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2027年３月末（秋季入学は2026年９月13日）までに卒業見込みの者。 （2）学校教育法第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者、または2027年３月末（秋季入学は2026年９月13日）までに取得見込みの者。 （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年３月末（秋季入学は2026年９月13日）までに修了見込みの者。 （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年３月末（秋季入学は2026年９月13日）までに修了見込みの者。 （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2027年３月末（秋季入学は2026年９月13日）までに修了見込みの者。 （6）専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年３月末（秋季入学は2026年９月13日）までに修了見込みの者。 （7）文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第５号） （8）学校教育法第102条第２項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。 （9）本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年３月末までに22歳に達する者。 （注）上記（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の１か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人 外国人（秋季）		出願資格 1（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに 2 の条件を満たしている者。（出願資格 1（8）（9）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の１か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 2 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。 **※受験希望者は、事前に専修分野の指導教員に問い合わせてください。**
社会人 社会人（秋季）		出願資格 1（1）～（9）のいずれかの条件を満たし、さらに 3 のいずれかの条件を満たしている者。 3（1）出願資格 1（1）～（6）は、大学を卒業（あるいは学位の授与）、または大学院を修了（あるいは学位の授与）して１年以上（入学時現在）の実務経験を経た者で、本研究科の**出願資格確認**を受けた者。 （2）出願資格 1（5）（6）は、短期大学および専修学校等を卒業して３年以上（入学時現在）の実務経験を経た者で、本研究科の**出願資格確認**を受けた者。 （3）本研究科が特に認めた者で、**出願資格確認**を受けた者。

④ 出願資格の確認手続

試験区分	提　出　書　類
外国人 外国人（秋季） または 海外の大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学の成績証明書 （３）最終出身大学の卒業（見込）証明書 （４）住民票（出願前３か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （５）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （６）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（１）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （２）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （３）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 出題資格確認の必要の有無が分からない等不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人 社会人（秋季）	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」宛（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）に郵送し、出願資格の確認を受けなければなりません。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）志願理由書（本学所定の用紙） （３）受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式１】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科の HP を見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 HP → https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ （４）職場責任者の就学承諾書（様式任意） （注）主婦や定年退職者等については、本承諾書を免除する場合がありますので、入学センターまでご相談ください。 （５）最終出身大学の成績証明書 （注）短期大学の専攻科、または高等専門学校の専攻科の修了者で、「大学評価・学位授与機構」の学位（学士）取得者は、短期大学の専攻科、または高等専門学校専攻科の成績証明書を提出してください。大学院修士課程修了者は、修士課程成績証明書、修士課程修了証明書を別に提出してください。 （６）最終出身大学の卒業証明書 （注）短期大学の専攻科、または高等専門学校の専攻科の修了者で、「大学評価・学位授与機構」の学位（学士）取得者は、短期大学の専攻科、または高等専門学校専攻科の修了証明書および学位取得証明書を提出してください。 （７）その他、本研究科が指定する書類 （注）出願資格 1（６）により出願しようとする者は、出願資格1（６）で定める最終出身学校の卒業証明書・成績証明書および本人が大学を卒業した者と同等以上の学力があることを証明すると判断する書類（例えば、研究論文／特許公報／英語能力の証明書／各種資格・単位取得証明書／国際的活動経験や実務経験を証明する書類等）を提出してください。 （注）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（１）～（６）」を、併せて提出してください。

⑤ 出願方法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項7ページ（②）・9・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

試験区分		出願書類
推薦	学内特別選考入試	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）志願理由書（本学所定の用紙） （3）受入承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHPを閲覧し、研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 HP → https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ （4）推薦書（任意様式の用紙） （5）学士課程の成績証明書 （6）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
	他大学出身者推薦	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）志願理由書（本学所定の用紙） （3）受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHPを閲覧し、研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 HP → https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ （4）推薦書（任意） （5）成績証明書 （6）卒業見込証明書 （7）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
一般 一般（秋季）		（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）ア．大学卒業（見込）者 ①最終出身大学の成績証明書 ②最終出身大学の卒業（見込）証明書 イ．短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の学位取得（見込）者 ①該当者が在籍する短期大学専攻科、または高等専門学校専攻科の修了（見込）証明書 ②学位授与証明書（学位取得見込の場合は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長または高等専門学校長の証明書） ③専攻科の成績証明書 （注）大学院修士課程修了（見込）者は、上記の他に、①修士課程成績証明書、②修士課程修了（見込）証明書を提出してください。 （3）受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHPを見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 HP → https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ （4）学修成果レポート［【様式2】に基づき作成］ （5）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）
外国人 外国人（秋季）		（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の推薦書（任意） （3）受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHPを見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 HP → https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ （4）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （5）私費外国人留学生A奨学生願書 （6）授業料の一部納期延期願
社会人 社会人（秋季）		出願資格の確認を受けてから、以下の書類を提出してください。 （1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）業績報告書（その1）（本学所定の用紙）［所属機関の概要（業種・事業内容）および従事する職務内容を記載してください］ （3）出願資格確認通知書（本学から送付した確認通知書） （4）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙）

⑥ その他

試験会場等その他の事項については共通事項（7～8ページ）を参照してください。

総合学術研究科　博士後期課程

① 募集専攻・専修分野等

研究科	専攻	専修分野	科目
総合学術研究科	総合学術専攻	自然・環境科学	物質・環境科学特殊研究
			生物・環境科学特殊研究
		人間科学	人間・社会科学特殊研究
			生命科学特殊研究

※入学志願票には、志望専修分野と科目を記入してください。

② 選抜方法

試験区分		試験時間・試験科目・配点（評価）		実施時期［回目］				
				1	2	3	4	5
推薦	学内特別選考入試	提出された書類の審査および面接試験により選考		○	○			
推薦	他大学出身者推薦	修士論文等の口頭発表およびそれに基づく口述試験並びに面接、書類審査 ・口頭発表　：15分間 ・口述試験／面接：15分間 〈口述試験：90点、面接：90点、書類審査：3段階評価〉		○				○
一般		外国語試験	口述試験および面接		○			○
一般（秋季）		外国語（英語）：60分間 （辞書の持込不可） 〈100点〉	学修成果レポートに基づく 口述試験並びに面接 ・口述試験／面接：15分間 〈口述試験：90点、面接：90点、書類審査：3段階評価〉	○				
外国人		◆面接および書類審査により合否を判定〈面接：90点、書類審査：3段階評価〉 ◆面接は日本語または英語により基礎学力に関して試問 ただし、受験のため出国許可が得られない者については、出願書類によって判定します。			○			○
外国人（秋季）				○				
社会人		口述試験（志願理由書等に基づき諮問します）、面接および書類審査 ・口述試験／面接：15分間 〈口述試験：90点、面接：90点、書類審査：3段階評価〉			○			○
社会人（秋季）				○				

※実施時期の詳細は 2～6 ページを参照してください。

③ 出願資格 ※受験希望者は、事前に研究指導科目の指導教員に問い合わせてください。

試験区分		出願資格条件
推薦	学内特別選考入試	本学の大学院研究科修士（博士前期）課程2年次（法学研究科、経営学研究科、経済学研究科、理工学研究科、農学研究科、都市情報学研究科、人間学研究科、総合学術研究科）に在学し、「本研究科の研究指導教員の受入承諾」を得られる者。なお、本試験は専願です。
	他大学出身者推薦	学業および人物ともに優れ、2027年3月に他大学大学院を修了見込みの者で、出願期間以前に在籍する大学院の研究科長の推薦が得られる者。 ※研究科長名で推薦が得られない場合（研究科長職がない等）は必ず事前に入学センターに相談してください。
一般 一般（秋季）		1（1）修士の学位または専門職学位を有する者、または2027年3月末（秋季入学は2026年9月13日）までに取得見込みの者。 （2）外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月末（秋季入学は2026年9月13日）までに取得見込みの者。 （3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月末（秋季入学は2026年9月13日）までに取得見込みの者。 （4）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月末（秋季入学は2026年9月13日）までに取得見込みの者。 （5）文部科学大臣の指定した者。（平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号） （6）本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月末までに24歳に達する者。 （注）出願資格1（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。
外国人 外国人（秋季）		出願資格 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに 2 の条件を満たしている者。（出願資格 1（6）にて出願を希望する者は、事前審査を必要としますので、出願期間の1か月前までに入学センターに問い合わせてください。） 2 出入国管理および難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格（留学）を有する者、または得られる者で、日本語に習熟し、受講ならびに日常生活に困難のないことを条件とし、本研究科の出願資格確認を受けた者。
社会人 社会人（秋季）		出願資格 1（1）～（6）のいずれかの条件を満たし、さらに 3 のいずれかの条件を満たしている者。 3（1）出願資格 1（1）～（4）は、大学院修士課程を修了して1年以上（入学時現在）の実務経験を経た者で、本研究科の**出願資格確認**を受けた者。 （2）出願資格 1（6）は、大学を卒業して3年以上、短大および専修学校等を卒業して5年以上（入学時現在）の実務経験を経た者で、本研究科の**出願資格確認**を受けた者。 （3）本研究科が特に認めた者で、**出願資格確認**を受けた者。

④ 出願資格の確認手続

試験区分	提　出　書　類
外国人 外国人（秋季） または 海外の 大学出身者	出願者は、出願資格の確認期間内に下記書類を「国際化推進センター」（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）へ提出し、出願資格の確認手続きをしてください。提出書類の内容確認及び事実確認を行います（窓口受付可）。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）最終出身大学の成績証明書 （３）最終出身大学の卒業証明書 （４）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （５）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （６）住民票（出願前３か月以内に取得し、氏名、生年月日、性別、国籍、住所、在留資格・期間および番号が記入されたもの。ただし、事情に応じ、入学時まで猶予することがあります。） （注）窓口受付時に、「在留カード」の両面のコピー（写し）を取ることでこれに代えることができます。 （７）保証人（学費負担者等）届書（本学所定の用紙） （注）親族以外を保証人（学費負担者等）とする場合は、残高証明書など支弁能力を証明する書類提出を求める場合があります。 （８）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （注）（１）日本語、英語以外で作成された証明書は、日本語または英語に訳したものを添付してください。 （２）上記の他に追加で書類提出を求める場合があります。（例：成績証明書に記載されている科目一覧（語学・体育科目を除く）のシラバス原文および日本語訳等）追加の提出書類を含め、すべての提出書類が揃った方に対して出願資格の有無を確認いたします。すべての提出書類を総合的に判断いたします。 ※出願資格確認結果に関する問い合わせは受付しておりません。 不明な点がありましたら、入学センター・国際化推進センターへ問い合わせてください。
社会人 社会人（秋季）	出願者は、出願資格確認期間内に下記書類を「入学センター」宛（市販の角型２号封筒（240×332㎜）に出願資格確認用の宛名ラベルを貼ること）に郵送し、出願資格の確認を受けなければなりません。 （１）入学試験調査票（本学所定の用紙） （２）志願理由書（本学所定の用紙） （３）受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式１】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科の HP を見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 HP → https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ （４）職場責任者の就学承諾書（様式任意） （注）本承諾書を免除する場合がありますので、入学センターまでご相談ください。 （５）１）大学院修了者 ①　最終出身大学院の修了証明書および成績証明書 ②　最終出身大学の成績証明書 ２）大学卒業者 ①　最終出身大学の卒業証明書および成績証明書 ３）短大および専修学校等卒業者 ①　それぞれの最終出身学校の卒業証明書および成績証明書 （６）その他、本研究科が指定する書類 （注）（１）出願資格　1－（６）により出願しようとする者は、本人が修士の学位を有する者と同等以上の学力があることを証明すると判断する書類（例えば、研究論文／特許公報／英語能力の証明書／各種資格・単位取得証明書／国際的活動経験や実務経験を証明する書類等）を提出してください。 （２）海外の大学出身者については、外国人の「出願資格確認手続の提出書類（１）～（８）」を、併せて提出してください。

⑤ 出願方法

1）出願登録および入学検定料支払

共通事項7ページ（②）・9・10ページを参照し、受験ポータルサイトでの手続きを行ってください。

2）出願書類提出（市販の角型2号封筒（240×332㎜）に出願用の宛名ラベルを貼ること）

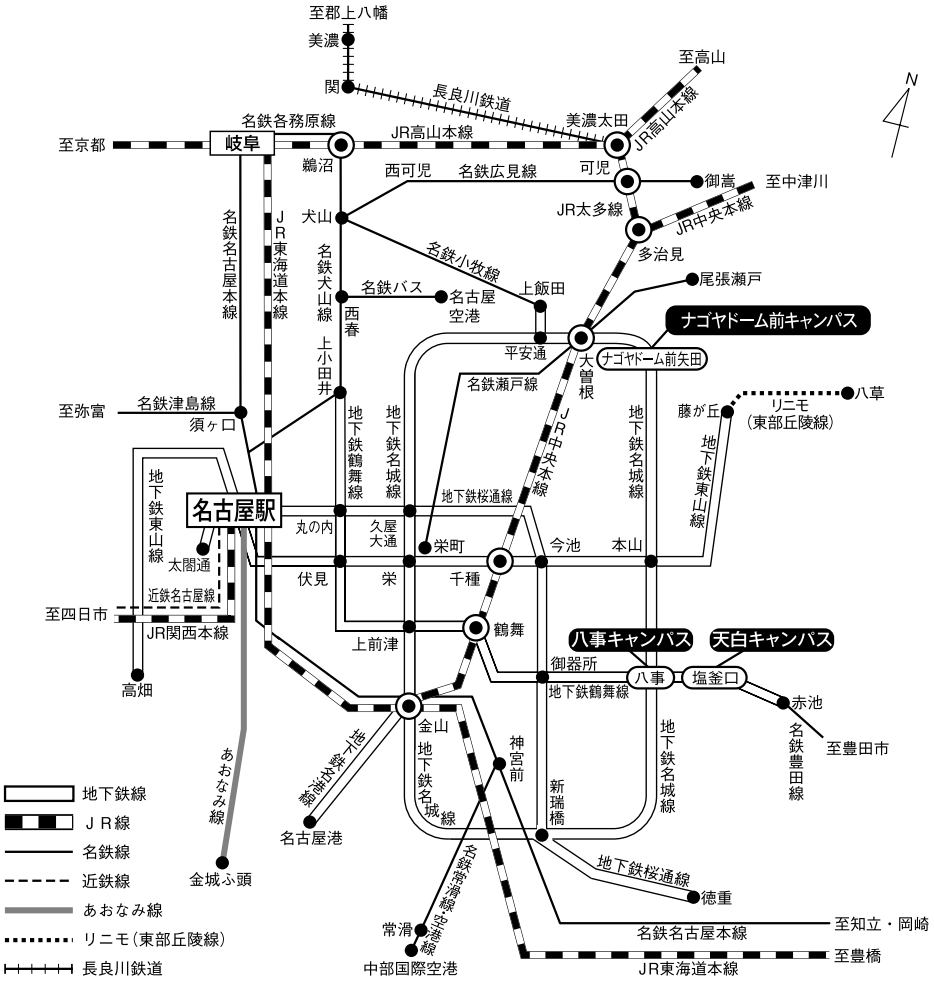
試験区分		出願書類
推薦	学内特別選考入試	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）志願理由書（本学所定の用紙） （3）受入承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHPを閲覧し、研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 HP → https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ （4）推薦書（任意様式の用紙） （5）修士（博士前期）課程の成績証明書 （6）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （7）その他、本研究科が必要とする書類 次の①または②の書類。なお、提出が可能な場合は、③の書類も添付してください。 ①修士論文の要旨（和文および英文にて作成）［本学研究科所定の用紙【様式3－1・2】に準じて作成／和文は3,000字程度、英文は300語程度］ ②研究経過現況書（和文および英文にて作成）［本学研究科所定の用紙【様式4－1・2】に準じて作成／和文は3,000字程度、英文は300語程度］ ③研究業績調査書（上記以外で研究発表等に関する事項があれば添付してください）［本学研究科所定の用紙【様式E】に準じて作成］
	他大学出身者推薦	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）志願理由書（本学所定の用紙） （3）受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHPを閲覧し、研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 HP → https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ （4）推薦書（任意） （5）成績証明書 （6）卒業見込証明書 （7）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （8）推薦書（任意） （9）成績証明書 （10）卒業見込証明書 次の①または②、および③を添付してください。 ①修士論文の要旨［要旨は和文および英文にて作成］ （【様式3】に準じて作成／和文は3,000字程度、英文は300語程度） ②研究経過現況書［和文および英文にて作成］ （【様式4】に準じて作成／和文は3,000字程度、英文は300語程度） ③研究業績調査書（上記以外に研究発表等に関する事項があれば添付してください）［【様式1】に準じて作成］
一般 一般（秋季）		（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）最終出身大学の成績証明書 （3）最終出身大学院修士課程の成績証明書 （4）最終出身大学の卒業証明書 （5）最終出身大学院修士課程の修了（見込）証明書 （6）安全保障輸出管理に関する誓約書（本学所定の用紙） （7）その他、本研究科が必要とする書類 次の①または②、および③～④を添付してください。 ①修士論文の写しおよびその要旨［要旨は和文および英文にて作成］ （【様式3】に準じて作成／和文は3,000字程度、英文は300語程度） ②研究経過現況書［和文および英文にて作成］ （【様式4】に準じて作成／和文は3,000字程度、英文は300語程度） ③研究業績調書（上記以外に研究発表等に関する事項があれば添付してください）［【様式5】に準じて作成］ ④受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科のHPを見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 HP → https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/

試験区分	出　願　書　類
外　国　人 外国人（秋季）	（1）入学志願票（本学所定の用紙） （2）その他、本研究科が必要とする書類 次の①または②、および③～④を添付してください。 ①修士論文の要旨［【様式 3】に準じて作成／和文の場合は800字程度、英文の場合は1000語程度］ ②研究経過現況書［【様式 4】に準じて作成／和文の場合は800字程度、英文の場合は1000語程度］ ③研究業績調書（上記以外に研究発表等に関する事項があれば添付してください）［【様式 5】に準じて作成］ ④受入れ承諾書（本学所定の用紙）【様式 1】 ※出願予定者は、必ず、出願期間の前までに本研究科の HP を見て研究指導を希望する教員と連絡をとったうえで、研究を志望する件について直接面談を行い、研究指導教員の承諾を得てください。指導教員との連絡については、入学センターに確認してください。 HP → https://www.meijo-u.ac.jp/academics/g_env_human/ （3）出願資格確認通知書（出願資格手続きにより、出願資格を得られた者に本学から送付します。） （4）私費外国人留学生Ａ奨学生願書 （5）授業料の一部納期延期願

⑥ その他

試験会場等その他の事項については共通事項（7～8ページ）を参照してください。

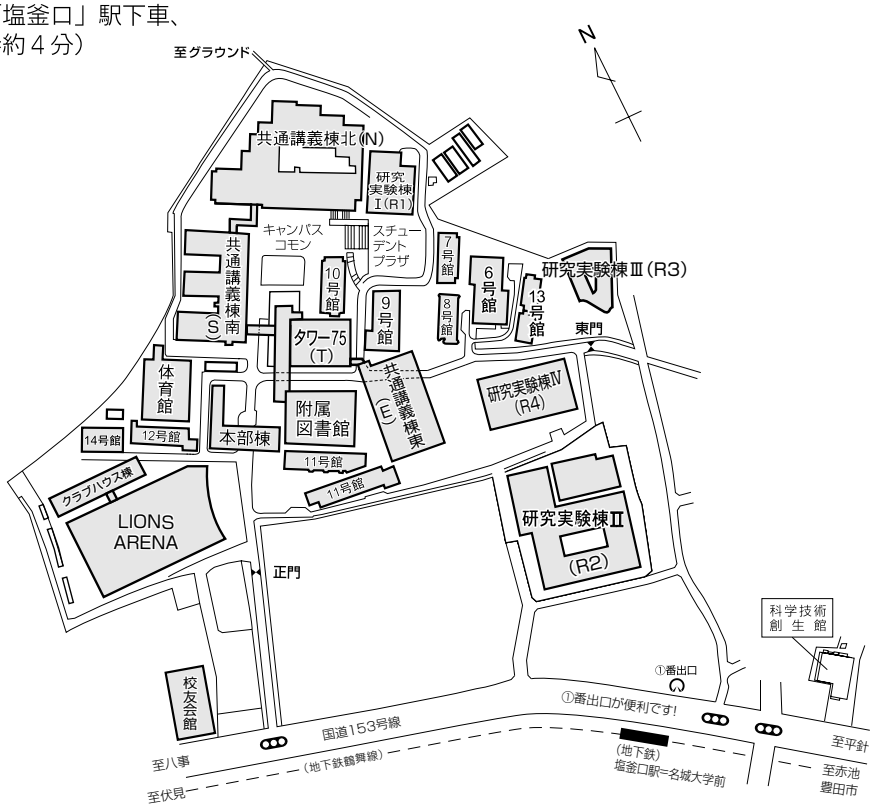
大学所在地略図



天白キャンパス（大学本部、法学研究科、経営学研究科、経済学研究科、情報工学研究科、理工学研究科、農学研究科、総合学術研究科）

■天白キャンパス交通案内

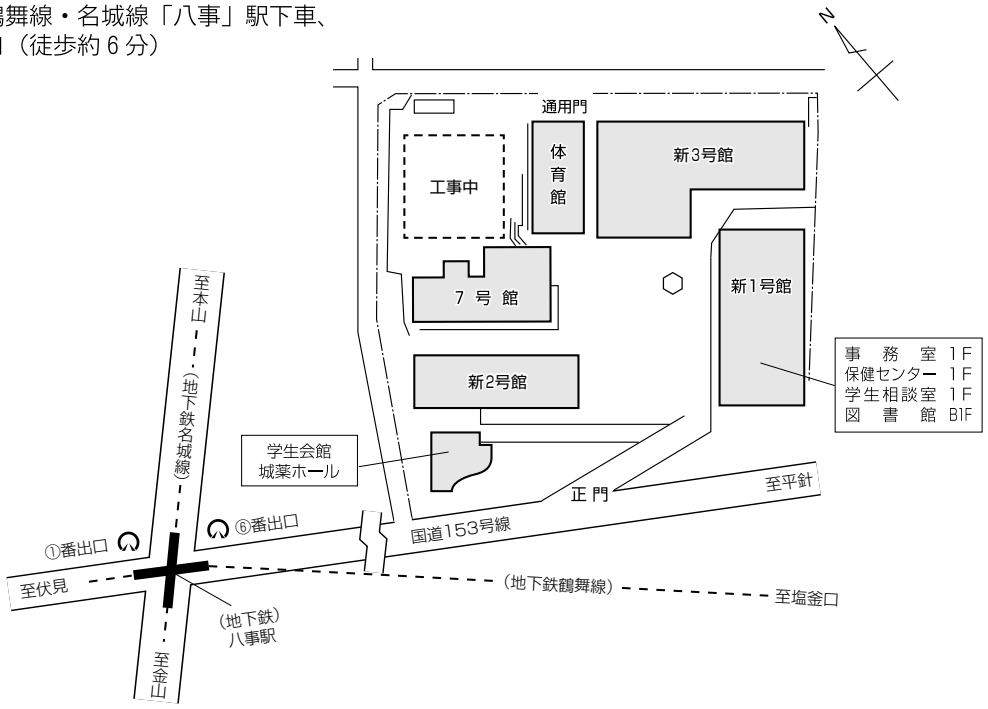
地下鉄鶴舞線「塩釜口」駅下車、
①番出口（徒歩約４分）



八事キャンパス（薬学研究科）

■ 八事（やごと）キャンパス交通案内

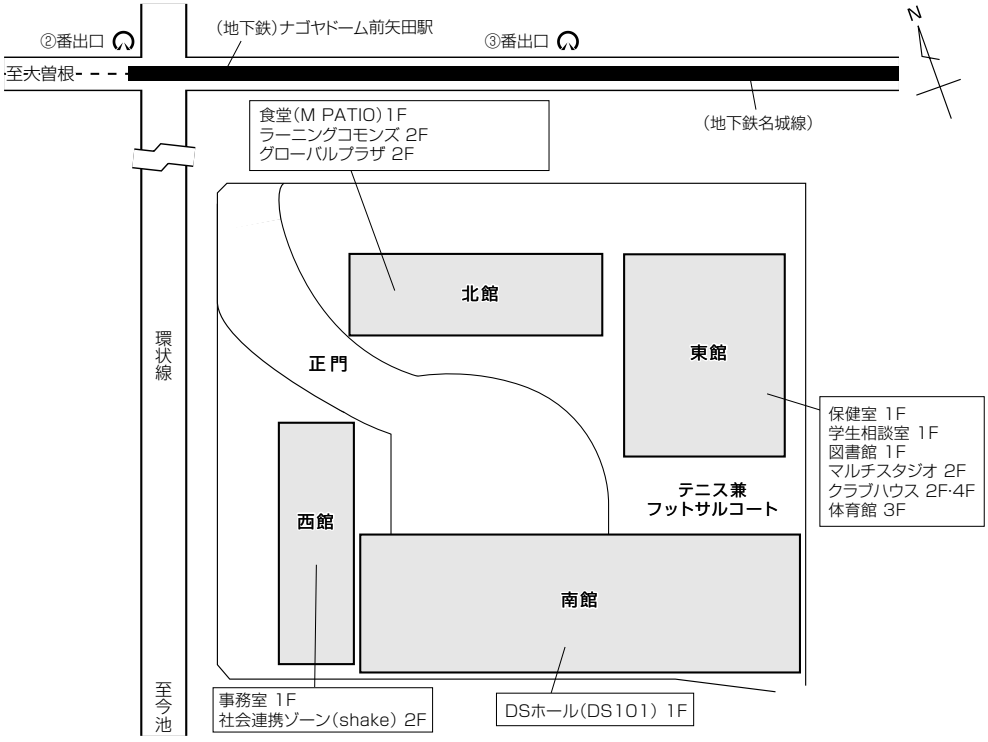
地下鉄鶴舞線・名城線「八事」駅下車、
⑥番出口（徒歩約 6 分）



ナゴヤドーム前キャンパス（人間学研究科、都市情報学研究科）

■ナゴヤドーム前キャンパス交通案内

JR中央本線･名鉄瀬戸線「大曽根」駅下車徒歩10分
地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅下車徒歩3分
ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」駅下車徒歩5分



■問い合わせ先

名城大学入学センター

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
TEL 052-838-2018（ダイヤルイン）（受付時間：平日 9:00～17:00）
E-mail：nyugaku@ccml.meijo-u.ac.jp